



活動年鑑 12

2016.10 - 2017.4



青年技術士交流委員会

活動年鑑 12-2016.10 - 2017.4

目次

- ・青年委員会 2016 年度活動報告
- ・広報 G 活動報告
- ・例会 G 活動報告
- ・国際 G 活動報告

[例会活動報告書]

- ・ 2016/10 私の英語学習法 & Keep talking! How to begin and continue a conversation in English
- ・ 2016/11 第 43 回 技術士全国大会（横浜）テクノツーリズム、懇親会、青年技術士の集い
- ・ 2016/12 内部向け企画／ブラタナカ ～ゆるゆるオリエンテーリング～、知らない街で忘年会
- ・ 2017/1 ワークショップ「技術者の営業力を考える」
- ・ 2017/2 技術部門別展示・説明会、「技術士を目指そう、修習ガイダンス 2017」 パネル討論、
- ・ 2017/3 一次合格者向け企画
- ・ 2017/4 一次・二次試験合格者交流会

[国際交流活動報告書]

- ・ 2016/10 マレーシア YES (Young Engineer Section) Puven 氏来日
- ・ 2017/4 ブルネイ青年委員会 Chairman Leong 氏来日

[サッカー&テクノ活動報告書]

- ・ 2016/10 第 45 回 日韓技術士国際会議、第 11 回 日韓技術士親善サッカー大会
- ・ 2015/12 日韓サッカーお疲れ練習会・テクノツーリズム
- ・ 2016/3 北陸本部サッカー合同練習会

[地域本部活動報告書]

- ・ 統括本部
- ・ 北海道本部
- ・ 東北本部
- ・ 北陸本部
- ・ 中部本部
- ・ 近畿本部
- ・ 中国本部
- ・ 四国本部
- ・ 九州本部

[青年委員自己紹介]

本委員会は、研修委員会の下部組織であり、各部会から推薦された委員・委員補佐により構成されています。また委員には各地域本部より推薦された地域本部委員も含まれます。本会運営への青年層の参画及び国内外を問わず技術者間の“交流”を通しての研鑽を実施しています。

2016 年度の主な活動を下記にまとめます。

1.各種例会の開催

講演会やテクノツーリズム、スポーツ交流を含む交流会を毎月 1 回以上の頻度で開催しました。2016 年度も昨年度に引き続き、一次・二次試験合格者が 4 月の特別例会まで継続して参加でき、スムーズに入会に至れる動線の強化を築きました。各活動内容は報告書として青年委員会 HP にて公開を行っています。

2.特別例会

2016 年 4 月 22 日に青年技術士交流委員会主催『一次・二次試験合格者交流会（特別例会）』を開催しました。参加者の専門性をアピールできる場として第 4 次産業革命を題材とした企画を実施しました。各テーマに分かれて行ったディスカッションの結果および活動報告は青年委員会 HP にて公開を行っています。

3.小学生対象理科教室の実施

2016 年 7 月 30 日に夏休みの小学生を対象に「理科教室」を実施しました。「ミニ風力発電所を作ろう！技術士による夏休み理科教室工作実験」と題し、工作実験を通じて子供たちに科学の楽しさを伝えることを主目的としました。また各小学校への広告のビラの配布などを通じ一般の方々に対し技術士の知名度向上を図りました。

工作実験として、「モータをまわそう」「モータで電気を作ってみよう」「風で電気を起こしてみよう」のみつつを行い、家庭でも安価かつ容易に再現可能な実験を目指しました。当日の様子は青年委員会 HP にて公開を行っております。

4.各地域本部青年技術士組織との交流

各地域本部との交流会議を開催するとともに、2016 年 11 月 13 日に横浜市で開催された技術士全国大会において青年技術士交流会議および青年技術士の集い（以下集いと称す）を実施しました。その中で全国各地域本部青年組織の活動内容を共有しました。本年度開催される全国大会（山口）においても、各組織との交流を継続する予定です。

青年層は企業内技術士も多く出張や異動転勤等に伴う地域間の移動もあることから、全国の地域本部青年組織とのネットワークを活かし、技術士青年層のサポートにも努めて参ります。また技術士会組織との関係を築く取り組みに対して引き続き連携を取って参ります。

5.国際交流活動

2016 年 10 月 2 日～4 日に日光で開催された日韓技術士会議のサッカー親善試合の開催支援を

行いました。

2016年のASEAN 技術者協会連合国際会議『CAFE034 YEAFEO23』はフィリピンのパラワン島での開催となったが、外務省が発出する危険情報において危険レベル 2 に該当する地域であったためへの参加者派遣は見送りました。本年度、タイ バンコク開催について準備を進めています。

6.研修委員会所轄委員会行事への協力

2017年2月4日開催の「技術士を目指そう、修習ガイダンス 2017」～技術士第一次試験合格者・JABEE 認定課程修了見込者（修了者を含む）～において、パネル討論会を企画・運営し受験に向けたモチベーション向上や技術士会への入会促進にも繋げる活動の道筋を築くことができました。また、本年度はガイダンス後の合格祝賀会も実施し、参加者間や参加者と我々日本技術士会のメンバーとの交流を促進することができました。

7.情報配信の試み

青年委員会活動をより深く身近に理解していただくために、2014年度青年技術士交流実行委員会活動年鑑を制作しました。

また青年委員会のホームページやブログ、フェイスブック等を積極的に更新し、活動紹介、主催行事の事前広報及び事後報告に活用しております。上記の活動を企画・実施するため、毎月の運営委員会を青年層の参加しやすい土曜日を中心に開催しています。

青年委員会 2017 年度 広報グループ活動報告

広報グループリーダー 横田 敬久

1. 目的

青年技術士交流委員会(以降、委員会)の広報円滑化、およびメンバー間の情報共有を主目的として、ウェブを主軸に据えた活動を実施した。

2. 今期の活動と成果

1) 日本技術士会の同報メール、ホームページ、および月刊技術士誌への CPD 行事予定の情報発信

日本技術士会の広報媒体である同報メール、ホームページ(engineer.or.jp)、月刊技術士誌を使用し、例会開催情報等を発信した(行事内容の詳細は例会グループ報告参照)。日本技術士会リソースによる包括的な事前周知、およびウェブの行事参加申込機能の活用により、参加者管理業務の効率化を引き続き進めた。

2) 委員会内部用途の、情報共有設備の維持および改善

ファイル共有システム ownCloud、メーリングリストシステム Mailman、ホームページ・ブログシステム WordPress の三大基幹システム(レンタルサーバー上に構築)を維持・活用し、委員会内部の円滑な情報共有を促進している。本年度の改善点については以下の通りである:

- ・ レンタルサーバー上に Redmine を導入して委員・委員補佐の個別アカウントを作成し、情報共有の環境を作成した。
- ・ 例会マニュアル・広報マニュアル・IT マニュアル・葺手会議室使用マニュアルを WordPress から Redmine の wiki に移行した。
- ・ セキュリティ強化のために ownCloud のアカウントを Redmine のアカウントに紐付けし、「peyec」の共有アカウントを廃止した。

3) 委員会外部に向けた、広報活動への取り組み

昨年度に引き続き、イベント参加希望者および潜在候補者に対して「漏れなく、かつ親しみやすく分かりやすい」情報提供を目指し、各種改善を行えるように環境を整えている。本年度の改善については、以下の通りである:

- ・ 昨年度からイベント参加申込者に対して Gmail システムの活用による(担当者個人のメールアドレスに依らない)統一メールアドレスによる事前コミュニケーションを実施していたが、担当の委員・委員補佐が「peyec」の共有アカウントを使用時にセキュリティ上の問題でブロックされてログインできない症状が発生した。そのため、代替の環境として Rainloop という外部向けメール発信環境をレンタルサーバー上に整え、そこから情報発信をするようにした。

3. 今後の活動・展開

既存媒体を活用した広報活動により、着実なベースアップ(知名度向上、新規参加者獲得等)とともに、委員会活動の円滑化に貢献できたと考える。今後は、以下の項目について議論を深め、委員会活動の更なる飛躍に向けたサポートを行う。

- ・ 例会準備の進捗確認に Redmine のチケットシステムによる情報共有を検討する。
- ・ Redmine に移行したマニュアル類で WordPress 上に残っているものを整理・廃止する。

以上

例会グループ活動報告(2016年7月～2017年5月)

例会グループリーダー 伊藤友加里

1. グループメンバー

赤木、磯部、小塚、白井、瀧川、田中、道家、中川、中村、丸山、諸田、伊藤

2. 活動目的

今期も“例会のスムーズな運営に向けたサポート”を目的として活動した。また、例会グループの具体的な仕事も、同じく以下の5つとした。

- ・例会準備が順調に進んでいるかの確認
- ・外部アンケートの実施と集計
- ・内部アンケートの実施とまとめ
- ・前月例会アンケートの振り返り、改善提案、周知、マニュアルへの反映
- ・例会担当に ownCloud 整理依頼

3. 活動報告

2016年度に実施した例会は以下のとおりである。

- | | |
|---------|---|
| 2016年7月 | Dreams Project 平成28年度夏休みこども理科教室 |
| 8月 | 例会決め大会2016 |
| 9月 | ディベート企画「ディベートを体験しよう」 |
| 10月 | 英語企画「私の英語学習法 & Keep talking! How to begin and continue a conversation in English」 |
| 11月 | 第43回技術士全国大会(横浜)
「テクノツーリズム」、「青年技術士の集い」 |
| 12月 | 内部向け企画「ブラタナカ ～ゆるゆるオリエンテーリング & 知らない街で忘年会～」 |
| 2017年1月 | 技術営業強化企画「技術者の営業力について考える」 |
| 2月 | 修習ガイダンス2017
「パネル討論」、「ポスターセッション」、「合格祝賀会」 |
| 3月 | 修習技術者向け企画「技術士資格を取り入れた未来の自分を考える」 |
| 4月 | 一次・二次試験合格者交流会 |
| 5月 | 英語企画「Follow Latino Way!! C'mon, open up!! および英語ワークショップ」 |

今期の最大企画は、統括本部が主催の第43回技術士全国大会(2016年11月)の開催である。青年技術士交流委員会は「テクノツーリズム」(「大懇親会(&二次会)」)(11/12)、「青年技術士の集い」(11/13)を企画した(その他にも「前夜祭(&二次会)」(11/11)、「拡大委員会・本支部交流会」(11/13)も企画)。テクノツーリズムおよび青年技術士の集いは「時代を先駆け未来を創造しよう in 横濱」をテーマに、太田(道宏)委員をリーダーにして長期にわたる事前準備のうえ、盛況のうちに終幕した。

毎月の例会では、毎回好評の Dreams Project こども理科教室(2016年7月)、ディベート企画(2016年9月)、英語企画(2016年10月、2017年5月)、修習技術者向け企画(2017年3月)、一次・二次試験合

格者交流会(2017年4月)を今年度も実施し、今回もそれぞれで好評を得ている。また、修習技術者支援委員会主催の「修習ガイダンス 2017」では、今年度も「パネル討論」、「ポスター展示」、「合格祝賀会」で協力参加した。現在の会場(神保町・日本教育会館)に移行して2年目となり、昨年の経験を活かして企画することができた。

新しい試みとしては、内部向け企画(2016年12月)、技術営業強化企画(2017年1月)がある。内部向け企画は青年委員会メンバー限定の企画であり、過去にも自分についてのプレゼンによる自己紹介企画を開催したことがあるが、今回は3~4名のチームで都内を観光しながら所定のチェックポイント経由し、最終ゴールを目指すオリエンテーリングを企画した。終了後は貸し切りスペースで懇親会を開催し、全国大会の慰労とメンバー間の親睦を深めることができた。技術営業強化企画では技術者の営業力という新しい切り口をテーマに掲げ、青年委員会メンバーによる講演とグループ別ワークショップを実施した。ワークショップの成果は寸劇で発表するという試みもあった。

例会グループとしては、例会決め大会 2016(2016年8月)を特記したい。青年委員会メンバーにとって例会とは、単に参加者に自己研鑽の機会を提供するだけでなく、青年委員会メンバーにとっても必ず自己研鑽の場となるべきである。そこで、例会決め大会の冒頭では改めて以下の認識をメンバー内で共有した。

- ・誰も自己研鑽していないのではないか → 企画することが形骸化、自己満足になっていないか
- ・時間の経過、青年委員会メンバーの入れ替わりがある → 向くべき方向を向いているか (時間の経過やメンバーの入れ替わりで方向に変化もある)

これらを念頭において昨年度の全例会を振り返り、さらに以降の企画を練ることができた。

4. 次年度に向けて

私事であるが、今期で青年技術士交流委員会委員を“卒業”し、次期例会グループリーダーへバトンタッチとなる。例会グループリーダーとして従来通りの基本的な仕事をこなすこと、また青年委員会メンバーから例会運営に関して困りごとの申し出があれば自分なりの対応はできたとの小さな自負はあるが、積極的に大きな仕事、改善、新しい試みができたかと問われれば正直なところ自信はない。まだまだ改善点があり、自己研鑽は続く。青年技術士交流委員会が例会の目標として認識する“参加者が満足し、継続して参加する例会の実施”に向けて、例会グループが率先してサポート活動を継続されることを期待する。

以上

2017年度国際グループ 活動報告

作成：国際グループリーダー 北元

1. 国際グループの目的

本グループは、下記業務を円滑に進め、参加者相互の親睦を深めるための活動を行うことを目的とする

- (1) 公益社団法人日本技術士会の企画立案に対する提言及び協力
- (2) 若手技術士の国際感覚の醸成に向けた研鑽事業の企画・実施
- (3) 諸外国の技術者組織間の国際交流の推進
- (4) 技術者向け国際会議への参加
- (5) 公益社団法人日本技術士会の各地域本部のメンバーに対する国際活動機会の提供

2. 活動状況

2.1 マレーシア技術者との国際交流

2016年10月、二国間交流として、マレーシア、YES(Young Engineer Section)のエンジニアとの交流会を東京で実施した。4日間の行程で、意見交換会、懇親会、観光案内などを実施することで、YESとの関係を強化することができた。意見交換会では、各自の業務紹介だけでなく、日本の様々な地域や文化、食などを紹介し、日本の良さを伝えることができた。また、富士山や松島、明治神宮などを散策し、日本の伝統的な景色や建造物を見学した。



2.2 ブルネイ技術者との国際交流

2017年7月、二国間交流として、ブルネイ・ダルサラーム国技術士青年委員会の委員長との交流会を東京で実施した。1日であるが、観光案内兼テクニカルツアー、懇親会を実施した。青年委員会の国際グループ以外からの国際イベント参加など、青年層の国際意識の向上を図ることができた。東京タワー見学や日本科学未来館などでは技術的な展示等に非常に興味を持たれていた。また、帰国後もFacebookなどで定期的に連絡を取り合うことで、次回のCAFEO参加時などに新たな人脈形成につなげるなど、今後のさらなる交流の促進を図っていく。



3. 今後の計画

2017年度については、青年技術者交流員会からCAFEO 35/YEAFEO Mtg 24に委員を派遣する。2017年11月16日から19日までバンコク（タイ）で開催される予定である。前年度は派遣を見送ったため、各国とのコネクションやコミュニケーションが希薄になっているが、派遣を再開することでコネクションを再構築する。CAFEO/YEAFEOで情報発信することで、アジアでの日本の存在感をアピールする。



例会活動報告書

行事名	10月例会:私の英語学習法 & Keep talking! How to begin and continue a conversation in English
日時	2016年10月22日(土)13時30分～17時30分
場所	草手第2ビル 5階 AB会議室 ※交流会は、「串特急 神谷町店」にて実施。
司会進行	栗野委員補佐
講師	スティーブン・アシュトン氏
担当者: (○印:リーダー)	○栗野委員補佐、竹入委員補佐、太田(望)委員
参加者数	一般参加者13名+委員及び委員補佐6名、合計19名 ※交流会は、一般参加者11名+委員及び委員補佐7名、講師、合計19名

1. 背景・目的

英語例会は、青年技術士交流委員会(以下、「本委員会」という。)が行う例会のなかでも、多くの一般参加者が集う、人気企画である。

2016年においては、6月に英語例会を実施した。その際、参加者から、「年に1回ではなく、何度かやってほしい」という要望を多く受けた。

英語学習は、継続性が大切であり、本要望に応えることで、一般参加者の国際力の向上に寄与できるものと考えた。

以上の背景から、2016年6月の英語例会参加者の英語学習の意欲喚起及び継続性の機会を提供することと、レスポンス力及び持続力向上のトレーニングによる社交の場における英語力の獲得を目的として、例会を実施した。

継続性の観点から、2016年6月の英語例会の参加者を本例会の主な参加者として想定し、例会の企画を行った。

2. 例会内容

上記の本例会の目的を達成すべく、2部構成で実施した。

- ① 私の英語学習法
一般の参加者2名、委員及び委員補佐3名によるショートスピーチと質疑応答
- ② 英語ワークショップ
レスポンス力及び持続力向上のトレーニング

2.1 事前準備作業

例会当日までの間に行った準備作業は、以下のとおりである。

表 例会当日までの主な準備作業

No.	時期	作業項目
1.	7月末	講師へのコンタクト
2.	9月17日	講師、10月例会担当者によるワークショップミーティング
3.	9月25日	10月例会参加募集開始 ※2016年6月例会の参加者へのメールの送信
4.	10月18日	懇親会会場手配
5.	10月20日	10月例会参加者へのリマインドメールの送信
6.	10月21日	名簿作成、資料準備(ネームプレート、アンケート、CPD票など)

2.2 例会当日の状況

例会当日の流れと活動内容は、以下のとおりである。

表 例会当日の流れと活動内容

時間	項目	活動内容
13:30～13:45	開催の挨拶、青年委員会の紹介、当日の流れの説明	○太田副委員長により、開催の挨拶を行った。 ○太田(望)委員により、本委員会の紹介を行った。 ○栗野委員補佐により、例会の流れの説明を行った。
13:45～14:30	私の英語学習法	○一般参加者(赤嶺氏、中島氏)、中川委員、北元委員、栗野委員補佐により、英語学習法に関するプレゼンテーション、質疑応答を行った。
14:30～17:30	英語ワークショップ	○スティーブン・アシュトン氏により、レスポンス力及び持続力向上のトレーニングによる社交の場における英語力の獲得を目的としたワークショップを行った。

3. 成果と所感

私の英語学習法においては、各プレゼンターによる興味深い発表、活発な質疑応答によって、英語学習の意欲喚起を行うことができた。

英語ワークショップでは、スティーブン・アシュトン氏の手腕により、参加者同士の英語による積極的な会話が行われ、レスポンス力及び持続力向上のトレーニングが実現できた。

本例会では、2016年6月の英語例会の参加者の33%が参加しており、英語学習の継続性の機会を提供することができた。参加者からは「参加することで自分の弱点が分かった」「会議での振る舞いが分かった」「学習のモチベーションが上がった」といった非常に前向きな声を頂き、改めて英語例会の重要性が確認できた。

4. 今後の展開

英語例会のニーズの高さと、継続的な英語学習の場の提供の観点から、今後も、1年間に複数回、英語例会を実施することが理想といえる。

そのためには、講師によるワークショップのみならず、講師を呼ばずに、本委員会の委員及び委員補佐のみでの例会実施、例会実施までのプロセスのルーチン化も必要と考える。

継続的な英語例会の実施が、我が国の技術者の国際力の強化、YEAFFEO参加者の増加、本委員会活動参加へのきっかけとなるよう、さらにブラッシュアップされていくことを期待する。

－以上－

～ 例会の様子～



私の英語学習法プレゼンテーション



私の英語学習法プレゼンテーション



私の英語学習法プレゼンテーション



私の英語学習法プレゼンテーション



私の英語学習法プレゼンテーション



英語ワークショップ



英語ワークショップ



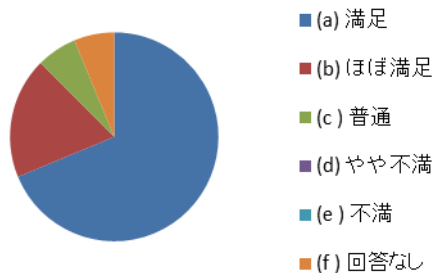
英語ワークショップ

●今回の例会について

Q1-1. 今回にイベントはいかがでしたか。

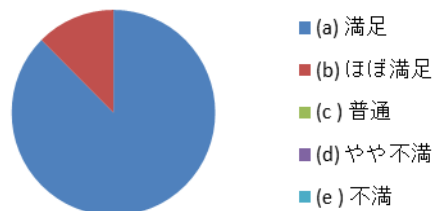
Q1-1-1. 前半「私の英語学習法」

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	11	68.8
(b) ほぼ満足	3	18.8
(c) 普通	1	6.3
(d) やや不満		0.0
(e) 不満		0.0
(f) 回答なし	1	6.3
合計	16	100.0



Q1-1-2. 後半「英語ワークショップ」

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	14	87.5
(b) ほぼ満足	2	12.5
(c) 普通		0.0
(d) やや不満		0.0
(e) 不満		0.0
合計	16	100.0

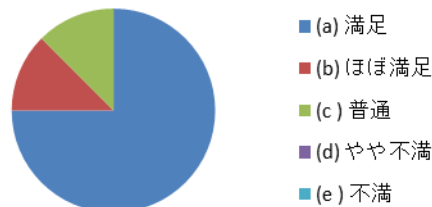


Q1-2. 講師に伝えたいこと

- ・毎回楽しく参加させていただいています
- ・いつも楽しい英語レッスンをありがとう
- ・楽しいワークショップで緊張せずに話せました。
- ・色々な勉強法があって参考になった
- ・It was very interesting to me because of various practices
- ・I hope to speak in public (not only one-to-one talking)

Q1-3. スタッフの対応（イベントの連絡、会場の準備、当日の進行）

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	12	75.0
(b) ほぼ満足	2	12.5
(c) 普通	2	12.5
(d) やや不満		0.0
(e) 不満		0.0
合計	16	100.0

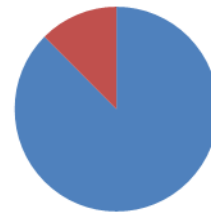


Q1-4. スタッフに伝えたいこと

- ・スムーズに進行して素晴らしいと思いました。ありがとうございました
- ・スムーズな進行ありがとうございました
- ・有意義なワークショップを開催して頂きありがとうございます
- ・大変参考になりました。ありがとうございます
- ・毎月やって欲しい

Q1-5. 今回のイベント全体について

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	14	87.5
(b) ほぼ満足	2	12.5
(c) 普通		0.0
(d) やや不満		0.0
(e) 不満		0.0
合計	16	100.0



- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q1-6. 今回のイベントへの参加目的

- ・モチベーションの向上
- ・英語のモチベーションアップのため
- ・英語の会話力向上及びモチベーションを上げるため
- ・英語力を上げる
- ・会話能力の向上
- ・英語力向上のため
- ・自分の英語スキルの上昇のため
- ・英語力Up
- ・英語能力を向上させたいから
- ・英会話の実践訓練をするため
- ・英語(国際)会議に参加した時に役立つと思ったから
- ・To speak to other members in English
- ・英語の勉強方法を知りたかったので
- ・青年技術士交流会のイベントに興味があったため

Q1-7. 今回のイベントはどのように役にたったか?

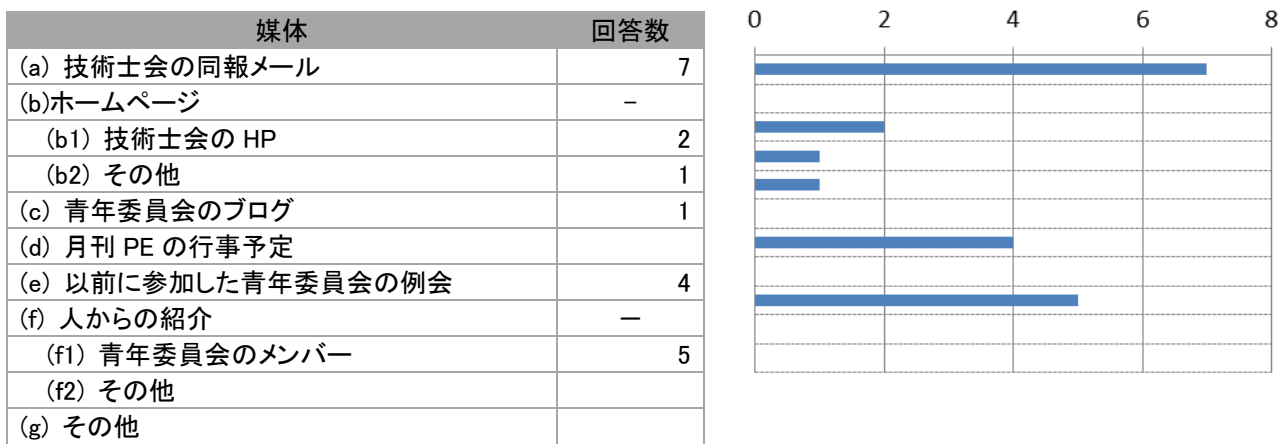
- ・非常に役に立った
- ・英語を勉強するモチベーション向上につながりました英語でのコミュニケーションの取り方が理解できました
- ・会話を続ける技術や話に割って入る技術を覚えた。
- ・英語の会話に慣れました。
- ・会議での振る舞いがわかった気がします。
- ・普段使わない英語コミュニケーションのトレーニングになって刺激になりました。
- ・実際に国際会議などでは日本人だけで固まって話してしまうことが多い。それをブレイクするWSでした
- ・いくつか便利な言い回しを覚えれました
- ・話すことのハードルが下がった
- ・Inprompt Speech
- ・It was interesting to know other people's style of learning English

Q1-8. 実際に試してみたい学習方法

- Online English learning program (because I'm not using...)
- オンライン英会話
- オンライン英会話に挑戦してみたいです。
- インターネットの英会話も挑戦したいと思います。
- インターネットを利用した安価なものがあるとわかったので、ぜひ試したいと思います。
- スマホのアプリを使用したレッスンが良かったです
- 通勤時間にスマホアプリを使いたいと思います
- 英語で解決法を見つける演習

●参加するまで

Q2-1. 今回の例会をどのように知りましたか

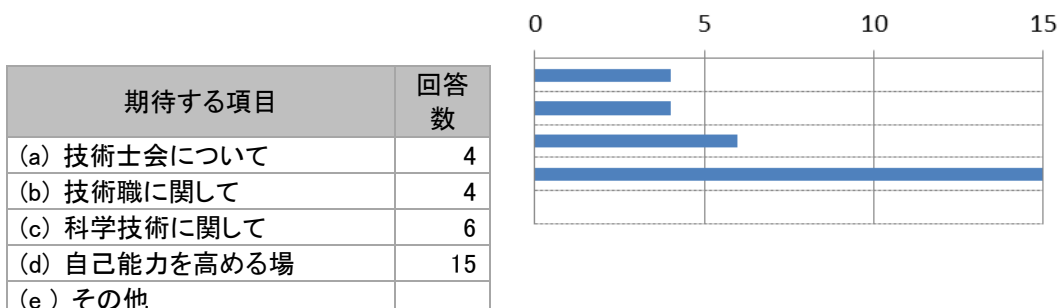


Q2-2. 今回のイベント参加にあたり、事前に知りたかった情報

- Who speaks (as a presenter)
- 参加される方の英会話力

●青年委員会の活動について

Q3. 今後のイベントについて



- (d) 語学力や専門技術の向上
- (d) 英語の能力
- (d) 英語、プレゼン力
- (d) プレゼン力向上につながる内容がよいです
- (d) 考え方のヒント等の情報をえられるとうれしいです。
- 英語のプレゼンテーションのWSぜひ参加したいです。
- 若手、中年世代が主体で行う活動

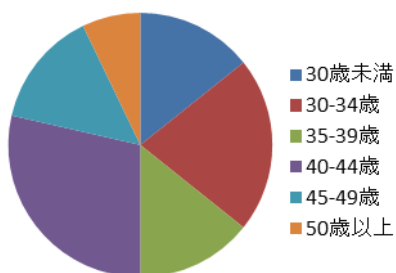
●参加者基本情報

Q9-4. 技術部門



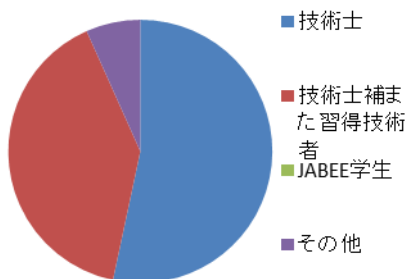
Q4-2. 年齢層

年齢	人数	割合 (%)
30歳未満	2	14.3
30-34歳	3	21.4
35-39歳	2	14.3
40-44歳	4	28.6
45-49歳	2	14.3
50歳以上	1	7.1
合計	14	100.0



Q4-3. 会員層

会員層	人数	割合 (%)
技術士	8	53.3
技術士補また習得技術者	6	40.0
JABEE 学生		0.0
その他	1	6.7
合計	15	100.0



1. 良かった点

- 1) 盛り上がった。懇親会への参加率も高く、参加者の満足度が高かったと感じた。
- 2) 栗野さんの司会、進行がしっかりしていた
プレゼンターによる英語勉強法に良い刺激を受けた。モチベーションアップに繋がった
- 3) 懇親会の参加率が高かった
- 4) 栗野さんの司会
- 5) 栗野さんの司会が丁寧であった。
- 6) 委員だけでなく参加者からも勉強方法のプレゼンがあつて良かった。
- 7) 参加者をリピーターに限定し、青年メンバーもWSに参加したことで、参加者と青年メンバーの、より密な関係構築が出来ました。また、内側から参加者同士の交流を促進することも出来ました。
- 8) みほしさんのスピーチ、とても聞き手を惹きつけます。赤いチェックのトップスはセルフプロデュース戦略の1つかと思っていたのですが、こだわりがないだけだったとは・・・。みほしさんのスピーチが始まると雰囲気明るくなります。ご対応ありがとうございました。
- 9) 今回はリピーター限定であったため、顔を見たことがある人が多く、和やかな雰囲気でした。
- 10) 英語上級者の方が、初心者の方をフォローしている場面があり、お互いにいい影響を与えていたように感じました。
- 11) 今回青年メンバーもイベントへ参加したことで、前回参加者との交流をより深めることができ、英語が堪能な方々もいたので非常に刺激になった。
- 12) 運営側も参加者として同時に加わることができるイベントだったため、二重に楽しい企画だと感じた。
- 13) 事前告知として、事前にどのようなテーマでイベントをするのかが明確化されており、はじめから安心して楽しくイベントに参加できた。[参加者視点]
- 14) 一つの決められた絵に対して英語でストーリーを作るという、発想力と英語での説明トレーニング(=一人ではできないこと)を体験できてよかった。[参加者視点]
- 15) 青年委員のメンバも参加できた。
- 16) みなさんの学習方法でモチベーションがあがった。
- 17) 参加者や青年委員の英語のスピーチが良かった。

2. 改善すべき点

- 1) 領収書の発行用の準備が整っていなかった(なお、領収書を発行する場合であっても、やはり名目を「懇親会費」としてはいけないと思います。継続検討が必要です)
- 2) 休憩時間が少し短かった(スティーブン先生の前半がやけに長かった)
- 3) 特にありません。(しいていえば、自分の英語力を改善(向上?)したいです。)
- 4) 当日のキャンセル連絡がevent10宛に来るので、メールの受信をするたびに受付へ連絡、というのを繰り返しました。受付には幹事を1名配置し、名簿にすぐ反映できる体制を検討したいです。
- 5) 休憩が1回だったので、もう1回あった方が良かったと思います。
- 6) 講座が終わってから、交流会までアンケート記入時間も含めて15分弱だったので、慌しくなってしまったと思います。先生が名刺を入れて欲しいと話していましたが、参加者の方が聞く余裕があったか心配です。
- 7) 前半のプレゼン後、休憩がかなり短かった(たしか5分もなかった?)ため、時間を押していたとはいえ、10分程度の休憩時間は設けるべきと感じた。
- 8) 休憩時間が少なかった。
- 9) 開始、終了にバタバタ感があった。

3. その他

- 1) 太田望さんのプレゼンは、いつも惹きつけられる。服装への“こだわり”も分かりました。
- 2) 別の部屋でTV会議をしようとしてトラぶっていたが、山本さんの対応で無事解決した。ありがとうございます！皆様、設営・運営にご協力いただきありがとうございました。m(_ _)m
- 3) いつも竹入が撮影をすると中川さんの魅力が半減してしまうのですが、今回は中川さんを研究した結果、今までで最も魅力的な写真となり（当社比）、個人的には満足しています。中川さんに限らず今後もみなさんの魅力を最大限引き出せるよう、努力します！
- 4) イベント終了後の懇親会の時に、数人の参加者がCAFEOに興味を持っており、来年参加したいといていた。継続的にコンタクトを取る方法を考えて、来年度のCAFEO参加者を増やしたい。（リピーターとなり定期的に例会に参加してくれれば一番いいのですが・・・）
- 5) みなさんのご協力があって無事に開催することができました。
今年3回目の幹事でしたが、まだまだ慣れないことが多く、ご不便をおかけしたかと思います。本当にありがとうございました！
- 6) 私から見れば皆さん英語がペラペラなのに、たくさん勉強しているのだと知り、刺激を受けました。
- 7) 後片付けで残って頂いた委員の方が来る前に交流会が始まってしまったので、申し訳なく思いました。リピーターの方であれば、ある程度は理解があると思いますので、机の並び替え程度であれば手伝って頂いて、全員で交流会を開始させた方が締りがあると思います。
- 8) 懇親会の予約開始時間が決まっている以上、イベント後の片付け組と懇親会直行組が分かれてしまうのは避けられないと感じたが、遅れてでも懇親会へ十分参加できたので最終的にはよかった。
- 9) 参加できて楽しかった。wgでも何かできるといいですね。

行事名	第43回 技術士全国大会(横浜)テクノツーリズム、青年技術士の集い
日時	2016年11月12日(土) テクノツーリズム午前 10:00-13:20 テクノツーリズム午後 13:20-17:30 2016年11月13日(日) 青年技術士の集い 13:00-16:30
場所	テクノツーリズム午前：日本丸訓練センター、みなと博物館および日本丸 テクノツーリズム午後：横浜市水道局浄水部 川井浄水場 青年技術士の集い：神奈川県産業振興センター 13階 第1・2会議室
講師、発表者	テクノツーリズム午前：築田秀平氏(一般社団法人横浜港振興協会) テクノツーリズム午後：井田雅之氏(横浜市水道局) 青年技術士の集い：赤木副委員長、太田望委員、北元委員
担当者： (○印：リーダー)	テクノツーリズム：○諸田、○竹入、田角、太田望 各委員、他当日対応複数名 青年技術士の集い：○山本、川崎 各委員、他当日対応複数名
参加者数	テクノツーリズム午前：56名(地域本部・OB=36名、統括本部=20名) テクノツーリズム午後：60名(地域本部・OB=40名、統括本部=20名) 青年技術士の集い：70名(地域本部・OB=40名、統括本部=19名、一般=11名)

1. 背景・目的

「技術士の挑戦－世界・日本の持続的成長を目指して－」をテーマに、第43回技術士全国大会(横浜)が11/13～16の日程にて開催された。その行事の一環として、青年技術士交流委員会(以下青年委員会)主催による、青年技術士の集いを実施した。また、同イベントに先立ち、テクノツーリズムを開催し、技術研鑽するとともに、各地域本部(統括含む)の青年層参加者(技術士・技術士補・修習技術者)間の交流を深めた。

また、事前に各青年イベントに共通するテーマおよびPR文章を策定し、その内容を念頭において準備および当日の運営を実施した。

テーマ：「時代を先駆け未来を創造しよう in 横濱」

PR文章：「昨今、ダイバーシティという言葉をよく耳にします。横濱の歴史は、157年前の開港を機に我が国の玄関口として、多種多様な文化を先取りし、発展してきたといっても過言ではありません。過去に学び、多様性を活かした未来を創造していくために、我々技術士は何をすべきか、どう先導していくのか、この横濱の地で一緒に考えましょう」

2. 内容

2.1. テクノツーリズム(午前の部)

(1)「荷役の歴史 コンテナの進展」の受講(講師：築田秀平氏 一般社団法人横浜港振興協会)

日本丸訓練センター会議室において、講師の経験を基に荷役の歴史をご講演頂いた。

横浜は、埋め立て地を作るために、日本全国から土木作業員を集めることで、人口増加および技術、街が発展していった。昭和40年代は船を付ける岸壁が無かったため、係留ブイを作って、貨物の積み下ろしをしていたが、現在は岸壁もあり、クレーンで行っており、半日～1日程度で大型貨物船の貨物の積み下ろしが可能となっている。この貨物の積み下ろしは、ほぼオートメーション化されており、力作業は殆ど無くなっているのが現状とのこと。

(2) 横浜みなと博物館の見学

横浜みなと博物館内の展示物を見学しながら、専門ガイドによる横浜港開港の歴史の説明を得ながら、江戸時代から明治にかけての横浜の歴史を学んだ。

(3) みなとみらい地区の散策

午後のバス移動場所に向けて、参加者が実際に自分の足で汽車道を辿りつつ、赤レンガ倉庫近くの旧横浜港駅のプラットフォームまで移動した。参加者を8班に分け、各班1人ずつ統括メンバーを班長として割り当て、引率を行った。時間的に余裕のある班は、日本丸の見学も行った。

2. 2. テクノツーリズム(午後の部)

全国初となる PFI 事業の経緯説明と国内最大級の膜処理施設を有する横浜市川井浄水場の見学を行った。赤レンガ倉庫前からバス2台をチャーターしての移動の車中、浄水場から紹介されたビデオを鑑賞して、事前学習を行った。現地到着後、前半に横浜市水道局の歴史のご講演を頂いた後、後半は施設の見学を行った。

近代水道とは「鉄管を用い、圧力をかけて 24 時間 365 日水を提供すること」である。横浜市の水道は、我が国初の近代水道として創設された。一昨年、セラミックスでろ過する、急速ろ過方式の水処理施設(セラロッカ)を設置し、これまで砂ろ過(緩速ろ過)で 2 時間かかっていた浄水時間を 10 分に短縮した。また、セラロッカは外気と触れない構造ため、入水に対して 99.99%を上水として出せる(通常は 94%程度)。また、浄水部分のみを PFI 化することで、節電や使用薬品低減などのコストダウンも実現した。

2. 3. 青年技術士の集い

テーマを「技術士として未来を創造するためのイベントを企画しよう」と設定し、多様な技術者同士で交流を図ることで、技術士としての社会貢献活動や自身の継続研鑽に役立てられる内容を目指した。

イベントの実施形態は、参加者同士の交流を深めて頂く目的で、インタビューとグループワークによる全員参加型ワークショップ方式とした。この方式は、過去 3 年に渡り、青年委員会の合格者向けイベントとして実施してきたものであり、地域本部委員への、統括本部の活動内容紹介の意味も含まれていた。

(1) インタビュー

56 人の参加者を 7 グループ(8 名づつ)に分けて、目指したい技術者像や抱負、技術士の例会に期待することなどについて、参加者同士で 2 分間のインタビューをグループ内総当たりで実施頂いた。このインタビュー内容は、次のグループワークで、「イベント企画」のヒントとして活用される情報となる。

(2) グループワーク

グループワークでは、56 人の参加者を 8 グループに分けて、「技術士として未来を創造するためのイベント」の企画を 60 分間で作成した。グループ分けに際しては、前半のインタビューの 7 グループから、必ず各 1 名が集まるように工夫されている。この工夫により、グループワークでの 8 グループには、結果として参加者 56 名全員分の情報が手元にある状態となる。なお、ファシリテータとして総括メンバーを各グループに参加させ、議論が発散しないように配慮した。

(3) イベント企画の発表

各グループに 4 分間で「イベント企画」の内容を発表頂いた。その後、最優秀企画を参加者の全員投票により決定し、閉会した。各グループが発表したイベント企画のタイトルは以下の通り。

チーム	発表イベント企画のタイトル	備考
A	青年技術士ディズニーフエス	
B	未来創造型研鑽イベント	
C	技術士が未来を変える！	
D	未来のまちづくりシミュレーションゲーム	最優秀企画
E	未来の技術士コンテスト	
F	世界一の橋を創ろう	
G	お悩み解決ダーツの旅	
H	問題解決型ニューエイジアトラクション	

2. 4. その他

- ・ イベントの広報は、各地域本部委員長に開催案内を送付するとともに、青年委員会ホームページ、技術士会 CPD 行事予定および月刊技術士への掲載を実施した。また、青年技術士の集いは全国大会の正式行事であるため、本大会の参加募集(東武トップツアーズ)にも掲載されることとなった。
- ・ テクノツーリズムのしおりを作成、印刷し、参加者に配布した。しおりには、聴講及び見学に関する内容だけでなく、会場へのアクセスや対応人員、周辺情報を記載した。
- ・ 万一のことを考え、危機管理マニュアルを作成し、統括メンバーに周知を図った。また、テクノツーリズムの参加者全員に、レジャー保険を設定した。

3. 成果と所感

3. 1. テクノツーリズム(午前の部)

講演では、横浜港の荷役業務に従事していた講師の長い経験を聞くことで、荷役の歴史とこれまでの発展を学ぶことができるという、大変貴重な経験を得ることができた。参加者も真剣な眼差しで聞いており、質疑応答時間も想定していた10分を少々超過するほど大変盛況であった。

横浜みなと博物館の見学では、横浜港の埋め立ての変遷、関東大震災や横浜大空襲を乗り越えて都市を再生してきた様子や横浜港と船に関する技術的なことまで幅広く学ぶことができた。専門ガイドによる横浜港開港の歴史の説明を聞くことで、単なる見学ではなく、理解を深めることができた。参加者からは好評を得ることができた。

前段の講演や横浜みなと博物館の見学で学んだ横浜港開港の歴史を実体験することで理解を深めることができたが、聴講→見学→休憩(昼食:弁当)→散策(班別移動)と、スケジュールにゆとりがないものとなってしまった。

3. 2. テクノツーリズム(午後の部)

横浜市川井浄水場の見学ではPFI事業による浄水場運転に関して発注者側(横浜市)と受託者側(メタウォーター株式会社:維持管理)の両方から経緯や技術的なことを伺うことができた。参加者の多くがPFI事業に高い関心を持っており、今後の活動における知見を深めることができた。

講師の丁寧かつ分かり易い講演を受けた後に、実際の施設を見学することで、参加者は上水道に関する歴史と最新技術を深く理解することができた。質疑応答も多く交わされ、大変盛況であった。

3. 3. 青年技術士の集い

全国大会の名にふさわしく、北海道地区から九州地区までの日本全国幅広い地域から参加があり、さらには外国からの参加もあった。まさしく「多様性」を生かした、活発な議論と参加者同士の交流が出来たと考える。

今回の青年の集いは、会場時間の都合で余裕が無い時間割となっていたが、結果的に密度の濃い内容に仕上がっており、参加者の満足度は比較的高かったと感じた。

グループワークの成果発表では、キーワードとして、技術テーマパーク、まちづくりシミュレーション、技術者以外の方々との交流、などが挙げられた。技術士会員の研鑽に役立ち、また参加したいと思えるイベントを、今後も企画していくヒントが得られた。

3. 4. その他

しおりに関しては、質・量ともに非常にレベルの高いものが作成できた。また、委員の中でイベント当日参加できない者も執筆に加わることもでき、作成する立場としても、大いに充実したものになったと思う。

青年技術士の集いの募集に関しては、今後課題を残すことになった。申し込み方法が、1)本大会への参加募集、2)地域本部委員長からの連絡、および3)CPD行事予定登録の3ルートも存在してしまい、それぞれの登録有無が生じる状態となった。今回開催したイベントは参加者数を厳密にする必要があるため、3)CPD行事予定を活用する意図であったが、全国大会の公式行事であるため、1)本大会への参加募集への対応が必須であり、上手く機能しなかった。結局担当幹事が名簿の名寄せをする必要が生じてしまったことは今後の改善点と考える。

4. 今後の展開

過去、拡大委員会の時期にあわせて、テクノツーリズムを企画・実施してきたが、参加者から好評を得られなかった。今回の全国大会では、その汚名を返上すべく、企画、運営からしおり作成まで、かなりの時間と労力を準備に注いで本番に臨み、参加者からは概ね好評を得ることができた。今回の経験を、来年以降のテクノツーリズムに生かして行きたい。

以上
(文責 太田道宏)

～ イベントの様子 ～



日本丸訓練センターでの講演



訓練センターから博物館(写真なし)への班移動



浄水場へのバス移動



浄水場施設の見学



インタビュータイム



グループワーク説明



グループワーク



グループワーク成果発表

行事名	第43回 技術士全国大会(横浜) 懇親会
日時	2016年11月12日(土) 18:00 - 20:00
場所	ホテル横浜ガーデン 4F サルビア(横浜市)
講師、発表者	会場との窓口: 太田道副委員長、中村副委員長、白井委員 司会進行: 白井委員 理科教室の取り組み紹介: 太田望委員 ゲストパフォーマー: 北沢善一氏(博物館学芸員) 理科実験パフォーマンスの TV 出演 DVD ワントランクパフォーマンス 交流ゲーム: 白井委員 人間ポーカー
担当者: (○印: リーダ)	太田道副委員長、中村副委員長、竹入委員補佐、太田望委員、白井委員(文責)
参加者数	参加者61名(うち統括本部より19名)

1. 背景・目的

全国各地から参加される地域本部の青年委員を迎え、青年技術士同士の懇親を深めること。
統括本部の開催した理科教室を紹介し、ゲストパフォーマー北沢善一氏の理科教室を紹介し、今後の対外活動の広がりのきっかけをつくること。
参加者同士が打ち解けあうきっかけとなる交流ゲームを考案し、実際に活用すること。

2. 例会内容

2. 1. 理科教室の取り組み紹介 太田委員

統括本部で実施した理科教室の内容と当日の様子を説明し、力を入れている様子を紹介した。

2. 2. ゲストパフォーマー 北沢善一氏(博物館学芸員)

- ・ 理科実験パフォーマンスの TV 出演 DVD
「鉄腕ダッシュ」で実施した巨大空気砲の実験 DVD で、TV 出演経験を含めた自己紹介をされた。
- ・ ワントランクパフォーマンス
スプーン曲げ、折り紙を使った手品など、興味深いパフォーマンスで会場をうならせた。

2. 3. 交流ゲーム「人間ポーカー」 白井委員

1. 受付時にトランプをつかって参加者にランダムに番号付けしておく。
2. 宴会の中盤に、トランプにしたがって5人組×12組に席替え。
3. 5人組で誕生日を共有して、ポーカーの役ができるか？とルール説明。
4. いくつかお題を出して12組のうち強い役ができた1組に景品を授与。

3. 成果と所感

- ・太田委員の理科教室紹介は、統括本部として力を入れていることが伝わるプレゼンであった。
- ・北沢善一氏には、酒宴の余興という位置付けにもかかわらず快く引き受けていただいた。
失礼が多かったかにも思えたが、交流ゲームにも参加していただいた。
事後には参加者や委員とFacebook でつながれたので、今後のきっかけとしたい。
- ・交流ゲームは、今回考案したルールであり、あまり完成度の高い内容でなかった。
具体的には、5人組に振り分けるまではよかったが、ポーカーの役をつくるお題を誕生日などに限定してしまうと参加者の考える余地がなくておもしろくない。
また、勝ち抜きトーナメント制だと負けた組はもう楽しめなくなる。
お題を指定するなら1題ずつ景品を渡す。トーナメントにしない。などルール設定で課題が残った。
- ・テクノが終わってからパスが少し早くついたため、参加者が入れずに待ってもらった。
テクノに参加せずに事前にホテルで準備しておくことを考えてもよかった。
- ・当日は本当に時間がなかったので、北沢善一氏とは事前に1度顔合わせをしておいてよかった。
- ・全国各地の地域本部から青年委員を迎え、青年 OB/OG も迎えて懇親を深めることができた。

4. 今後の展開

- ・著名であり、集客ノウハウを有する北沢善一氏と共同企画が組めると、技術士会の理科教室への注目度を上げることができるのではないかと考えている。
- ・人間ポーカーは新しい試みだったので、反省点を改善して別の機会にまた試してみたい。
- ・うまくこのような懇親会を進行するには、なるべく参加者にマイクを向ける方針がよいと感じた。

5. イベントの様子



・乾杯のあいさつ(田中委員長)

・青年の理科教室紹介(太田望委員)



・北沢善一氏パフォーマンス



・交流ゲームの説明(白井委員)



・会場の様子



・会場の様子



・交流ゲームの景品授与



・閉会のあいさつ(中村副委員長)

・集合写真

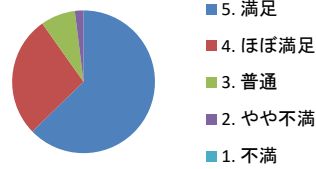
以上

●平成28年11月度 ～青年の集い～（表面）

●全国大会 青年の集いについて

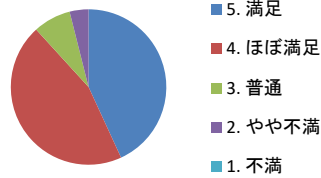
Q1-1. 講師の話し方や進め方は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. 満足	32	62.7
4. ほぼ満足	14	27.5
3. 普通	4	7.8
2. やや不満	1	2.0
1. 不満	0	0.0
合計	51	100.0



Q1-2. 講師の用意した資料(配布資料、プレゼン資料)の内容は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. 満足	22	43.1
4. ほぼ満足	23	45.1
3. 普通	4	7.8
2. やや不満	2	3.9
1. 不満	0	0.0
合計	51	100.0

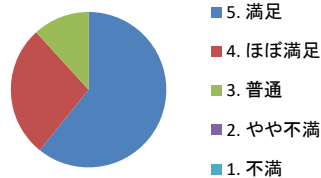


Q1-3. 講師にお伝えしたいこと(コメントなど)がありましたら、お書きください。

- ・すばらしい大会でした。ありがとうございます。
- ・もう少し細かい説明の情報があるとうれしかったです。
- ・各地域本部の活動報告部分の冊子は欲しかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・田中委員長の思いと統括の熱意が伝わってきました。
- ・楽しいイベントを企画してください。
- ・ありがとうございます。
- ・ありがとうございました。
- ・全く知らなかった内容について勉強させていただきありがとうございました
- ・見学の後にお聞きできればもっと理解できたかなと思いました。
- ・配布してほしい

Q2-1. スタッフの対応(イベントの連絡、会場の準備、当日の進行など)は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. 満足	31	60.8
4. ほぼ満足	14	27.5
3. 普通	6	11.8
2. やや不満	0	0.0
1. 不満	0	0.0
合計	51	100.0

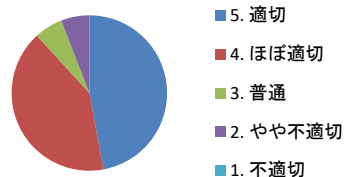


Q2-2. スタッフに伝えたいこと(コメントなど)がありましたら、お書きください。

- ・もう少し細かいところの段取り(ケア)をきちんとやればもっと良くなったと思います。
- ・お疲れさまでした。
- ・本当にありがとうございました。
- ・ありがとうございました
- ・楽しく青年の活動に参加できました。ご準備ありがとうございました。
- ・お疲れさまでした。
- ・お疲れさまでした。
- ・田中委員長の想いとこだわりが伝わってきました。

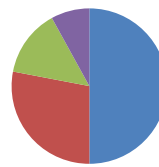
Q3. イベントの時間配分は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. 適切	24	47.1
4. ほぼ適切	21	41.2
3. 普通	3	5.9
2. やや不適切	3	5.9
1. 不適切	0	0.0
合計	51	100.0



Q4. イベント内容の案内は、いかがでしたか。

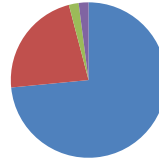
満足度	人数	割合 (%)
5. 適切	25	50.0
4. ほぼ適切	14	28.0
3. 普通	7	14.0
2. やや不適切	4	8.0
1. 不適切	0	0.0
合計	50	100.0



- 5. 適切
- 4. ほぼ適切
- 3. 普通
- 2. やや不適切
- 1. 不適切

Q5. 今回のイベントは、全体としていかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. 満足	36	73.5
4. ほぼ満足	11	22.4
3. 普通	1	2.0
2. やや不満	1	2.0
1. 不満	0	0.0
合計	49	100.0

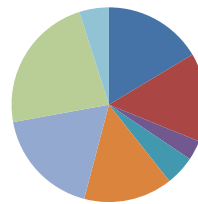


- 5. 満足
- 4. ほぼ満足
- 3. 普通
- 2. やや不満
- 1. 不満

●全国大会 青年の集いに参加するまでの経緯について

Q4-1. 今回の例会をどのように知りましたか。(複数回答あり)

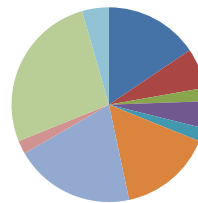
きっかけ	人数	割合 (%)
a)同報メール	10	16.4
b1)おしらせページ	9	14.8
b2)CPD内定行事	0	0.0
c)青年委員会ブログ	2	3.3
d) 月刊PEの行事予定	3	4.9
e)以前に参加した青年委員会の例会	9	14.8
f)全国大会パンフレット	11	18.0
g)以前に参加した青年委員会の紹介	0	0.0
h1) 青年委員会のメンバーからの紹介	14	23.0
h2) その他の人からの紹介	0	0.0
g)その他	3	4.9
合計	61	100.0



- a)同報メール
- b1)おしらせページ
- b2)CPD内定行事
- c)青年委員会ブログ
- d) 月刊PEの行事予定
- e)以前に参加した青年委員会の例会
- f)全国大会パンフレット
- g)以前に参加した青年委員会の紹介
- h1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- h2) その他の人からの紹介

Q4-2. Q4-1のご回答の中で、特に参加のきっかけとなったものはどれですか。

きっかけ	人数	割合 (%)
a)同報メール	7	15.6
b1)おしらせページ	3	6.7
b2)CPD内定行事	1	2.2
c)青年委員会ブログ	2	4.4
d) 月刊PEの行事予定	1	2.2
e)以前に参加した青年委員会の例会	7	15.6
f)全国大会パンフレット	9	20.0
g)以前に参加した青年委員会の紹介	1	2.2
h1) 青年委員会のメンバーからの紹介	12	26.7
h2) その他の人からの紹介	0	0.0
g)その他	2	4.4
合計	45	100.0

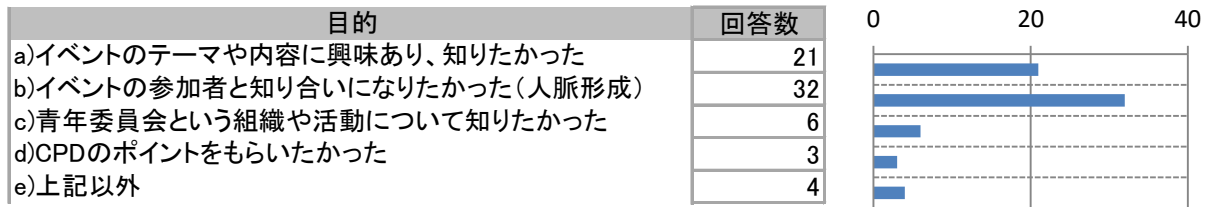


- a)同報メール
- b1)おしらせページ
- b2)CPD内定行事
- c)青年委員会ブログ
- d) 月刊PEの行事予定
- e)以前に参加した青年委員会の例会
- f)全国大会パンフレット
- g)以前に参加した青年委員会の紹介
- h1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- h2) その他の人からの紹介

- ・来年の大会の参考に
- ・技術士会会長より参加をすすめられたから
- ・青技交中国ML

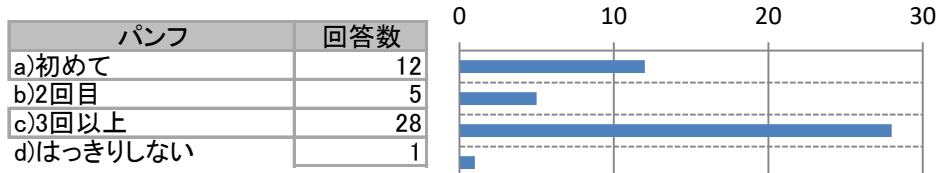
裏へ

Q5. 全国大会の青年の集いに参加した目的は何ですか。いくつでもお選びください。



- ・職場でディベート能力(話す能力)が低いと言われているので、伸ばしたいと思って参加した。
- ・できる人の技をぬすみたかった。ぬすんだ。
- ・社内のディベート研修でデキル感をだしたかったので勉強しておこうと思った。
- ・コミュニケーション力を向上したかった
- ・地域本部委員長だから

Q6. 全国大会の青年の集いに参加するのは、今回で何回目ですか。選択項目に○印を付けてください。

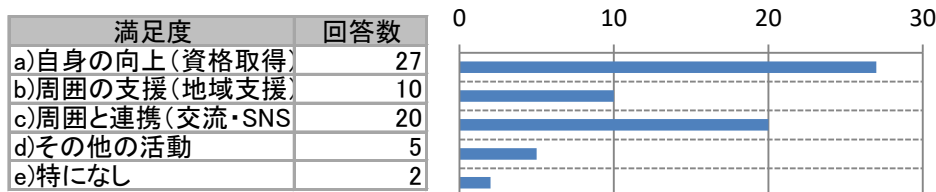


Q6-1. 今回が2回目以上の方にお伺いします。過去に参加した全国大会の青年の集いで、印象深いテーマや面白かったテーマがございましたら、お書きください。

- ・まだ2回目ですが、今回のテーマが得るものが多くて充実しました。
- ・言えない(九州の委員長だから)
- ・各部門の紹介(PR)製作
- ・今回は面白かったです。
- ・今回のイベント
- ・四コマまんが
- ・2011年の青年委員
- ・北海道？
- ・ほぼすべて印象にのこってます
- ・参加型で楽しくコミュニケーションがはかれました
- ・田中さん考案のアトム企画の汎用性は大きいですね！初めて参加側として楽しみました。あ

●技術士または技術者としての活動について

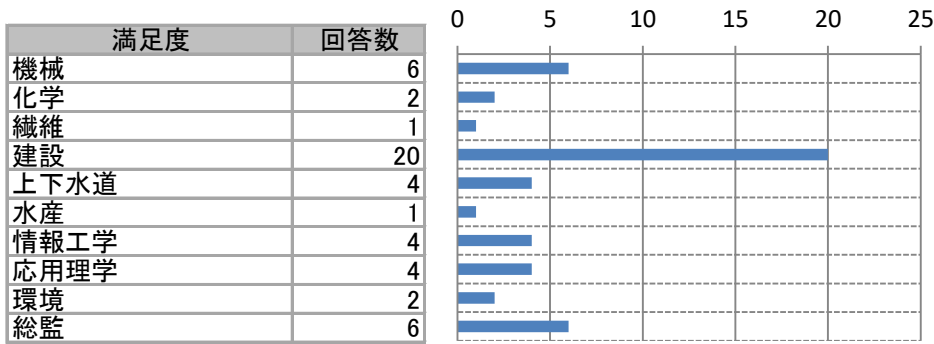
Q7. あなたご自身は技術士または技術者としての本業に加えてどのような活動をなさっていますか



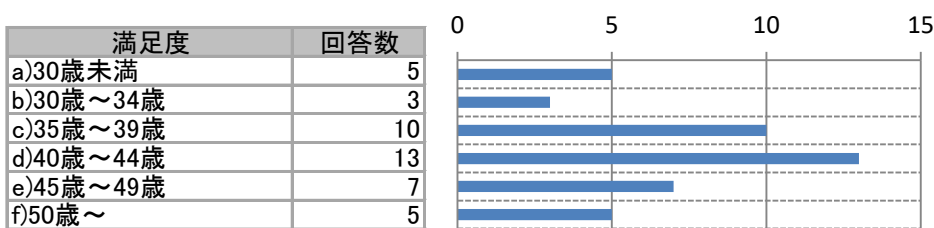
- a) 環境学習、資格取得、交通工学技術者、課題解決活動
- b) 理科支援、NPO、科学教室・環境教育支援
- c) 青年委員活動、SNS(FB)、上部からの助言
- d) サッカー、街づくりNPOでの活動、修習技術者研修制度

●あなたご自身について

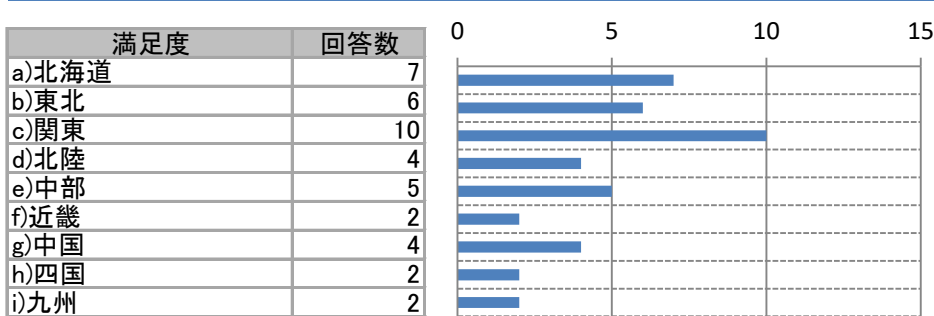
Q8-1. 技術部門。(複数回答可)



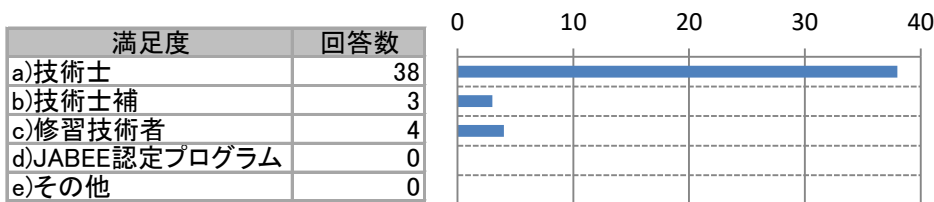
Q8-2. 年齢層をお選び下さい。



Q8-3. 所属地域本部



Q8-4. 会員層(技術士制度での位置付け)について、該当する項目をお選び下さい。



以上

全国大会 2016 アンケート

11/11(金)

前夜祭(&二次会)

北海道

■良かった点

- ・横浜にきたことを実感できるお店で、とても良かった。
- ・地ビールも料理も、とてもおいしかった。
- ・生演奏も、素晴らしかった。
- ・横浜の地ビールが飲めたことは良いでしょう。
- ・音楽などもあり、店の雰囲気よかった。
- ・地ビールを飲めたところ

■改善してほしい点

- ・同じ本部のメンバーが隣り合わせにならないように、席順に工夫があると良かった。(何より、遅れていった私たちが悪いのですが。)
- ・会の始まる時間が、ずいぶんずれ込んでいましたね。(遅れていった私たちのせいでもあります。)
- ・席の移動が難しく、全員と話せなかった(座敷にするべき)。
- ・地域本部ごとに自己紹介できる場が欲しかった(個室にするべき)。
- ・横浜らしい店として、中華街での食事を堪能したかった。
- ・好みかもしれませんが、もう少し料理に横浜感があると嬉しかったです。
- ・簡単な自己紹介の時間を作るなど、交流のきっかけになるタイミングがほしかったです。

東北

■良かった点

- ・いろいろなビールを味わえて満足しました。
- ・食事及び地ビールが美味しく、生演奏もあり大変楽しみました。

■改善してほしい点

- ・ホスト側の会計、受付が大変そうなのが気になりました。

北陸

■良かった点

- ・ビールが美味しかった。
- ・生演奏のあるお店はとても良かった。得した気分。
- ・人数は多すぎず、少なすぎずで、参加者とちゃんとお話できて良かったです。

■改善してほしい点

- ・会計の方が一人で対応しており、大変そうでした。手伝えれば良かったですね。気が利かなくてすみませんでした。
- ・領収書が全額 1 枚は、やや使い勝手が悪いと感じたのは私だけ？

中部

■良かった点

- おいしいビール専門店でした。

■改善してほしい点

- 特になし

近畿

■良かった点

- 懐かしいメンバーとじっくりと時間がとれたこと。
- 平日の金曜日の夜にもかかわらず、参加率が高かったと思います。
- 神奈川県の地ビールを堪能できて良かったです。

■改善してほしい点

- ちょっと参加が少なかったかな。
- 話し相手が固定化している傾向にあったので、親睦の目的であれば、意図的に、席替えタイムみたいなのを設けても良かったかもしれません。

中国

■良かった点

- いつもと同じぐらいよかったです。
- 生演奏があるなど雰囲気の良いお店でした。私はあまりビール好きではないですが、好きな人には喜ばれるのではないのでしょうか？

■改善してほしい点

- 特にないですが、帰りの電車で遅れました。
- 料理は少し物足りなかったですが、この辺りは好みもあるかと。

四国

■良かった点

- 雰囲気が良かった。

■改善してほしい点

- テーブル席だったので、他の席へ移動しにくかった。
- あまりアルコールが強くないので、横浜ならではの食をもう少し楽しめたかった。

九州

■良かった点

- 久しぶりに再会できたことが一番良かったです。
- また、九州から参加した若手も皆さんと交流できたことがうれしいです。
- ビールは様々な種類があり、焼酎党の私でも楽しめました。
- 再会できた。 いろんな味の地ビールが飲めた。
- 生演奏や生歌などの演出があり、とてもおしゃれな店で良かったです。皆様とも交流できて有意義でした。ありがとうございました。

- ・全国大会に初めて参加したので、どんな感じではじまるのかと緊張しましたが、統括の方、全国支部の方がフランクに話をしてくださって楽しかったです。
- ・締め挨拶にて、翌日からの本番にむけて盛り上げていく感じが、青年の若さだと感じました。
- ・横浜の地ビールがわりとクセがありましたが、それが逆に飲みやすかったです。

■改善してほしい点

- ・地域本部が集まっているのに、統括の方は遅れ気味。
- ・会計を太田さんお一人で狭いところでやっていたので、開始に影響&混雑気味。
- ・参加者のみの名簿があるとうれしいです。
- ・ここ数年、長丁場（3日間）の全国大会になっているため、開催する地域本部の方が非常に大変だと感じております。参加するだけの方は非常にうれしい限りなのですが、これが通例化すると、ホスト側は非常に大変だと思っておりますので、次の大会辺りから、少しずつ縮小していてもいいのかな？なんて勝手に思っております。（但し、この流れを作った九州としては、反省しております。）
- ・そうはいても、やはり飲みづらいものもありました。

11/12(土)

前半テクノツーリズム 講演「横浜港荷役の歴史」、横浜みなと博物館見学

北海道

■良かった点

- ・横浜にきたことを実感できる見学先で、とても良かった。
- ・お弁当も、横浜らしさを感じることができて良かった。
- ・昼食後の散策コースも、良いかんじだった。
- ・博物館は面白かった。
- ・みなと博物館の見学で横浜港の成り立ちと現状が概観できた点
- ・横浜みなと博物館で説明を聞きながらの見学はとても良かった。
- ・横浜みなと博物館の見学について、想像以上にボリュームがあり、時系列で学ぶことができたのは面白かったです。

■改善してほしい点

- ・講話と博物館見学は、逆のほうが良かった。（博物館を見て、やっと講話の内容が理解できました。）
- ・博物館を、もっとゆっくり見たかった。
- ・集合写真は、先に撮ったほうが良かったですね。
- ・昼食後の散策（移動）の際にも、少し解説があると、なお良かった。
- ・時間配分がダメだと思う。見学が先で講演を後にするべき。
- ・博物館も全てを見る事が出来なかった。時間不足。
- ・集合時間から始まるまで時間が余り、見学からバスまでの時間がかなり不足。
- ・講演者の選定と時間割（日本丸や三菱みなとみらい技術館も見学したかった）
- ・見学先の選定（氷川丸、赤れんが倉庫、大棧橋なども回ればなおよかったか）
- ・横浜みなと博物館の見学後、最初のほうに終わったグループは写真を撮るまで時間がかかり、時間もったいなかった。
- ・横浜みなと博物館の見学について、自分で自由に見る時間も少しあればもっと良かった。
- ・講演の内容に興味こそそられなかった。

- ・赤れんが倉庫に立ち寄る時間をつくってほしかった。
- ・講演内容はとても貴重なものだったかと思いますが、スクール形式で語りだけの講演は正直わかりにくく、集中力も持ちませんでした…。
- ・見学中のタイムスケジュールリングにもう少し工夫があると良かったです（写真撮影の待ち時間がもったいなかった）

東北

■良かった点

- ・天候に恵まれ、最高でした。
- ・ガイドさんの解説のおかげで、短時間ながらも理解が深まった。

■改善してほしい点

- ・もう少し時間の余裕があればよかった。（景色を眺めながらゆっくり移動したかった）
- ・もう30分あれば、もっとじっくり見学できた。
- ・博物館見学と講演を逆にした方が分かり易いと思いました。

北陸

■良かった点

- ・タイムラインがタイトなのが、逆に無駄が無く、すばやくいろいろ周れて充実した。
- ・みなと博物館のガイドが短い時間の中でも要点をまとめてすばやく対応してくれ、分かり易かった。
- ・博物館ではガイドさんによる説明があり、自分でただ漫然と見るよりは理解が深まり充実しました。
- ・前半の講演「荷役の歴史」は難解でしたが、そんなことに触れる機会も、どこかで役立つかもしれませんね。
- ・横浜というとまずは中華街に足が向いてしまうが、日本の産業を支えた素晴らしい歴史があることを知った
- ・このような、産業に関わる歴史の掘り起こしは、素晴らしい着眼点だと思った。うらやましい

■改善してほしい点

- ・講演で手元資料と講演内容があまりリンクしておらず、少し分かりにくいところがあった。
- ・博物館は、やや時間が足りない感じでした。
- ・今回は難しかったんだろうと思いますが、できればパワポを使った説明が良かった

中部

■良かった点

- ・横浜港の成り立ちから現在までの発展について、より深く知ることができた。また、横浜みなと博物館については期待以上の展示物が多く、時間が足りないくらいであった。
- ・横浜みなと博物館は、横浜の歴史の展示や船操縦シミュレーション等あって、非常に興味深かったです。

■改善してほしい点

- ・見学後の集合写真撮影について、ちょっと統率がとれていなかった。博物館の見学前に撮影したほうがよかったかもしれませんね。
- ・非常に興味深かった分、もっと時間をとってゆっくり回りたいかったです。時間なく駆け足で見て回る

なら、説明員の方に「何か一つのテーマに絞って、その変遷を説明する」等の工夫ができれば良かったかもしれません。

近畿

■良かった点

- 横浜の150年というのを俯瞰的に理解できた
- 横浜在住歴が長かったのですが、一回も訪問したことがないスポットでした。
- 横浜港の長い歴史が勉強できて、大変に有意義だったと思います。

■改善してほしい点

- やや時間的にタイトだった点。本部の遠方組は途中合流前で、赤煉瓦倉庫出発で講義、博物館の順でもよかったかもしれない。
- 正直、全体的に、時間に追われて「せわしない」印象を受けました。特に、昼食と写真撮影。
- 写真撮影でも、何か、小さなゴタゴタがあったように見えたのですが。。(全体撮影に写れなかった人が居た??)
- 大人数で引率が大変なのは重々承知なのですが、時間管理をもう少し厳密にすべきだったように思えました。

中国

■良かった点

- 全体的に満足いたしました。
- 横浜港の歴史は、思っていた以上に興味深く学べました。
- 各班に説明の方を付けていただいたのでよくわかりました。解説を聞いた上で赤レンガ倉庫まで散策したのでいろいろな建造物や線路がなんなのかよく理解出来た。班のリーダーの方が道中説明していただいたのが特に良かったと思います。
- みなと博物館は見所満載でした。説明をして下さった方も説明がうまく短い時間ながらも色々と学べたと思います。
- 様々な経験をされた方の講演が聞けたので、大変貴重だと思いました。
- 若い人には無い、ガツガツした感じもなく、癒されました。味のあるプレゼンが良かったです。
- みなと観光はとても良い体験となりました。歴史深い街で、歴男としては幸せでした。

■改善してほしい点

- 特になし。
- 博物館の見学後の写真撮影までの待ち時間が、もったいないと思いました。
- 講演のテクノリズム全体に対する位置づけがよく分からなかったので説明についてもあまり理解出来ませんでした。最初に全体の流れと講演の位置づけをもう少し説明していただいた方が良いと思いました。
- 色々なメニューを詰め込んでいたため、少し慌しく感じました。個人的にはもう少しゆっくりと一つ一つを見たかったです。
- 言いづらいですが、時間が少なかったので、ゆっくり見たかったという点でしょうか?でも、統括本部の皆様のおもてなしの心が沢山のイベントにつながったと思いますので改善とまでは言えません。

四国

■良かった点

- 博物館での荷役の歴史は知らないことばかりで面白かった。
- 少人数のグループ行動だったのでまとまりがよかった。

■改善してほしい点

- 最初の講演はパワボやイラスト入り資料がなかったため、分かりにくかった。
- 博物館内は撮影禁止なので、あまり活動の記録写真を撮影できなかった。
- 集合場所に少し早く着いたためか、場所が分かりにくかった。

九州

■良かった点

- 天気が良かったのが一番。Tシャツの完成度も納得。
- 横浜の成り立ちが勉強できた。これは、本大会分科会「都市再生」の予習になりました。
- しおりの完成度が高いのにびっくりしました。
- 特に発展してきた時の話を聴けたことと、具体的なコンテナの運用について知ることができた。
- 講義から見学、昼食、そして船の見学とスムーズな無駄の無い時間配分で、考えられた工程だと感心しました。特に、昼食をお弁当にされたところが、無駄が無く良かったと感じました。
- 今まで聞いたことの無い、横浜の歴史について知ることができたので、自分の教養となったのではないかと感じました。
- その他、もっと歴史を勉強するべきだと自戒するきっかけとなりました。

■改善してほしい点

- 荷役の講演は、博物館見学の後が良かったかも。
- せっかく完成度の高いしおり、じっくり目を通す時間がなかったです。青年紹介資料もそうですが、配布するタイミングは再考かなと思います。
- 博物館の時間はもう少し長い方が良かった気がする。※時間の都合がありますが少し物足らなかった。
- 特に、ありません。
- 革靴だったので、バスまでの移動距離が若干厳しいものがありました。次回から運動靴にします。

後半テクノツーリズム 川井浄水場見学

北海道

■良かった点

- 最新の施設を見学できて、とても良かった。
- 講話と実験も、とても分かりやすく良かった。
- 見学の時間配分なども、良いかんじだった。
- 内容は全部良かったです。
- 膜濾過方式を間近に観ることができた（砂濾過以外の方式は初体験）
- 説明もよかったし、内容が素晴らしかった。
- 横浜市の方の説明も上手で、非常に楽しかったです。

■改善してほしい点

- 特にないです。

- あえて言うなら、2班に分けるなど工夫して欲しかったかな。
- 移動がスムーズになるし、説明が聞きやすいので。
- 特になし
- 特になし
- 特にありませんが、強いて言えば屋内外の温度差が想像以上でした。少し寒かったので、事前にアナウンスしてもらえるとよかったかもしれません。

東北

■良かった点

- 浄水場の歴史から最新技術の使用等、丁寧な説明で分かりやすかった。
- 実験もよかった。
- 地方の都市に生活していますが都市部の大きな人口を抱える水道という大規模かつ重要なインフラを見ることができた。
- 横浜市水道局、PFIの方の説明がわかり易かった。
- 講話も現地の説明も解かりやすかった。
- 普段見ることが出来ない施設だったので大変勉強になった。

■改善してほしい点

- 施設見学で集団から途中はぐれてしまう場面があった。
- 通常の施設との違いをもっとアピールしても良かったと思う。

北陸

■良かった点

- 水道局の担当者の説明が分かり易くておもしろかった。
- 水道局の方の説明が親切で、色々と学ばせて頂きました。
- 浄水場というと、仕事柄、あまり係ることがないので新鮮でした。
- 官民の一致した協力体制に感銘を受けた
- 技術をどのように活用すべきか、良いヒントを頂けた素晴らしい見学会だった

■改善してほしい点

- 特になし
- 田中委員長、謙遜しすぎ。テクノ非常に良かったです。
- なし

近畿

■良かった点

- 見学先のご担当の方のプレゼンテーション力が素晴らしかった。
- 質疑の時間を充分とっていただけましたこと。
- *ユニレリーフの活躍が見られたこと！！
- 私の専門と異なる分野であり、浄水場に関して何も知らなかったので大変勉強になりました。
- 説明員の職員さんも場慣れしている印象で、話が面白く分かりやすかったです。
- 私の質問にもしっかりと回答頂きました。

■改善してほしい点

- ・特にありません。
- ・富士山がみえたら。
- ・帰りに遠回りしてベイブリッジなどを通過してもよかったかも。
- ・説明員の方々の話を聞くのに夢中になってしまい、写真を撮影するのをすっかり忘れてしまいました。と言うか、写真を撮影する時間があまり無かったように思います。
- ・写真を撮影するのに特化する専門役が1人くらい、事務方に居れば、後でSNSに写真をアップして共有するなり、せっかくの学びの場の記録を詳細に残せたと考えます。(Facebookもチェックしたのですが、思いの外、浄水場の見学の様子の写真がアップされていません。。)

中国

■良かった点

- ・以下の改善点を除き、概ね満足いたしました。
- ・膜ろ過による最新の浄水技術は驚きました。小学校のときに見た浄水場見学とは全然違ってました。
- ・技術的にも最新の浄水設備であるだけでなく整備・運用の面でも新しい取り組みをされており大変勉強になりました。担当の方の説明も上手でわかりやすかったです
- ・浄水場の内部まで見学できたのは良かったです。また、浄水場の皆さんの説明や受け答えがすばらしく感銘を受けました。
- ・質疑応答が中々終わらなかったのは、それだけ興味深い内容だったのだと思います。
- ・何といても、PFI事業を間近で見れたので、貴重でした。あと、男性の役所の方のプレゼン力といったら抜群でした！ただ、屋上に上がった時の、ラブホテルの話は事前に用意されていたネタなのが分かったので、微妙な空気でしたね(笑)私は爆笑しましたが。。

■改善してほしい点

- ・出発前の集合時刻は、皆様ちゃんと守っていたのでしょうか。集合と聞かされていた時刻でも集まっている班が少なくて私がハラハラしました。時刻を守れなかったのであればバス会社さんにご迷惑がかかりますし、集合時刻が違っていただけなら、もう少し港の雰囲気を楽しみたかったなと感じました。
- ・最後の質問が多かったのはいいのですが、立ちっぱなしは年寄りにはきつかったです
- ・特になし
- ・んー。ないです。

四国

■良かった点

- ・横浜市職員の方とSPCの方の説明が上手だった。
- ・最新の水道設備と、大きく注目されている官民連携のあり方について学ぶことができ非常に良かった。
- ・東京や横浜の水道は全国的にも進んでいて、特に今回の川井浄水場においては最先端の設備を見学することができ、貴重な体験となりました。また、日本の水道業界ではPFI事業が合っているのではないかと聞いたことがありましたが、官民がどのように役割分担をしているかなど詳細な情報も話していただき、大変参考になりました。

■改善してほしい点

- 最後の質疑応答が活発だったので、最初の部屋に戻ったほうが良かったかな。
- 特になし

九州

■良かった点

- 地形を利用した効率的なシステムは勉強になりました。だからこの手法が成立するんだ。と
- 統括と水道局の事前の調整の素晴らしさがうかがわされて、スムーズに見学・勉強できました。
- 上水道の水源の確保についての取り組みが一例だと思いますが、知ることができてよかった。最近、外国の山林購入などの話題もあり、その辺のことも絡めた将来の日本の水事情についてさらに深く聞いてみたい気がした。
- 横浜市水道局の方の説明が詳しく、非常に勉強になりました。
- 前半とはまた違った技術に関する学習だったので、気持ちもリフレッシュして良かったです。
- 施設を説明されている方が、いぶし銀で良かったです。

■改善してほしい点

- 質疑応答があんなに活発するとは・・・立ちっぱなしは辛かったかな。
- 特に、ありません。

大懇親会(&二次会)

北海道

■良かった点

- 善ちゃん、なかなか良かったです。(Facebookでも、友達になりました。)
- 立食だったので、たくさんの皆さんと交流できました。(テクノ後で、足はつらかったですが。)
- イベントで席がシャッフルされる仕組みも良かったです。(たくさんの皆さんと交流できました。)
- ホテルにしたのは、まあ、良いかな。
- 会場選び(居酒屋より好印象)
- 黒井さんお疲れ様でした
- 科学実験のゲストを呼んだのがよかった。
- 立食なので交流しやすかった。

■改善してほしい点

- ポーカーのルールは、短時間で理解するのは難しかった。
- 会の後半、ゲストの善ちゃん、結構ひとりぼっちになっていましたよ。(おかげで、名刺交換したりお話をしたりできましたが。)
- 二次会の料理、カマ焼きは珍しくておいしくて良かったです、山盛りのコロッケなどは、ちょっと重たかったかな。
- 二次会以降のお店を紹介して欲しかった。適当なお店を探せなくて、大人数で入りやすい焼肉屋さん、なだれ込んだりしていました。
- テクノ後の、立食は疲れる。
- 設定金額が高過ぎる。
- 地域本部ごとに自己紹介できる場が欲しかった。

- ・黒井さんお疲れ様でした
- ・高価な印象でした。ホテルをつかう以上仕方ないのかもしれませんが、すこし費用を抑えてほしいところでした
- ・各本部の紹介をやってほしかった。初めて参加するメンバーなどを紹介したかった。
- ・ゲームの際に、1人が全て担当しており、時間のロスが多くてだらけてしまった印象。各テーブルでの確認など、チームワークで取り組んだ方がよかった。
- ・ホテルでなくてもいいのではないか、と思った。
- ・2次会での料理で揚げ物が大量に出てきて、食べられないのもったいなかった。2次会なので、料理は軽めのお店のほうが良かったのでは。

東北

■良かった点

- ・理科実験。(善ちゃん)
- ・理科教室やゲームも良好でした。
- ・善ちゃんは良かった

■改善してほしい点

- ・立食式は少し疲れた（「青年」なのでそんなことは言ってられないかもしれませんが）。
- ・ゲームは負けたチームも参加できる仕組みが欲しかった。
- ・立食はつかれます

北陸

■良かった点

- ・イベントがいろいろ用意しており、全体的に楽しめた。
- ・善ちゃんのサイエンスショーは良かったです。とっつきやすいのは重要だと思います。個人的には、「理科教室」の取っ掛かりとして呼びできれば、と思います。（予算が取ればですが。）
- ・例のポーカーも、自ら新しいゲームを模索する姿勢は素晴らしい。参加者ももっと温かい目で見てあげるべき。

■改善してほしい点

- ・ポーカーを模したゲームで1回戦で負けてしまい、少ししか参加できなかった。
- ・とはいっても、もう少し参加したかった。
- ・景品として「地域のお土産」が必要であれば、事前に告知頂ければ、「オフィシャル」に用意できたかもしれません。

近畿

■良かった点

- ・動き回れる会場で親睦の面では非常に良かったと思います。
- ・ぜんちゃん先生のパフォーマンスが見られたこと。
- ・適度にくだけたわかりやすいアトラクション。
- ・あまり期待していなかったが、意外と、料理が美味かった。
- ・理科パフォーマンスの先生も、盛り上げ方が非常にお上手であり、セミナーの講師役を拜命すること

が多い私としても参考になる点が多々あった。

■改善してほしい点

- ・7000円が参加の障壁になっていなかったか？（内容対比の値段の話ではありません。あの会場である内容であればむしろ、安いと思います。）
- ・テクノリズムとの間の時間が中途半端だったこと。
- ・せっかくの横浜なので、もう少しそれっぽい料理でもよかったかも。
- ・正直、あのゲームは「滑った」感があります。。ゲームに参加しにくそうな人が多かったし、敗者(??)はすぐにお役御免になって寂しそうにしていた気がします。そんなこんなで、ゲームのそもそもの目的である「交流」をしづらいフォーマットでした。人数が多いので難しいとは思いますが、最低限、会場に居る全員が何らかの形でコミットできるような形式でないと、せっかくの盛り上がった空気が冷めて(間延び?)しまう恐れがあります。

中国

■良かった点

- ・全体的によかったですが、特にサイエンスショーは、楽しむばかりでなく、科学教室などを実施する際のヒントを得ることができたので、非常にいいプログラムだったと思います。
- ・科学実験面白かったです。
- ・大人数での懇親会では、着席スタイルより立席スタイルの方がいろいろな方との交流が図れる。
- ・ゲストを招いて、盛り上がった。
- ・大懇親会と二次会の会場の雰囲気agaraりと変わるのよかった
- ・立食で多くの方と交流できたのが良かった。
- ・ぜんちゃん、白井さんのパフォーマンスも良かったと思います！
- ・理科教室への取組み発表から善ちゃんの登場からゲームと参加者を楽しませる仕掛けが多く、良い時間を過ごせました。あの場を何とかしてしまう白井さんの豪腕ぶりには恐れ入りました。
- ・最高でした！
- ・イベント盛りだくさんで、若い方がしっかり役割を果たされていたので、楽しませて頂きました！
- ・東京では社会貢献活動で小学生を対象としたイベントは埋もれて人が集まらないのが、印象的でした。
- ・各地域で色々な課題があり、大変だと感じましたが、これからも頑張りましょう！
- ・子供の笑顔って天使ですよね～。しんどい準備も吹っ飛びますね！お酒もうまい！

■改善してほしい点

- ・地域柄や年齢の違いによるものかも知れませんが、二次会の料理の分量が多すぎたかなと思いました。（個人的には、二次会以降は飲み中心でやりたいので…）
- ・ぶら下げの名札があってもよかったかなと思います。
- ・大懇親会が、かなり高額な設定だったので会場費は安価なところがいいと思います。
- ・二次会は、居酒屋はいいのですが人数に対して余裕がなく、席の移動もほぼなかった。
- ・（場所柄仕方が無いと思いますが会費が高い。。）
- ・やはり、会費は正直高いと感じました。ホテルを利用するなどしましたし、場所柄仕方ないのでしょうか。改善して欲しいという訳ではないですが、二次会以降は集団がそれぞれ分かれた感じとなり、あまり皆さんと話が出来なかったのが少し心残りです。
- ・えーと、記憶がなくなるほど楽しんでしまいました。

- ・自分のお酒の付き合い方を改善しないと反省しました。

四国

■良かった点

- ・立食で移動しやすかったので、いろいろな人と交流できた。
- ・立食形式だったので容易に移動ができ、初めて出席した私にとって、たくさんの方々とコミュニケーションを図ることができる良い環境でした。

■改善してほしい点

- ・会費がちょっと高い。
- ・乾杯から最初の催しまで間隔がなく、食べる時間が少なかった。
- ・せっかくステージがあったので、各地域本部がまとまってステージに上がって挨拶するような場があったらよかった。
- ・特になし

九州

■良かった点

- ・「宴会形式」ではなかったですが、善ちゃんと白井さんに楽しませていただきました。
- ・“ぜんちゃん”を呼ぶという、大胆な発想に驚き、とても参考になりました。名刺交換ができて良かったです。何と言っても、“白井ワールド”が爆発して、非常に楽しかったです。
- ・白井先生がいい味を出されて楽しかったです。
- ・最後のほうは何が何だかよくわからなくなっていたのが新鮮でした。

■改善してほしい点

- ・でもやっぱり立ちっぱなしは・・・
- ・恒例？のハプニング（臭い系など）がなく、あまりにも無事に行き過ぎて、ちょっと寂しい。
- ・特に、ありません。

全体を通じて感想などなんでも

11/13(土)拡大委員会および青年技術士の集いについてでも OK。

青年技術士の集いは既に紙媒体によるアンケートは済んでいます、まだ書き足りていないことなどがあればお願いします。

北海道

■青年の集いについて

- ・予告メールから、参加者全員と名刺交換できる仕掛けが何かあるのかな、と思っていました。
- ・集いの前半（インタビュー）は、とても良かった。
- ・集いの後半（WS）は、普通のWSだったので、何か仕掛けがあると、なお良かったかも。

いろいろ書いてしまいましたが、何よりも、長い時間をかけて準備をしてくださった統括本部の皆様
に心から感謝いたします。改善してほしい点は、統括の皆さんにどうこう言うものではなく、自分たち
でイベントを開催する際に留意するポイントとして活用していきたいと思っています。このたびは、本
当にありがとうございました。また近いうちに、お会いいたしましょう！

- ・「年鑑」の回覧が遅いでしょ。もう少し多めに作成して早めに回覧するとか。

- ・地域本部紹介のページだけでも、事前に配布するとか。
- ・集いで持ち帰れたものは、結局「1枚（インタビューシート）」。
- ・なにかしらの資料は、やはり配付して欲しいですね。

a. 拡大委員会および集いの内容について、概略でも事前提示いただけないでしょうか。社内（上長）説明に使う情報が無く、苦労しました。

b. a.にて苦労したことの根底には、全国大会青年イベントが一貫して「遊び」と思われている風潮がありました。研鑽として必要な3要素を効率よく得られる研鑽の場であることを前面に出す方法について今後の検討課題になるかとおもいます

- ・青年の集いに関して、インタビューがあつてからのWSは面白かったが、時間的に席替えをして、1つのテーブルに全員分の意見が集まっても活かしきれない印象を受けた。短い時間の中では、内容が多すぎたと思う。
- ・想像以上に若手（20代～30代前半）が少なかった。

東北

・今回、前夜祭から参加させて頂きとても楽しい時間を過ごすことができました。前夜祭時に配布された委員紹介資料にて顔と名前が一致できましたが、その資料を見ないと認識が困難な状況でした。

今後、受付時に名札を配布して頂き、大会参加期間の名札装着を検討頂ければと思います。

・地元の技術士会支部のイベントは、講演会・講習会がほとんどなので、誰を呼ぶか？につきてしまいます。アウトプット型というか参加型のイベントが新鮮でした。すべてよく考えられたイベントだと感じました。ただ準備が大変だったと思いますので負担が気になるところです。大変有意義でした。私は45歳でそろそろ引退ですが、地元の若手の技術士に青年技術士交流委員会のイベントへの参加を進めたいと思います。ありがとうございました。

- ・名札が欲しかったです。
- ・名刺交換の場がもっとあると思っていました。

北陸

- ・青年の集いは、せっかく投票したのだから、上位には何か賞品が出ると盛り上がったのでは？
- ・前後半でチームが入れ替わるというのは、より多くの人と交流できて、とても良かったです。
- ・全体を通して、統括本部の才気あふれる若手メンバー頑張った「統括らしさ」の感じられる、充実した青年イベントだったと思います。オッサンも刺激を頂きました。

近畿

・今年度は、一日に拡大委員会＋本支部交流会＋青年の集いにならざるを得なかったので仕方ありませんが、来年度（6月の拡大委員会）は、本支部交流会の時間を是非十分とっていただき、各地域本部の青年活動の強みや課題を十分に議論できるようにしていただければ、と思います。

・太田さんをはじめとする統括本部の皆様の大変な作業のおかげで、密度の濃い3日間でした。本当におつかれさまでした。

・ご多忙の折、大変お世話になりました。お手数をおかけした共に、誠にありがとうございました。あれほどの大規模なイベントを、多忙な本業を抱えながら、計画立案し実行していくのは並大抵の苦労ではないと思います。内容面は素晴らしく練られており、特に不満点もない(むしろ大満足)ですが、運

当面では改善の余地があるかなと感じました。特に、「時間進行」については、私の周りからも色々とコメントが出ていたように見えました。昼飯を急かされすぎてムセた人が居たような気が。。。。

あと、毎度毎度思うのですが、申し込みの道筋が「技術士会本体」コースと「青年技術士会」コースに分離しており、非常にややこしいように思います。かつ、毎年、細かい手順が違っているような気がしているので、私だけかもしれませんが、申し込みをノーマスでクリアできたことが今まで一度もありません。。最後に一言申し上げると、この種のイベントは「実行することに価値がある」と思います。大人数の参加者がやって来るのに、運営者側の人員や時間に制約があるので、多少のトラブルはやむなしでしょう。とにかく「楽しんだもん勝ち」ということで万事 OK だと思います。以上、心からの歓迎を頂けましたことに、改めて、お礼申し上げます。

中国

- ・色々ありましたが、全体的に素晴らしい会であったと思います。お疲れ様でした。
 - ・記念品については品目だけでもアナウンスが欲しかった。何か分からないものに 2000 円というのは少し抵抗がありました。結果的には格好良いデザインの T シャツで良かったですが。。
 - ・3 日間を通じて統括の皆さんの全国大会にかけける気持ちが十分に伝わってくる良い全国大会だったと思います。本当にありがとうございました。
 - ・土曜の大懇親会と日曜の拡大委員会の温度差が大きいのがまた技術士会ならではのと思いました。締める所は締める。騒ぐべき時には大いに騒ぐ。伝統は受け継がれているのでしょうか？
- 田中委員長のメリハリと長い時間をかけた前フリとボケがたまらない！時間は厳守ですよ！⇒自分が守らない。。最高です！あー楽しかったです！

四国

- ・青年技術士の集いで、名刺交換があまりできなかった。
- ・毎回参加しているメンバーとはこれまで同様楽しかったですが、新しいメンバーや統括のメンバーと交流できる時間があまりなかったと感じました。
- ・拡大委員会では、もう少し他地域の活動状況を伺いたかったです。

九州

- ・感想は山ほどありますが、一言。溢れんばかりのオモテナシ、ありがとうございました。
- ・今回も他本部の方たちと交流ができ、非常に刺激になり楽しい時間を過ごすことができました。統括本部の皆様お疲れ様でした。また、ありがとうございました。
- ・拡大委員会の資料を委員以外は回収する意図はどこにあるのでしょうか。
- ・今年は拡大委員会と全国青年技術士交流会議を含めた形でしたが、例年、地域本部では、全国青年技術士交流会議が開催されます。ただし、例年 1 時間程度と非常に短い時間であるため、その意義が今市分らない状況のままです。これについて、拡大委員会等で話し合うことは今後することが無いのでしょうか。もし、他地域本部の活動を紹介し合う機会を全国大会の期間中に持つのならば、2 時間程度は必要かと思っておりました。
- ・今回、はじめて全国大会に参加させていただきました。おかげさまで全国のたくさんの技術士の方と知り合うことができました。ありがとうございました。

2016年11月全国大会内部アンケートまとめ(回答順)

11/11(金)前夜祭 (&二次会)

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
太田(道)	・一次会の店のチョイスが良かった。おいしかった。生演奏も聞けた。	・一次会の開始時刻に統括メンバーが揃わず、最初ぐだつとした。	・直前まで人数変更があったのですが、ご対応ありがとうございました。
白井	・一次会はピアノなど生演奏があった。瀬谷(横浜)の小麦ビールは地元色が出ていた。	・みちひろさん集金が多く大変だったと思います。会計の分担・作業場所があったほうがよかったように思いました。 ・乾杯のあいさつ「遠路はるばるお越しいただき～」と気の利いた一言をすべきだった。	・一次会は、大高さん坂東さん池谷さんに横浜の秘密？をお話しました。(慶應日吉キャンパスに陸軍総司令部が置かれ、大規模な防空壕がある。)。 ・二次会は丸山さんの隣が居心地よくて。すこしは動いて挨拶にまわれればよかった。 ・三次会は永岩さん田中さんとお話でした。 ・スカイスパよかったです。荷物が少ないときならもっといい。
丸山	・二次会の場所が近く、移動がスムーズでした。	・とくに盛り上がりがなく、なにか工夫をした方がよかったかなと思いました。	
田中	・丸山さんに最後してもらえたこと。女性が前に出ると華があって良い。	・特にありません。	・遅れての参加になりすみませんでした。 ・前夜祭から集まる青年エリートという単語が個人的にお気に入り。
小塚	・前夜祭のお店の雰囲気がバーのよう(実際、1階はバーで0次会に興じる地域本部の方もいらっしやった)で全国大会への期待感を高めるのに一役買っていたと思われること。 ・前夜祭のお店では複数種類の地ビールが提供され、ビール選びで盛り上がったこと。 ・前夜祭で予期せず生演奏を聴けたこと。 ・二次会のお店を事前に用意したこと。 地域本部の方から「準備が行き届いているね」とい	・みちひろさんがお1人で会計対応をされているのを見て、2人くらい会計対応者を決めておけば良かったと思いました。	・私事であり、翌日も同様でしたが、三次会以降に参加するだけの体力に自信が無く、完全に一部の方にお任せ状態でした。三次会以降もアテンドしてくださった皆様、申し訳ございませんでした。また、ありがとうございました。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
小塚	う旨のコメントがありました。		
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ・地ビールが飲めた。 ・生演奏があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付一人では負担（金銭のやり取り）が大きかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・0次会と称してすでに飲んでるメンバーが2名ほどいた。
明山	<ul style="list-style-type: none"> ・地ビールが飲める場所で大変ご好評いただいたこと。 ・予想外の生演奏や歌が聞けたこと（運よくタイミングがよかった）。 ・お店の1階がバーのようになっており、0次回としても使われていたこと。 		
高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・地ビールで「横浜」の話が盛り上がったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計が1人では大変だったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太田（道）さん、丸山さん、竹入さんお疲れ様でした。

11/12(土)テクノツアーリズム

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
下野	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間のなかで中身が濃かった。 ・浄水場では職員の方がとても親切だった。竹入さんはじめ委員と良い関係を築けているように感じた。 		
太田（道）	<ul style="list-style-type: none"> ・午前は、時間通りに進行できたこと ・午後は、市の担当者のお話が上手かった。また、その担当者と統括担当者が十分コミュニケーション取れていたと感じた。 ・遅れて参加された方を、上手くフォローできたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電車が遅れて人が集合できないこと/その場合どうするかを想定していなかった。 ・配布予定の委員紹介資料が足りなさすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツのサイズは3サイズくらいにしたほうがいいと思います。配布時に手間取って仕方なく、申し込みのミスも発生しがちです。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・川井浄水場セラロックの見学は濾過設備の技術としても、PFIという事業形態としても、大変興味深い内容であり、近代水道導入の歴史を併せて学 	<ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツの配布がスムーズにいかなかった。訓練センターでは一枚ずつたんで出しやすくお店を広げたが、持ち歩き時はスペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配送したTシャツのダンボールは千切って燃えるごみに入れたが、弁当屋さんの回収時にもっていってもらえた気がする。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
白井	<p>べる題材。諸田さんとてもよかったです！バスでの予習、専門家の説明、デモ機、現場見学、質問時間、盛り沢山でしたね。</p> <ul style="list-style-type: none"> PR 事業「はまっごどうし」柴口このみチャンの水ボトルをバスの座席に1つずつ設置いただいたのがうれしかったです。竹入さんご調整ありがとうございました。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学生のころ水源地の道志村キャンプ場で、火起こしに苦労したのを思い出しました。 宮西さんの会社の毒物自動監視装置（クロメダカ）が記憶に残りました。 景品、Tシャツ、柴口このみチャン、すべて持ち歩くのは結構重くて汗だく。このあと配り終えてまさに肩の荷がおりました。瀧川さん萩尾さん分はわたしが持っています。
川崎	<ul style="list-style-type: none"> 天候に恵まれたこと。 浄水場では質問が活発で、皆さん満足されていたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻したこと。もしものために少し早めに出ていたのですがそれでも間に合いませんでした・・・ 大人数になると、移動や確認で想定よりも時間がかかるので午前のスケジュールがタイトだったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 浜港のコンテナ量取り扱いに関して、説明員の方は空洞化のような説明だったのですがマスクのヨーロッパ-日本航路撤退や、海運3社コンテナ事業統合などにみられる産業構造変化の補足をしたかったですね。
田中	<ul style="list-style-type: none"> 個人的には百点満点だと思っています。 背伸びせずガイドは専門家に任せるのも良い。 バスチャーターして良かったですね。バスに設置したこのみちゃんの水がテクノと連動していたのが素晴らしい。 バスで竹入りさんにしめてもらえたこと。女性が出ると華があって良い。 	<ul style="list-style-type: none"> しおりをもっとアピールしたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝イチしょっぱなおじいちゃんが切々と語る約一時間、後ろから見てるとシュールで面白かったです。参加者には苦行だったか。 行きのバスでのビデオ、後ろの方でも見えたかしら？ 浄水場で質疑盛り上がりすぎ。立ちっぱしんどかったです笑 帰りのバスの中で T シャツの裏話や白井さんのはたらきっぷりを話し、そんな白井さんが大懇親会で企画を用意しているので注目してくださいと言っておきました。個人的にはあれが良かったと思っています。何かあっても許される(面白がってもらえる)雰囲気になった。
赤木	<ul style="list-style-type: none"> 快晴で気温も高く、バス乗り場までの散策が最高 	<ul style="list-style-type: none"> なし 	<ul style="list-style-type: none"> みなと博物館、日本丸がみどころ満載でもっと見

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
赤木	<p>でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班に分かれての行動は、周囲の迷惑にならず、迷う人もおらず、よかったです。 ・赤レンガ倉庫ではクラシックカーのイベントもあり、横目に見ながらですが、よい雰囲気でした。 ・初めてのバス利用でしたが、社内でのDVD、水の配布など準備万端でスムーズでした。 ・浄水場のおじさんのプレゼンがうまく、竹入さんとのからみを含め最後まで楽しませてもらいました。 		<p>たかったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川井浄水場で使用されていたポータブルのスピーカー、外部のテクノなどで使えそうです。サンワダイレクトで44,800円でした。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・川井浄水場見学は、内容、スケジューリングともに、良かったと思います。 ・川井浄水場見学は、水道という誰もが世話になっている技術を扱ったこと、近代水道の歴史、浄水に関する最新のものも含めた技術、事業推進方法（今回はPFI）と、幅広い分野に触れられていたことで、多くの部門の技術士が参加しているテクノでしたが、参加者の満足度は高かったのではないかと思います。 ・すでに他の青年の方からも挙がっていますが、川井浄水場側と青年側の連携がよく取れているように感じられ、テンポの良いテクノであったこと。 ・川井浄水場の井田さんは角が無く率直な方で、質疑応答がとても盛り上がったこと。 ・昼食のお弁当はボリュームがあつて美味しいと、G班では好評でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に懸念はされていましたが、横浜みなと博物館は、時間が押しまくりで、参加者の方にはじっくりとご覧いただけなかったことが残念でした。ものづくりに携わっている人間としては、日本丸もじっくりと見ていただきたかったです。 ・横浜みなと博物館のガイドが当日になって4人となり、博物館側の気配りだったのかと思いますが、テクノ担当者にとっては、ハプニングだったと思われること。逆に当日にガイドを減らされていたら…と考えると、怖いです。 ・これもすでにご指摘が挙がっていますが、当日の交通機関の遅れにより、遅刻となってしまった青年メンバーが出てしまったこと。結果的に運営への影響は限定的だったと思いますが、これからは何事も正・副担当を設ける、必要によっては近隣に宿を確保する（ご家庭のご都合もあると思いますので難しいかもしれませんが…）、といった対応が 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜みなと博物館は歴史と技術がバランス良く展示され、テクノ会場の選択としては大正解だったと思います。（時間が限られていたことが本当に残念…）横浜を知るにはもってこいだったと思います。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
小塚		必要ではないかと思います。	
太田(望)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に散策ルートを見ておいて良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半の部で班長を務めさせていただきましたが、詰め込みすぎず、何かを捨てる覚悟も必要かな、と感じました。 ・テクノの内容、背景をもう少しメンバー間で共有できれば、ゲストに対して、より良いご案内ができたかな、と感じました。散策ルートの歴史、バスの中の水と浄水場の関係など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長でしたが、声と背が大きいから分かりやすい！と誉めていただきました！ ・午後の浄水場見学が、勉強になりました。なぜPFI方式としたのか、民間活用のなかでの公共の責任の考え方などです。
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・竹入さんと浄水場職員との調整が素晴らしかった。当日もスムーズに進んだ。 ・事前にバスの中で映像解説と、水ボトルがあったので無駄がなく、参加者の気持ちを盛り上げたのだと感じた。 ・午前、午後とも、専門家の解説は理解を深めるためにも良い手段だと思う。我々だけでは、あそこまでできなかったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AM はなんとなくあわただしかった（時間に対してボリュームが多すぎた？） ・集合写真を撮るのに時間がかかりすぎた（全員集まるのに時間がかかった）→その結果、昼食時間がない→散策時間もない。 ・写真は博物館見学前に撮ればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気が良くて良かったです。
諸田	<ul style="list-style-type: none"> ・講師や見学先との事前調整が良かったため、当日の運営が円滑に行えた。 ・弁当のドタキャンの数が少なかったのが良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私事ですが、司会の練習を1回くらいしておけば良かった。すみません。 ・時間が少々タイトでした。 	
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜みなと博物館は、非常に高レベルの展示内容・説明でした。 ・日本丸から赤レンガまでの汽車道散策は非常に気持ち良かった。 ・浄水場での研修内容は、技術的・経営的に非常に興味深く、今までのテクノ企画でベスト内容であったのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかくの青年委員紹介の紙が、あまり流通利用されていない気がしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当は青年らしい内容構成で、So goodでした。でも、私には too much だったかも。としを取りましたな。 ・(青年としての改善点ではないのですが、聞き手として) 最初の荷役レクチャは、興味深い内容であったが、画像イメージがなく歴史的情景をイメージしづらい印象でした。普段、聞き手としてもパワ

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉の出来栄えが凄すぎる。 		ポ画像に頼りすぎているのかもしれない。
北元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川井浄水場のテクノがとてもよかった。当初は技術的な内容が中心と思っていたが、水源となる自治体との関わりや PFI という運営や維持管理についても説明があり、とても興味深い内容であった。また、井田さんのテンポや聴講者を飽きさせない小話など、説明者個人がとてもおもしろかったこともテクノ大成功の要因だったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年担当と浄水場担当の方とのコミュニケーションがよくとれていると感じました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 後付けですが、最後の質疑応答が活発だったので、会議室等の場所であればよかったかなあと思いました。
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天候に恵まれた。 ・ 事故なく無事に終わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人身事故に巻き込まれた。これから主担当のイベントの場合には前泊するか始発で向かうよう心掛ける。 ・ 行程を詰め込み過ぎた。 ・ 講演と横浜みなと博物館見学を逆にした方が講演の内容をイメージしやすかったのではというご指摘を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人身事故に巻き込まれましたが、前日横浜みなと博物館に確認しに行っていたので、当日の朝、最低限諸田さんにやるべきことを伝言できたと思いました。やはり事前準備は重要。
明山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天候がよく、汽道道を歩くコースは最適だった。 ・ 浄水場との連携がうまく取れていたこと。 ・ 濃密なスケジュールで充実した一日だったこと。 ・ 事前に下見をしたおかげで迷子になる運営スタッフはいなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し時間に余裕をもった工程にしたほうがよいと感じた。 	
高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水の見えない浄水場を初めて見れたこと。 ・ 様々な業態があることが知れました。 ・ 事前に移動ルートを確認しておいたので移動はスムーズでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス乗車までの移動距離が長いので時間がタイトだった。 ・ 日本丸はもう少し長めに見たかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸田さん、竹入さんお疲れ様でした。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
山本	<ul style="list-style-type: none"> ・受付名簿が整理されていて、スムーズに受付が出来た。 ・みなと博物館の学芸員さんの対応がとても良かった。ガイドを頼んで良かったと思う。 ・班ごとに食事を取ったことで、後の引率の際に名前と顔が一致して良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後の浄水場見学に参加されない方がいて、昼食を食べ終わったらいつものまにかいなくなってしまう。幸い、日本丸でその方に偶然お会い出来、午後見学に参加されない旨の意志を確認できたが、引率者としては少し戸惑ってしまった。 ・日本丸の見学を班で行ったが、意外に日本丸の中が広くて、集合時間に間に合わないかと思いついた。
熊原	<ul style="list-style-type: none"> ・川井浄水場の職員の方の対応がとても良かったです。プレゼンも上手で大変興味深い内容でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中のスケジュールが少しタイトだったように感じました。 	
田角	<p>①AM テクノの段取り本当に素晴らしかったです。諸田さん、竹入さんは相当入念な準備と、関係各所等のやりとりが大変だったろうと思われます。本当にどうもありがとうございます。会場も、日本丸訓練センターという絶好の場所が押さえられてよかったです。みなと博物館も、事前に諸田さん・竹入さんが下見にあって絶賛されていただけに、内容も素晴らしかったです。ガイドの方も大人数のため当初2名のところ4名に増員して下さい、感謝でした。休日のボランティアの方ですから、ただただ感謝です。</p> <p>②お昼 諸田さんがお弁当の空き箱の引き取りと、会場返却時間までの引き取り時間の交渉、ご自身で残って引き渡しなどすべて段どって下さってすばらしかったです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お昼休みに各班に分かれて赤レンガまで引率してもらったのですが、私は自分でしおりを作ったのでいろいろと説明できましたが、他の班は大丈夫だったかな？と心配が。9月くらいの委員会で、小塚さんが事前にシナリオを作成すべきといった時に、すぐお願いして段どっておけばよかったのでは。 ・大懇親会場に早めに到着することはある程度予測できたのですが、トイレ以外考えていませんでした。中華街へ散策にいらつらうなど、案内を考えておけばよかったです。 	

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
田角	③PM 川井浄水場は本当に素晴らしい見学先でした。よく見学の方が来るのか、浄水場側も慣れているということもありましたが、井田さんがおっしゃられていたとおり、竹入さんが入念に事前打ち合わせを下さっていたのでうまくいったと思います。本当にありがとうございました。		

11/12(土)大懇親会(&二次会)

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
下野	・出し物のボリュームが丁度良いと思います。		
太田(道)	なんだかんだで善ちゃんよかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・一次会の、統括のメンバーが食事を食べすぎ。ホストは基本食べないか、人気薄を中心をお願いしたい。 ・二次会の、ガッツリ料理が多すぎた。前日の「この費用ではロクなモノが出せない」ゴネゴネ電話はなんだったのか。あそこもう二度と使わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計処理の都合で、白井さんの晴れ舞台がほとんど見られなかったのが残念。ただ、参加者の表情は沢山見ることが出来ましたヨ。 ・お土産を景品にするときは、もっと持ってきてくれた方を持ち上げていいと思います。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストパフォーマー北沢善一先生のパフォーマンス時に参加者のみなさんが注目してくれたこと。お声かけして良かったです。 ・結局 50 分くらいグダグダ会場うろついてしゃべりたおしましたが、交流ゲームをやりきれた。 ・みほしさんの発表がよかった。場を静められずにごめんなさい。 ・中村さんみちひろさん会計まかせきりで、ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早めのバス到着を想定しておらず、待機場所を考えていなかった。 ・交流ゲーム、わたしのシミュレーション・準備不足を反省。もう少しはスマートにできたはず。 ・司会進行係としての言葉を、堂々と発するべきだった。 なにより北沢先生の経歴紹介をしっかりして、場を静めてからお渡しするべきだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みほしさんパソコン、みちひろさん接続コネクタの持参、ありがとうございました。 ・景品を受け取ってもらえてうれしいです。持参したかいがありました！ ・三次会の焼肉は、どなたがお会計してくれたのでしょうか！？大人数いたのに。未払いかと、、、 ・スカイスパ、中村さんと下見していた飲みも、小野寺さんと事前打合せも、体力なかったです。ぐっすりねちゃいました。ごめんなさい。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・なんやかんやでぜんちゃん良かったですね。 ・すでに顔見知りの人が集まる交流会では、この度やったポーカーみたいな本来の交流に水をさす企画も有りだと思いました。うまくやれば盛りあがりますね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーカー、いちど運営委員会で揉んでおくべきでした。やはり運営委員会で同意の得られていない企画はやるべきではないです。 ・勝ち抜き制はまずい。ポイント制ならよかった。 ・統括メンバーが飯食い過ぎです。お金払ってもらっているのであまり言えませんが、ホストとして節度を保ってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白井さんには相方(中川さん)が必要だと思いました笑 ・会費 7000 円に納得している人は一人もいませんでしたね。ただ、テクノで赤を出しているのと、懇親会は OB が多めに払っていることになるカラクリを明かしたあとは納得いただけただけの様子でした。
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・北沢さんのイベントは内容も技術者集団に合わせてくれており、全員が注目していた。 ・白井さんのイベントも最後までやりきれ、注目されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス到着からの待機場所もしくは 0 次会の案があればよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細野さん残念でした。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・北沢さんのパフォーマンスは意外性に満ちており、釘付けになりました。 ・(異口同音ですが) 白井さんの場の盛り上げ方が素晴らしかったです。退屈する暇がありませんでした。 ・ポーカーのように参加者の交流を促すゲームがあったこと。 ・二次会で鯖のカシラが出てきたこと。話のネタになりました。私はひたすら解体作業にあたっていました。(地域本部の方しかいらっしやらないテーブルがなかったことを祈ります。解体はそこそこの労働でした…。) ・大懇親会の料理が美味しかったです(食べ過ぎて申し訳ございませんでした…。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーカーは企画の発想は面白かったですが、お酒が入っている中、加えてポーカーのルールを知らない中での実施は少しハードルが高かったように感じました。スライドに役を映し続ける、役を書いた紙を各テーブルに配る、といった工夫をすると、わかりやすかったのかなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊の無い大懇親会は盛り上がるのだろうか心配でしたが、二次会を含めるととても盛り上がったので、幹事の手腕に頭が下がる思いでした。
太田(望)	<ul style="list-style-type: none"> ・善ちゃんのパフォーマンス、科学的に楽しく、場が盛り上がってよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しらいさんの交流ゲーム、運用する上でもう少しブラッシュアップが必要かな、と感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・善ちゃんと Facebook でお友達になりました！ dreams でコラボしたいですね！

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
太田(望)	・しらいさんの『やりきる』力、すごいです。		
中村	・善ちゃんパフォーマンスが良かった。(ある意味、これまでにない形。理科教室につながった?)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流ゲームは、事前シミュレーションが必要だった。→他のメンバーが誰もフォローできなかった。(白井さん、すみません) ・統括メンバーが料理をとりすぎ。(1時間経過後はなくなっていた皿が多かった) 食べるのは料理の質を確認する程度とし、あくまでホストに徹すべき。 	・今後も善ちゃんと関係を続けていきたい。
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・白井さんのポーカーク企画。バシッと決まるだけが良い企画ではないことを認識した。むしろ、あの進行で参加者同士の懇親が深まっていました。 ・善ちゃんの進行は、勉強になりました。 	・各地域本部からの戴き物の紹介は、もう少しあったほうが良かったかも。	・なし
北元	・善ちゃんのパフォーマンスがとてもよかった。理科というかマジックというか、あのような場にはピッタリの余興ですね。	・特になし	・一カーは酔っ払いにはちょっと難しかったですね。某班では誕生日を偽ってもわからないだろうと不正を図ろうとした人も。お酒が入っているから冗談なんでしょうけど。。。しらいさんのご苦勞をお察しします。
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ・善ちゃんのパフォーマンス ・白井さんの頑張り 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次会、3次会とも乾杯の音頭・締め音頭がなくみなさん少し困惑されてました。開始と終わりの合図は音頭をとってきっちり示すべきと思います。 ・3次会の場所が2てん、3てんしてしまった。締めの30分前ぐらいから3次会のお店を電話で確認してスムーズに案内できればより良かったと思います。 	・白井さん、完全燃焼でしたね。お疲れ様でした！
明山	・白井さんの司会と善ちゃんのパフォーマンス。	・トランプのゲームがイマイチわかりづらいと感じた。最終的には白井さんが各チームに回って必	

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
明山		死で説明されていた。	
高橋	・善ちゃんのパフォーマンスが良かった。	・白井さんのサポートが必要だった。	・太田（望）さん、白井さん、北元さんお疲れ様でした。
山本	<p>・まだ皆が酔っていない最初のほうに善ちゃんのパフォーマンスを持ってきたのは良かった。パフォーマンスもさすがでした。なにげに、ホテルスタッフの人もパフォーマンスを愉しんでいた。</p> <p>・トランプで同じ番号の人がグループを作る仕組みが、掴みとしてはとても良かった。懇親会のような騒がしい場所だと、なかなか司会者の話を聞いてもらえないのが常だと思うが、同じ番号の人を探すという目標を参加者に与えたことで、グループ作りに、皆さん集中して頂けたのではないかと思います。</p>	・トランプゲームの数字の決め方として、その場で工夫が出来る良かった。誕生日や会社名の文字数などは、値が固定で変えようがないので、誕生日でポーカーの役が出来ないことが分かったとたん、各グループとも白けてしまった。その場で、何か頭を使って、値を作り出せる仕組みにすると面白かったかもしれない。	・善ちゃんとあまり話が出来なかったのは残念。
熊原	・善ちゃんのパフォーマンス、白井さんのポーカーゲームなど丁度いいボリュームで盛り上がったこと。		
田角	・私は参加していませんが、二次会の魚がすごくよかったです（マグロの頭？）と評判がちらほら聞こえてきました。太田さんチョイスはさすがだと思いました。ご本人はご立腹のようですが、すごく好評でしたよ。		

11/13(日)拡大委員会&本支部交流会

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
田中	・うまく青年の集いにつながれたと思う。	・丸山さんに作ってもらった年鑑をまわしきれませんでした、すみません><	・やっぱり質疑応答の時間ほしいですね。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
田中		<ul style="list-style-type: none"> ・せっかくネームプレート作ったのにその意味を議事録担当に伝えてなかった。あれで出欠確認をしてほしかったのです。 	

11/13(日)青年技術士の集い

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
太田(道)	<ul style="list-style-type: none"> ・盛り上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飴システムの崩壊。 ・投票 No1 チームをもっと称えると、より盛り上がったかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場が広くて見晴らしも良くよかった。 ・お昼に行くときのエレベーター緊急停止事件はマジ焦りました。 ・グループに Kyu さんがいて救われました。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー実演は小野寺さんのご指摘で、事前に形式を確認できたこと。 ・眺めが良く、広々とした会場で気持ち良かった。 ・中国赤木さんのマリオ！（来年は山口県湯田温泉） 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した飴の個包装に表示がなかった。これ完全にわたしのミスでした。 ・カラオケいったわけでもないのに声が出なくなっていた。山本さんごめんなさい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤木さん T シャツのご説明してくれてありがとうございます。 ・北元さん高橋さんインタビューシートがないことに気付いてなくてごめんなさい。 ・伊藤さんとインタビュー、「ふつうが違う人との対話」という問題意識をお話できた。 ・グループワークについて、どうするこれ？と黙った雰囲気からのファシリテート、模造紙作成だけでなく勢い発表までやらせていただきました。（ゲストの強い希望により、、、） ・15分も早くグループワークが終わったのは、自己紹介が不要だったことと、なにより多様な意見でバラバラをまとめるのに鋭い切り口でバシバシ進行、決断にいける。常に仕掛けるイベント考える様子。やはり高瀬さん木本さんはスーパー青年でした！ ・発表者としては、4分の持ち時間に3分の発表は

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
白井			せっかく前に出してもらったのに1分モッタイナイことをしたと悔やんでいます。
丸山	<ul style="list-style-type: none"> ・地域本部の方もとても盛り上がっていて、楽しそうでした。 ・統括本部の一押しイベントを体感いただけたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の会場を見て、途中参加したいという方がいらっしやいました。全国大会では平行して行われている催しがあるので、途中参加、退席は難しいとお伝えしておいた方がよかったのでは、その時点で気付かされました。 ・発表者、司会とリーダーが違かったので、臨機応変な対応ができたのではないかと思います。 	
川崎	<ul style="list-style-type: none"> ・会場が広く、事前に心配されていた柱など問題なかったこと。 ・受付時間短いので、混雑するかと思われたが AM から参加の方が多く適度に誘導できた。 ・鈴木さんが筆記用具を準備してくださったこと。 ・参加された方々盛り上がっていたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飴システムで、後半部用に統括ファシリが入るところまで気が回らなかった。 ・中村さんと後半 GW でファシリをどちらが行うか様子見で、グループの進行導入部がよろしくなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを企画するグループワークで、化学部会の失敗談披露に一部なってしまいました。
田中	<p>確かに、統括メンバー同士でインタビュータイムも一興ですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Dreams の名プレゼンターコンビによるプレゼン良かったです。 ・みほしさんがとりちらかった全体の目的をくみ取りプレゼンされていたのに鳥肌が立ちました。 ・赤木さんに T シャツの Y に黄色を塗ってもらったこと。洗濯してどうですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・飴システム崩壊。本来通りのやり方をすれば、飴を選べなくなる人はたった一人しか発生しないはずですが。また、飴システムはファシリテータ(ドタキャン対策の人)も理解してないと成り立ちません。どれだけの人が理解していましたか？4月もこの企画をやるなら要見直しです。個人的には別の企画をやってほしいですが。 ・ファシリテータという言いかたはまずかった。統括メンバーはルール説明や軌道修正するにとどめ、実際のファシリテータは参加者にやってもらうべきです。 ・もっと若い人に発表してもらえるように促した 	<ul style="list-style-type: none"> ・みほしさん、さすがに声でかすぎでした笑 ・4月合格者交流会、6月拡大委員会で今回の反省点をいかしていきましょう。反省点いかせるよう例会グループお願いします。 ・小野寺さん、Facebook のリアルタイム更新ありがとうございました！！

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
田中		かった。若いメンバーが発表したのはひとつかふたつくらいでしたね。	
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・会場がゆとりがあり、設備も充実しておりよかった。 ・インタビューデモはプロの領域になりましたね。場が一気に和みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールが盛りだくさんで、かつ17時完全撤収であったため、最後があわただしかったです。神奈川県支部の挨拶など飛び入りなど想定外はありましたが、バッファは必要ですね。 ・司会が打合せ不足、委員長挨拶との重複、退場時の注意事項伝達忘れなどミスが多かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうど書いてたら、田中さんから回答が。1回洗濯で落ちてはいいませんが、薄くなったような・・・重ね塗りが必要です。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りのスケジュールで進められたこと。 ・イベント説明用のプレゼン資料がわかりやすかったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにご指摘が挙がっていますが、途中参加者の多さ。企画内容的に冒頭から最後まで参加がほぼ必須かと思しますので、それを周知徹底することが課題のように感じました。 ・模造紙に書き物をするときには、油性ペンではなく、水性ペンを用いることで、裏写りのリスクを排除すると良いと思います。 ・中国本部の全国大会告知スライドの動作確認をしておけば良かったと反省…。(表紙のみ映らないトラブルが発生してしまったので…。)しかし、ネタバレしてしまうから難しいか…? 	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーブルの発表は和気あいあい面白かったのですが、イベントの掘り下げ方は技術士ばかりが集まった割には各テーブルで差があったかなという印象でした。(個人的にはインタビュー結果のデータ解析をしたテーブルに技術士像を見いだしました。)今回は4月とは異なり、企画内容を求めたイベントだったことを考えると、今後に課題を残したかなと思います。同時に、如何にして技術士としてアイディアを提案し、それらを技術士としてまとめるための能力を伸ばしていくための仕掛けは難しそうだな…と考えさせられました(私自身もあまりこういうことが得意ではないため尚更…) ◆全体を通しての「その他」 田角さん、しおり作成本当にお疲れ様でした。統括全員が参加したしおり…素敵だと思います。
太田(望)	<ul style="list-style-type: none"> ・時間どおりの運営ができたこと。 		
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の定番(慣れている)ことで、安定感があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のテーマで、インタビューシートが後のグループワークでほとんど活かされていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツの評判が良かった。赤木さんが解説してくれたおかげで、ますます愛着がわいたのではな

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
中村		・飴スタイルが上手くいかなかった？ 結果的にほとんどの参加者が選べていない。飴を使う意味があるのか？	いかと思う。 ・しおりも評判が良かった。厚さで圧倒することができたし、読みごたえもあった。
諸田	・各地域本部の皆さんと交流でき、楽しんでもらえたと思います。	・時間が少々タイトでした。	
小野寺	・定した企画進行。	・インタビューシートとその内容は、GW で必要がなかったかも。でも、アイスブレイクとしてのインタビュータイムは最高のものでした。	・なし
北元	・インタビュー実演の小野寺さん、白井さんペアはトップンですね。会場がすごく盛り上がりました。会場が予想以上に広くて使いやすかった。		・全体的に時間がタイトだった。
鈴木	・加された地域本部の方が真面目に楽しんでいらっしやったことです。		・アシリテーターの立場を、具体的に明確にしておいた方がよかったと思いました。わたしは途中から参加したため、手伝いという立場で行っていましたが、最初から各テーブルについていた方とはアプローチが異なってしまっているのではないかと思います。
竹入	・何回もやっているイベントなだけあり、スムーズに事が進んだと思います。 ・小野寺さんと白井さんのかけあい。	・特にありません。	・主幹事が山本さん一人で大変だったと察します。本当にお疲れ様でした！
明山	・時間通りに工程が進められたこと	・カメラのバッテリーがすぐ切れてしまい、充電器がなかったので、急遽竹入さんのバッテリーをお借りすることになってしまったこと。長時間使用することを考慮して予備持参または充電器が必要だと反省します。	
高橋	・スケジュール通りに進行できた。 ・様々なアイデアの企画があり面白かった。	・特になし	・山本さん、北元さん、小野寺さん、白井さんお疲れ様でした。

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
山本	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんが協力して、設営が早くできたこと。 ・食事を早くすませて、受付準備がはやくできたこと。 ・突然のファシリのお願いに、対応頂けて、しかも、しっかりファシリをしていただけたこと。 ・赤木さんの司会が安定していた。 ・備品の輸送がうまくいったこと。 ・タイトなスケジュールであったが、時間通りに撤営、撤収できたこと。 ・山本を、とりまとめに専念させて頂けたことで、突発事故に対応できたこと。 ・安価で広い会場でイベントを開催できたこと。道宏さん、良い会場を探してくださって、ありがとうございました。 ・ドタキャン対策が出来ていたこと。無料イベントということと、他のイベントが同時刻にあったことからドタキャンが多かったが、想定内の人数に収まり吸収できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメシステムがうまくいかなかったこと。アメシステムが崩壊した時のリカバリについて、もっとシミュレーションしておけばよかった。 ・本部との連携不足。本部から当日、いきなりポスターが届いた。次回以降は全国大会本部との情報連携を取っておく必要ありと考える。 ・撤収時間を気にして、投票結果の発表が駆け足になってしまったこと。 ・申込方法が3つに分散したことで、参加者の名寄せに手間がかかったこと。 ・開始時間の変更しなくても良いように、パンフレット作成前にタイムスケジュールを決めておきたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さまのおかげで、無事に青年の集いを完遂することが出来ました。本当にありがとうございました。
熊原	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん活発に交流しており、楽しんでいるようでした。 ・ファシリが重複するトラブルがありましたが、山本さんの奮闘で何とかなりました。山本さんお疲れ様でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田中さんのコメントを読んで、ファシリテータの役割を正しく理解できてなかったかと思いました。当日5分でも打合せできればよかったかもしれません。 	
伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・私がファシリテーションしたチームが優勝したこと！今思えば、グループメンバーで課題の共有→意見出し→発散→収束→決定という、教科書のような過程がギュッと詰まった時間だった。特に 	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具が充実していなかったこと。特にペンの色種類、本数がもっと欲しかったです。8人で赤、青、黒が各1本では、良い思考ができない→いい案が出ない→いい発表ができない。さらにうちのチー 	<ul style="list-style-type: none"> ・（白井さんもコメントしてくださっていますが）思いがけず白井さんとインタビューしあう機会となりました。（照れくさい感じ）白井さんが目指したい技術士像は「色々な普通を知りたい(分野に

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
伊藤	合意形成の段階が、技術士らしくて素晴らしいと思った。さすがです。 良い経験になりました。	ムは黒がかすれて使えずで、結局私のグループは青一色の模造紙でした。ほとんどのグループの模造紙がモノトーンな感じで、個性が出ませんでした。	よって“普通”は違う)。その様々な普通を自分のフィールドにフィードバックして幅の広い技術士になりたい。」とのこと。ちょっと感動でした(TT)。私は「「後で調べて返事します」が少ない、即答できるカッコいい技術士」と答えたんですが、いいね！をたくさんもらって嬉しかったです。

全体を通して

回答者名	良かったこと	改善したいこと	その他、コメント
田角	太田さんは本当に素晴らしかったです。かなりのボリュームのある準備だったと思いますが、全体の采配から、こまごまとした気配りまで、毎日毎日相当数のメールを送信し、とりまとめも煩雑だったと思うのですが、きっちり切り盛りされていました。太田さんには頭が下がるばかりです。本当にありがとうございました。山本さん、白井さん、瀧川さん、丸山さん、小塚さん、ほか私の名前が入っていないという方もいらっしゃるかもしれませんが、皆様、本当に全国大会お疲れ様でした！どうもありがとうございました。	これは苦言ですが、全国大会の担当でないからといって、太田さん以外の 副委員長が無関心すぎだと思います。「5年に1度の全国大会を統括本部で 主催するので全員総出で参加するように」と銘打っているわけなので、忙しいとか遠くにいたりとか事情はわかりますが、動けない中でも少しでも 何か出来ることを探して申し出るなど自主性がほしかった。委員会幹部は会社の上司ではないので、上の人が動かなければ当然一般の委員の人も 動きません。何もしてない訳ではないと思いますが、もっとやる気を見せてほしい。一般の委員の人でも、当日参加しない人などかなり無関心に思われ、もうちょっと入ってきてほしかったなあと思います。	

青年技術士交流委員会 活動報告

報告日:2017年1月28日

行事名	12月イベント (第一部)ブラタナカ ~ゆるゆるオリエンテーリング~ (第二部)知らない街で忘年会
日時	2016年12月19日(土)13:00~17:30
場所	葺手第二ビル5階AB会議室(出発地点)
担当者:(○印:リーダー)	○磯部委員、丸山委員、竹入委員
参加者数	18名

1. 背景・目的

委員会内部向けのイベントを開催した。開催目的は次の通り。

- (1) 青年委員の相互交流
- (2) 「全国大会@横浜」で尽力したスタッフへの慰労
- (3) 適度な運動による健康増進
- (4) 神谷町周辺の名所観光と写真素材の収集

2. 例会内容

【第一部】ブラタナカ ~ゆるゆるオリエンテーリング~

神谷町をスタート地点とし、「ブラタナカ」と称するオリエンテーリングを開催した。

ルール・・・徒歩で都内観光しながらチェックポイントで証明写真を撮影し、最終のゴール地点を目指す。

※詳細はルール説明用PP資料(別紙)による。

《オリエンテーリングとは》

所定の場所を指定された順序で通過し、ゴール到着までの所要時間を競う野外スポーツの一種。

【第二部】知らない街で忘年会

第一部のオリエンテーリングのゴール地にレンタルスペースを借り、忘年会を開催して委員相互の交流を深めた。懇親会途中でオリエンテーリングの結果発表と写真閲覧の時間をもうけた。

表1 当日のスケジュール

開始	終了	実施項目	実施項目	開催地
12:30	13:00	イベント概要説明	ルール説明・班分け 等	葺手 F5 会議室
13:00	15:15	イベント【第一部】	オリエンテーリング	神谷町の半径 5km 圏
15:30	17:30	イベント【第二部】	忘年会・第一部表彰式	第一部ゴール付近

3. 準備

準備項目の一覧を表2、準備スケジュールを表3に示す。

表2 準備項目と担当者

No.	準備項目	具体的な作業
1	ゴール地点決定	ゴールとなる町を決定。(神谷町から半径5km圏)
2	チェックポイント(CP)決定	神谷町からゴールまでの間にある観光スポット・神社・ビル・公園 等、CP に設定する施設を選定。
3	コースの検討	複数の CP をつないで、全長 7km 程度の散策コースを検討。
4	コース下見	実際にコースを歩いてみて、CP や第二部の会場等の下見や、散歩コースとしての適性を確認。またオリエンテーリングの案内用に用いる写真を撮影。
5	忘年会の会場下見・予約	ゴール地点近くのレンタルスペースを視察。 (好条件だったので予約。)
6	ルール説明スライド作成	イベント当日の冒頭に行うルール説明のスライドを作成。
7	忘年会式次第作成	第二部の忘年会で執り行う行事の式次第を決定。
8	(当日)最終 CP メモ設置	ゴール地点を記したメモを最終 CP の指定アイテムに設置。
9	(当日)景品準備	勝利チーム用景品等を調達。
10	(当日)会場準備	レンタルスペースに料理、飲み物、プロジェクタ等を準備。

表 3 準備工程表

No.	準備項目	11	12																			
		28 月	29 火	30 水	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	
1	ゴール地点決定																					
2	チェックポイント(CP)決定																					
3	コースの検討																					
4	コース下見																					
5	忘年会の会場下見・予約																					
6	ルール説明スライド作成																					
7	忘年会式次第作成																					
8	最終CP用メモ設置																					
9	景品検討・準備																					
10	会場準備																					

4. 第一部 結果

第一部の結果は次の通り。

表 4 ブラタナカ結果

参加チーム	4チーム	A～D チームを、各 3～4 名で構成
スタート地点	神谷町	荳手第二ビル5階会議室にてルール説明
ゴール地点	大伝馬町	最終チェックポイントにゴール地点のメモを設置
優勝	B チーム	到着が目標時刻(15:15)に最も近かったチーム。
準優勝	A チーム	最も楽しく過ごしたと思われるチーム
ブラタナカ賞	D チーム	道中で質の良い写真素材を収集したチーム。

5. 第二部 概要

第二部の実施詳細は次の通り。

表 5 知らない街で忘年会 詳細

会場	ベントスペース 社員食堂 Lab.	東京都中央区日本橋大伝馬町 13-1 Creative Hub131 3F
式次第	1. 開会の辞	太田副委員長
	2. 乾杯	小野寺委員
	3. 写真発表会	—
	4. 第一部 結果発表	—
	5. 特別イベント	全国大会 功労者表彰式
	6. 閉会の辞	田中委員長
	7. 締め	白井委員
スタッフ	司会	磯部委員
	料理担当	丸山委員、竹入委員、中川委員
備考	会場レンタル費用	24442 円(税込) /3 時間

6. 成果と所感

初の試みとなるイベント内容であったがオリエンテーリングコースの下見を十分に行ったこと、忘年会をアットホームな雰囲気で開催したことで、トラブルなく、委員相互の交流を深める目的を十分達成することができた。何よりも、参加された委員の皆様が、とても協力的な姿勢でレクリエーションを楽しんでくれたことが最大の成功要因であった。参加された委員の皆様へ、担当者一同深く感謝申し上げたい。

7. 今後の展開

アンケートをご記入頂いた方全員より、今回の内部向けイベントに高い評価を頂いた。今後も、年に一度は委員相互の結束を深めるため、内部向けイベントを開催できるよう期待する。

以上

添付資料①：チーム紹介

添付資料②：忘年会

添付資料③：アンケートまとめ

ブラタナカ チームA

1. コース

CP名	地名	撮影指定
必須CP	愛宕神社	なし
CP1	本願寺	親鸞様の像
CP2	水天宮	かつば像
最終CP	浜町公園	オブジェ群

イベント担当からの講評

勝敗度外視(笑)なほどに全力でブラ散歩を楽しんでくれたチーム！とても嬉しかったです。

状況写真



写真 A2 チームメンバー



写真 A3 全力疾走
躍動感があります。



写真 A4 決めポーズ
謎のポーズ。統率がとれています。



写真 A5 猫愛
ふつうの人は触らせてもらえません。
猫好きは伝わるものですね。



写真 A1 築地本願寺 親鸞(しんらん)様

プラタナカ チームB

1. コース

CP名	地名	撮影指定
必須CP	愛宕神社	なし
CP1	歌舞伎座	小さな鳥居
CP2	日本橋	道路元標
最終CP	十思公園	吉田松陰

イベント担当からの講評

時間通りに到着した優勝チーム。道中の写真も一捻りされたものが多くて楽しいです。



写真 B1 歌舞伎座 小さな鳥居



写真 B2 チームメンバー



写真 B3 クリスマスツリー
とても良い写真です。



写真 B4 タナカ
プラタナカ中の委員長タナカと「鉄鋼美術の田中」



写真 B5 遊具を楽しむ委員長。
遠巻きなカメラアングルが GOOD !

ブラタナカ チームC

1. コース

必須CP	愛宕神社	なし
CP1	日比谷公園	兵隊さん人形
CP2	すきや橋 次郎	看板
最終CP	久松児童公園	水道ハッチ
必須CP	愛宕神社	なし

イベント担当からの講評

おみくじをひいたり、食事をしたり、マイペースで楽しんでくれたチームでした。



写真 C1 日比谷公園 兵隊さん人形



写真 C2 チームメンバー



写真 C3 おみくじ
さわやかですね。結果は如何でしたか？



写真 C4 参拝
手前のひと、少しにニヤけてるような・・・。



写真 C5 高級寿司店
安倍さんとオバマさんの、あの店です。
一度は入ってみたい！

プラタナカ チームD

1. コース

CP名	施設名	指定
必須CP	愛宕神社	なし
CP1	桜田門	変な形の木
CP2	東京駅	記念碑
最終CP	堀留児童公園	非常井戸

イベント担当からの講評

一般の方々にまざった記念写真や、風景写真など、積極的に写真撮影に取り組んでくれました。良い写真多数あり。



写真 D1 東京駅 記念碑



写真 D2 チームメンバー



写真 D3 サンタさんがいっぱい！
知らない人達と記念写真。何かの催し物でしょうか。

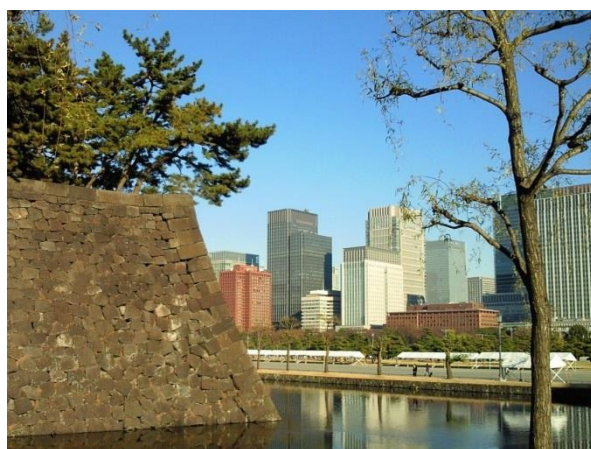


写真 D4 皇居の空
皇居の石垣、東京のビル群が映ったお堀。
そしてグラデーションの青空。美しい構図です。



写真 D5 タクシー乗っちゃいます。
ニヤリとした表情が良いです。

「知らない街で忘年会」

会場: イントスペース社員食堂 Lab. (東京都中央区日本橋大伝馬町 13-1 Creative Hub131 3F
古い雑居ビルを改装しレンタルスペース。白基調でアート感のある内装。キッチン、プロジェクター有り。



2016年12月例会内部アンケートまとめ(回答順)

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
磯部	<ul style="list-style-type: none"> ・第一部、第二部とも、実績のない企画に挑戦し、何とか形にすることができた。 ・参加者の皆様がとても協力的であった。 ・事故やトラブル無く終えることができた。 ・担当者メンバーの女性二人が優秀であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設計。「散歩」としては距離が遠かった。 ・最初からスケジュールが押し付けていたのだから、もっと柔軟にプログラムを変更すべきだった。 ・第二部の時間枠を、何としても19時まで使えるよう交渉すべきだった。 (会場予約の段階でダブルブッキングのトラブル有り) ・せっかくの各チームのおつかい品を活かすことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラタナカはそれなりに楽しんでもらっていたことが写真から伝わりました。本当に嬉しいです。 ・ちょっとしたロープレ感を楽しんでもらうための仕込み(ゴール地点のメモ)も成功(?)してホッとしました。
太田(道)	<ul style="list-style-type: none"> ・ぞんぶんに楽しめた。その点ではあのチームは優勝だったと思います。 ・資料にもものすごく力が入っていたこと。技術士@立ち寄ったチーズ屋さんに「何をしているのか?」と不審がられるほど。 ・最終チェックポイントに置いてあった指示書に、磯部さんの名刺が含まれていた点。勉強になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前の運営委員会が長引いて、イベントの時間を押ししてしまったこと ・「あ、遅れて行ってもいいのかも」と思わせる磯部さんの前振り(自分の曲解) ・技術士(というか社会人)であれば持つべき時間を守るという自覚(自分宛。反省) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バックヤードで食事の準備などしてもらった皆様、長いこと気づかずごめんなさい。ありがとうございました。 ・巡った所が小野寺さんの地元で、いろいろ解説が入ってテクノリズム状態でした。時間が短かった。。 ・個人的には The best event of the year. 今年一番、身も心も楽しめたイベントでした。準備お疲れ様でした!
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリング内部企画という斬新な企画で、十二分に楽しめたこと。 ・手作りの忘年会に感動いたしました。まさか手料理まであるとは! ・勝負にこだわる田中チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的には本年ベストイベントだと思いました。たまには内部慰労イベントがないと、モチベーションが上がらないため内部イベントの企画は非常に重要であると感じました。

添付資料③ アンケートまとめ

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
	(チーム分割行動、タクシー使用)。		<ul style="list-style-type: none"> ・1時間も基準タイムから遅れて到着して大変申し訳ございませんでした。しかしながら、プラタナカ中の太田さんは、心から企画を楽しんでいるように見えました。ゆえに全国大会最大の功労者を最大限に慰労できたと思っています。なんで、今回の遅刻到着の件は勘弁してください。 ・一番遅く到着した人が優勝だと思っていました。
明山	<ul style="list-style-type: none"> ・資料がかなり凝っていたこと(まさか CAD も使って似顔絵を作成するとは驚きです！) ・忘年会は貸しきり部屋 and 手作り料理というアットホームな雰囲気新鮮でした 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間になってしまったにもかかわらず、忘年会も含めて無事に終えられたため、特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部イベントは初めて参加でしたが、こういうのもいいですね。 ・ゴール地点で忘年会を開催等、年末に相応しいイベントだと思いました。おもしろい企画でした。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・内部イベント楽しかったです！ ・内部イベントなのに、いろいろ手が込んでいてビックリしたこと。 ・街中でオリエンテーリングというのが新鮮で、意外になかなか見つからなくて刺激になったこと。 ・イベントスペースは手作りお料理で満足度が高かったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部イベントを定例化したいですね！ 	
萩尾	<ul style="list-style-type: none"> ・日比谷公園のクリスマスイベントのオブジェがチェックポイントになっており、よく考えられていると思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が押してしまったので、運営委員会を時間通りに終わらせた方が良かったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りの料理を残してしまい申し訳ありませんでした。

添付資料③ アンケートまとめ

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・途中で買い物する条件があったり、優勝条件がゴールするまで分からない、会場がどうなっているのかわからないなど、とにかくワクワクしました。 ・忘年会会場がオシャレでいい雰囲気でした。 ・最後の指示を見つけた時は嬉しくてはしゃいでしまいました。 		
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・技術士関係以外で神谷町に来ることはあまりないため、付近を散策できことは良かったです。 ・適度な運動になりました。天気がよくて良かったですね。 ・手作り感、磯部さんをはじめとした担当の方のおもてなし感を存分に感じられました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間管理がうまくできませんでした。(反省・・・) 	<ul style="list-style-type: none"> ・到着時間が大幅に遅れてしまい申し訳ありませんでした。。 ・ご担当のみなさま、ありがとうございました。
田角	<ul style="list-style-type: none"> ・磯部さんの作った「ブラタナカ」題字があまりに良すぎて、まさに開始 30 秒後にイベントの大きなヤマを迎えました。 ・4 チームそれぞれコースが違い、全然違う方向へ行くのに、謎のゴールに集結するしくみになっていて面白かった。4 チーム分それぞれ下見と仕込みは大変だったと思います。 ・天気もよく、時間をもっとあれば本当はフル行程歩きたかった。気持ちいい散策でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の都合でいきなり時間変更 & 短縮となってしまう、残念でしたね。 ・タイムオーバーの時点(15:15)で、到着していない全チームが磯部さんに連絡をして指示をあおぐようにしたら、もう少し早く到着できたかな? と思いました。でも1時間も遅れたチームがあったのは、思い出としては面白かった。 ・挨拶をする人にこだわって先に始められませんでした。遅れて来るチームがいる想定で 	<ul style="list-style-type: none"> ・本当によく練られた企画で、面白い、素晴らしいの一言につきます。 太田さんが Best Event と書いていますが、本当にその通り、面白かったです。 これだけの企画と下準備は本当大変だったと思います。本当にどうもありがとうございました。 当日飛び入りでお料理のお手伝いをして下さった中川さんもどうもありがとうございました。 青年委員会の性質上、しよ

添付資料③ アンケートまとめ

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・会場がおしゃれなアート系のスペースでよかった。 ・会場についていきなり厨房に女子がずらりと並んで料理をしているシチュエーションで、女の私もドキドキしました。 ・手作りの料理が美味しかった。竹入さん、丸山さんにお手伝いしてくれた中川さんありがとうございました！ ・会場でかかっていた音楽がおしゃれ。 	<ul style="list-style-type: none"> 先に始めるシナリオを作ってもよかったですね。 ・途中で買ってきた食べ物を全チーム会場で提供できず残念。高価なターキーレッグをいただいてしまいありがとうございました。 	<p>つちゅうというわけにはいきませんが、年1くらい内部企画を行うのはよいのではないかと思います。</p> <p>本当に12月担当の皆さまありがとうございました！</p>
北元	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリングという企画がとても斬新だった。 ・おそらく想定通りの12:30スタートであれば、ちょうど良いボリュームだったと思う。 ・B班としてルールの盲点をついてしまったが、それはそれで楽しめた！！ ・第二部の会場の雰囲気、手作り感溢れる料理が良かった。また食べたいです！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月は全国大会後で省エネ企画ということでしたが、とても考えられた企画でクオリティも高かったように思えます。 ・またこのような企画に参加できればと思います。
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ・青年委員同士の交流が深まった ・委員の今迄知らなかった一面を発見した！ ・ブラタナカの表紙 ・シュークリームのタワーケーキ ・事故なく無事終わったこと ・中川さんが早めに来てくださり、キャベツをひたすら切ってください、大変助かったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次会の時間をもっと長く取ればなお良かった 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなさんが本当に楽しそうにオリエンテーリングの様子をお話くださるのでとっても嬉しかったです。 ありがとうございました！

添付資料③ アンケートまとめ

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
田中	・磯部さん、たけいりさん、丸山さんの本気とみんなを楽しませようとする気持ちが伝わってきた	特になし	・運営委員会の終了が遅くなってごめんなさい。 イベント楽しすぎて感動しました。ちょっと泣いちゃいました。 青年やって良かったです。 ありがとうございました

行事名	2017 年 1 月イベント:ワークショップ「技術者の営業力を考える」
日時	平成 29 年 1 月 25 日(土) 13:30~17:00
場所	公益社団法人日本技術士会会議室(A・B) 葺手第 2 ビル 5 階
講師、発表者	講演&パネル討論:高橋義也、小野寺純、磯部永舟、横田敬久(パネル討論のみ)
担当者: (○印:リーダー)	○小野寺純(記)、横田敬久、高橋義也
参加者数	34名(参加者20名、青年技術士交流委員会14名)

1 背景・目的

技術者は技術のことだけを理解していれば良いのか?否、総合力が必要であることに異論はないところである。この総合力の構成要件に「営業力」が論じられることは少ないが、本イベント企画においては重要な能力であると以下とおり考える。キャリア上の問題~技術者は一生技術職で生きていけるのか?必ずしもそうではない。キャリア途上で技術営業的な役割に転じ、フィールドに出る例は少なくない。また技術系管理職のキャリアを進んだとしても、営業的視野を持つことは営業・マーケティング部門等との協働・折衝等を行う上で必須であると考えられる。よって、現役の技術者が「技術営業的な視野」について考える共同研鑽機会は重要であると考え、本イベント企画の動機とした。

日本技術士会会員・準会員だけではなく、今年度の第一次試験合格・JABEE 修了見込者である新たな修習技術者(含非会員)も対象となる。ワークショップや懇親会を通じての交流により青年委員会の活動を強力にアピールし、4月の合格者交流イベント参加および日本技術士会入会への流れの道筋を付ける。

2 例会内容

2-1 オープニング&開会挨拶 (13:30~13:35)

田中雅人 青年技術士交流委員会委員長 (電気電子)

委員会代表者から、本イベント参加へのお礼を述べ、本ワークショップ企画意図を簡単に説明した。

2-2 青年技術士交流委員会の紹介 (13:35~13:40)

鈴木利治 青年技術士交流委員会委員 (機械)

青年委員会の活動は、他技術部門などの異なるコミュニティから人が集まり、異分野接触による気づきが得られ、知らぬ間に潜ってしまうタコツボから脱却する素晴らしい機会(参加者としても、運営側としても)を提供していることを説明した。活動を「まじめにたのしく!」として、青年委員メンバーが愛宕神社の階段を駆け上がる昨年 12 月内部例会の写真を使用したプレゼンは印象的であった。

2-3 本ワークショップの紹介 (13:40~13:45)

横田敬久 青年技術士交流委員会委員 (情報工学、総合技術監理)

未だ明確な定義されない「技術営業」を、本ワークショップでは講演やグループ討論を通じて理解を深めていく。主な論点は以下の通りである:技術営業にとって求められる資質、技術者のキャリアと技術営業、今後求められる「技術力・営業力・マーケティング力」を統合した技術営業力。

2-4 技術営業業務経験者による講演 (13:45~14:45)

高橋義也 「技術営業には何が・・・」 青年技術士交流委員会委員補佐 (情報工学)

自身の経験分野であるソフトウェア開発を事例とし、ソフトウェア開発工程の全体像の中から、自身で経験した工程について説明を行った。特に、ヘルプデスク、要件定義・基本設計、業務マネジメントの各業務では、技術営業スキルの涵養となる経験であり、同時にそのスキルが生きる業務であった。

技術営業に必要なものは、顧客が何をしたい?何に困っている?かを「聞き取る能力」、機会を逃さない速い提案をすることができる「反応力」、技術根拠に基づいた正確な見積もりと臨機応変な対応を可能とする「行動力」であるとして講演を総括した。講演後に質疑応答を行った。

小野寺純 「信頼される技術営業になりたかった」 青年技術士交流委員会委員 (生物工学)

基礎研究→技術運用→技術営業→マーケティングという自身の業務内容変遷を交えて自己紹介し、担当製品のプロダクトライフサイクルと技術営業としての立ち位置変化を交えて、技術営業の在り方を議論した。

顧客からの難しい要求や質問も、原理論を基に回答し、本当に不明な点のみ持ち帰る。科学技術の基礎を

理解していれば現場対応は可能であり、ここから信頼を得られることもあり、技術現場時代の研鑽の重要性に言及した。技術営業と非技術営業の違いとしては、技術的に無理なことは無理と言えること、具体的な納品イメージを顧客と構築・共有ができる点を挙げた。その他、顧客を論破して号泣させた営業スキル面での失敗事例や、自身の技術営業からのキャリアアップ事例についても紹介した。講演後に質疑応答を行った。

磯部永舟「技術者、営業中。」青年技術士交流委員会委員（金属）

金属部門の技術士である演者は、大型タンクの溶接技能・溶接研究・現場管理などの業務を行うが、メインはトラブル時の調査であると自己紹介した。営業の定義を調べ、自身の技術業務における営業的な側面は、得意先との顔つなぎと新規開拓であるとし、「技術者の技術と誠意により、その後のお取引を継続させる」ことを目標に置いている。

この技術営業定義に基づく成功事例として、国外での自らの肉体を張った危険なタンク内部調査事例を紹介し、さらなる信頼獲得と新規プロジェクト受注を挙げた。技術者：営業マンのウェイトバランスは演者の場合 8:2、どちらもゼロにならないことが重要であるとし、事例を挙げて議論した。最後に技術営業の 10 か条を列挙して、本講演の総括とした。講演後に質疑応答を行った。（添付資料、写真 1）

2-5 パネル討論「技術者のキャリアと技術営業での活躍」（13:45～14:55）

コーディネーター 小野寺 純；パネリスト 高橋 義也、磯部 永舟、横田 敬久

先の講演内容については事前打ち合わせや摺り合わせのない、三者三様で発散したものであった。そのため、後半のグループワークに向けて、パネル討論で論点の摺り合わせを行った。議論した論点は、以下の 3 点：

序：技術者の営業力、技術営業職って結局何？（序の議論後のみ、質疑応答を実施）

破：技術力と営業力を併せ持つことは、事業の潤滑油になれるか？

急：技術者が営業に転じることは転落？キャリアプランを考える。

パネル討論終了後に、グループワークの課題とプレゼンテーション形式を発表した（内容については下述）。（添付資料、写真 2）

休憩時間（14:55～15:00）

2-6 アイスブレイク「人間ポーカーR」（15:00～15:10）

白井一光 青年技術士交流委員会委員（化学）

昨年 11 月の技術士全国大会・横浜でのテクノツーリズム後の懇親会余興で行われた、人間ポーカーのルールをアイスブレイク・ゲームに改良し、人間ポーカーR として実施した。各グループメンバーの共通属性を見つけ出し、ポーカーの役を作るゲームとし、役の大きさよりもインパクトが大きいチームが勝ちという立て付けとした。

発表された人間ポーカーの役に大きなインパクトは無かったが、各グループで活発な会話が行われ、十分にグループワーク前のアイスブレイクとして機能していた。

2-7 グループワーク 討論（15:10～16:10）

課題は以下のとおりとした：技術営業と非技術営業の違いを踏まえ、技術者に求められる営業スキルとは？ 上述スキルを得るために、技術現場で働くうちに研鑽しておくべきことは？

発表形式は以下の通りとした：討論結果・アクションプランについて講演、実際の営業現場での活用例を寸劇（技術営業と客で 2 名以上）、講演と寸劇で 8 分（時間の割り振りは自由）、質疑応答 2 分。

各グループ 5 名、合計 4 グループの構成となった。各グループには、模造紙 2 枚（討論用と講演用を想定）、粘着メモテープ、油性マジックを配布した。各グループともに熱い議論が交わされており、10 分間程度討論時間を延長した。（添付資料、写真 3）

2-8 グループワーク 発表（16:10～16:50）

全 4 グループとも、模造紙を用いた講演プレゼンテーションの後、寸劇プレゼンテーションを行い、その後に質疑応答を行った。講演の内容からは具体的な実像・実行動が明らかでなかった点も、寸劇により明確化された点が多かった。講演内容を大幅に超越した寸劇内容や、一見講演内容との関連性が理解困難な可能性もある寸劇もあり、非常にバラエティに富んだプレゼンテーション手段であると認識した。

技術営業として涵養すべきスキル、および非技術営業と比して求められる重要能力については、顧客の声・需要を正確に聞き取る傾聴力・質問力・コミュニケーション力、技術的に実現が可能であるか判断する能力、諸要件を踏まえて的確な提案力などであることについては、各グループで概ね共通しているという印象を持った。また、質疑応答も活発に行われた。（添付資料、写真 4、5）

2-9 ワークショップ講評（16:50～16:53）

明山公也 青年技術士交流実行委員会委員補佐（機械）

本ワークショップで取り扱った「技術営業」という、技術士として一見直接関係のなさそうなトピックスについての自身の所感および本ワークショップを通じて得られた点についての講評を行った。顧客とのコミュニケーションを通じてビジネス駆動に必要な情報を取り込む力と、自身および組織の技術力を活かして提案する力こそが、技術営業力の源泉である旨を伝えた。

2-10 クロージング（16:53～17:00）

講評からそのまま引き続いて明山委員補佐から3月例会、そして萩尾委員から4月例会の紹介と参加への呼びかけを行った。その後ワークショップの閉会を宣言し、アンケートの記入を依頼した。最後に、参加者およびワークショップ運営・登壇スタッフで、記念撮影を行った（添付資料、写真6）。

2-11 交流会（17:30～）

串特急神谷町店で交流会を行った。参加者から9名、青年メンバーから9名の合計18名が参加し、ワークショップでは時間が足りなかった議題・論点などについて徹底的に議論を行い、盛会となった。

3. 成果と所感

本ワークショップは以下の点を特徴とし、それぞれに述べる成果を得た。

- A. 技術営業という直接的に技術とは結びつかない、ビジネステーマをワークショップとして取り扱った。
企画当初は、このテーマで参加者を集められるか疑問を呈されることもあったが、申込者22名、当日参加者20名と大規模なワークショップとなり、活発な議論・質疑応答、そして大きな笑い・笑顔も見られるまさに盛会となった。参加者アンケートの結果も、概ね好評という良い評価であった。各個専門技術や青年委員会で頻りに扱われるリーダーシップ力・論理力・英語力といった能力涵養のイベントだけではなく、技術士・修習技術者も今回取り扱ったビジネスに属するテーマに大きな興味を持ち、これらの能力を開発したいという欲求および一定の需要あることが分かった。
- B. 寸劇という、新しいグループワークのプレゼンテーション手段を採用した。
模造紙などを用いた講演型のグループワーク討論結果プレゼンテーションでは、机上の空論的・上滑りな議論や結論が散見されることがあった。今回のテーマは、多くの技術者が未経験と思われる技術営業であったため、空論的内容のプレゼンテーションでは話し手・聞き手双方にとって有益ではないと感じ、実演型の寸劇プレゼンテーションを採用した。結果は、良い意味でも悪い意味でも、笑いを誘うという意味で大いに盛り上がった。討論内容を寸劇で極めて明確化するというプラスの面があった反面、逆に不明確ないし意味不明になってしまっているようにも感じられる事例や、単なるウケ狙いなのではないかと勤めりたくなるようなケースもあった可能性がある。
- C. 新しいアイスブレイク・ゲームの模索：懇親会余興であった人間ポーカーを再生・再利用した。
グループワーク前の議論の円滑化を目的としたアイスブレイク・ゲームはマンネリ化していると、報告者は常日頃より感じていた。その中、昨年11月に行われた全国大会懇親会余興の人間ポーカーは、当日の余興としては成功したとは言い難かったが、イベントでのアイスブレイクとしては好適と感じ、改良しての今回の採用に至り、結果としてはグループワークの事前潤滑・プライミングとして一定の成功を収めた。
- D. 若手や新任メンバーに、青年委員会紹介や講評のプレゼンテーションを行っていただいた。
鈴木さんの青年紹介、明山さんの講評ともに素晴らしいものであった。青年紹介は役員メンバー、講評は委員長が行うという時期があったが、ある程度の年数青年委員会に所属している所謂ベテランは、「青年とは、こういうモノ」という固定概念が少なからずあるように思う。ベテランメンバーの固定しかけた青年の概念を打破する、参加者にいつも同じような内容のプレゼンをしないという意味でも、若手や新任メンバーにプレゼンをお願いすることも、大きな意味があると考えた。
- E. 講演者を含めて、全て青年委員会のリソースでワークショップを完遂したこと。
青年委員会メンバーは言うまでもなく、専門能力、経験、キャラクターともに多様性に溢れており、適したテーマを決めれば、内部リソースだけでも一定レベルのイベントを行うことは可能であり、このことは本ワークショップで実証できたと考えている。

4. 今後の展開

今後のイベント企画に取り込み、活かし、発展させていただきたい点は、以下の通りである。

- A. 技術営業などビジネステーマの設定

(技術)マーケティングや統計学など、技術士の研鑽として相応しいテーマは、まだ沢山有るはずと思われる。是非とも継続的にイベントへの採用検討をお願いしたい。

B. グループワークの寸劇プレゼンテーション

今回は試験的な意味合いが大きく、寸劇プレゼンテーションについて細かな要件を要求せず、各グループに自由に寸劇枠を使用していただいた。ある意味において本当に自由に使って頂き、上述の結果となった。寸劇発表表について一定のガイド的なものを設定することにより、ある程度の寸劇発表着地点を運営側で決めることも可能ではある。もしこのガイド的なものを設定する場合には、事前に寸劇プレゼンテーション実演(自己紹介実演に準じる)のようなものが必要となるかもしれない。今後も、この寸劇というプレゼンテーション方法を適切なイベントで是非とも採用いただき、運用について改良を行っていただけると寸劇発案者である報告者は非常に嬉しい。

C. 模造紙を使ったプレゼンテーションの今後

模造紙を用いたプレゼンテーションは、聴衆からするとその可読性が低くストレスフルである問題は以前から指摘されていた。さらに、イベント直後の模造紙の(廃棄)処理の問題も生じている。その解決策として、2015年3月の合格者交流会ではパワーポイントを用いたプレゼンテーションを模索したが、運用上多くの問題点が生じ、残念ながら以降については継続されていない。提案としては、スマホで画像として取り込み可能な「枠」が付与されたノートやメモ帳を使用する方法を是非とも検討いただきたい。これらのスマホカメラガイド付きのノート類を使用すれば、その対応アプリを入れさえすれば、ノート類に書かれたプレゼン内容を画像として直ぐにデジタル化することが出来、プロジェクターを用いて大きな文字でプレゼンテーションを行うことができる。またイベント後のデータのシェアも容易である。今回のワークショップ後に、各グループがスマートフォンで模造紙を撮影している姿を多く見かけたことからの一提案である。

以上、文責 小野寺

【添付資料：1月例会の開催状況】



写真1 磯部委員の講演



写真2 パネル討論



写真3 グループワーク討論



写真4 グループワーク発表、講演パート



写真5 グループワーク発表、寸劇パート



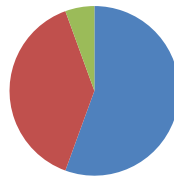
写真6 参加者との記念撮影

以上

●今回のイベントについて

Q1-1. 講演者の話し方や進め方は、いかがでしたか。

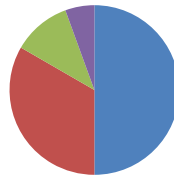
満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	10	55.6
(b) ほぼ満足	7	38.9
(c) 普通	1	5.6
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	18	100.0



- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q1-2. 講演者の用意した資料(配布資料、プレゼン資料)の内容は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	9	50.0
(b) ほぼ満足	6	33.3
(c) 普通	2	11.1
(d) やや不満	1	5.6
(e) 不満	0	0.0
合計	18	100.0



- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

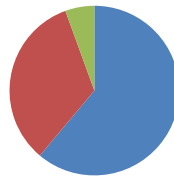
Q1-3. 講演者にお伝えしたいこと(コメントなど)がありましたら、お書きください。

- ・大変勉強になりました。ご講義ありがとうございました。
- ・体験を聞いてよかった。
- ・今後もつづけて色々な意見を集めて欲しい。
- ・できればPPTのコピーを欲しい。面白いことをいていたので...(Q1-2でやや不満の理由)

●スタッフについて

Q2-1. スタッフの対応はいかがでしたか

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	11	61.1
(b) ほぼ満足	6	33.3
(c) 普通	1	5.6
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	18	100.0



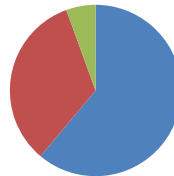
- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q2-2. スタッフに伝えたいこと(コメントなど)ありましたら、お書きください。

- ・楽しく参加することができました。ご準備や進行の工夫など、ありがとうございました。
- ・人間ポーカーから参加者に入る流れ、楽しくできました。
- ・皆さんで進められており、よかったと思います。
- ・慣れないテーマに準備ありがとうございました。
- ・時間が...。寸劇は大変でしたが、面白かったです。

Q3. 今回のイベントは、全体としていかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	11	61.1
(b) ほぼ満足	6	33.3
(c) 普通	1	5.6
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	18	100.0



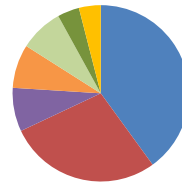
- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

●2017年1月例会 外部アンケート（表面）

●今回の例会に参加するまでの経緯について

Q4-1. 今回の例会をどのように知りましたか。（複数回答あり）

きっかけ	人数	割合 (%)
(a) 日本技術士会の同報メール	10	40.0
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	7	28.0
(b2) その他のHP	0	0.0
(c) 青年委員会のブログ	2	8.0
(d) 月刊PEの行事予定	0	0.0
(e) 以前に参加した青年委員会の例会	2	8.0
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	2	8.0
(f2) その他の人からの紹介	1	4.0
(g) その他	1	4.0
合計	25	100.0

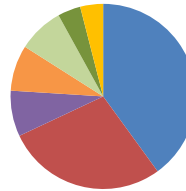


- (a) 日本技術士会の同報メール
- (b1) 技術士会/青年委員会のHP
- (b2) その他のHP
- (c) 青年委員会のブログ
- (d) 月刊PEの行事予定
- (e) 以前に参加した青年委員会の例会
- (f1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- (f2) その他の人からの紹介
- (g) その他

・(g) その他: 無料だったから

Q4-2. Q4-1のご回答の中で、特に参加のきっかけとなったものはどれですか。

きっかけ	人数	割合 (%)
(a) 日本技術士会の同報メール	7	41.2
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	5	29.4
(b2) その他のHP	0	0.0
(c) 青年委員会のブログ	2	11.8
(d) 月刊PEの行事予定	0	0.0
(e) 以前に参加した青年委員会の例会	1	5.9
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	1	5.9
(f2) その他の人からの紹介	0	0.0
(g) その他	1	5.9
合計	17	100.0

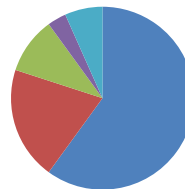


- (a) 日本技術士会の同報メール
- (b1) 技術士会/青年委員会のHP
- (b2) その他のHP
- (c) 青年委員会のブログ
- (d) 月刊PEの行事予定
- (e) 以前に参加した青年委員会の例会
- (f1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- (f2) その他の人からの紹介
- (g) その他

・(g) その他: 無料だったから

Q5. 今回のイベントに参加した目的は何ですか（複数回答あり）

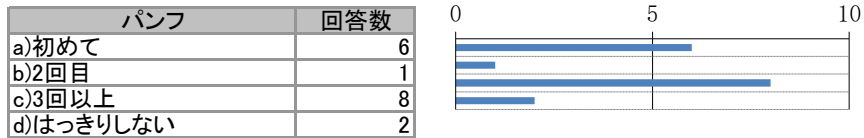
きっかけ	人数	割合 (%)
(a) テーマや内容に興味等	18	60.0
(b) 参加者への興味(人脈の拡大)	6	20.0
(c) 青年委員会への興味	3	10.0
(d) CPDのポイント取得	1	3.3
(e) 上記以外	2	6.7
合計	30	100.0



- (a) テーマや内容に興味等
- (b) 参加者への興味（人脈の拡大）
- (c) 青年委員会への興味
- (d) CPDのポイント取得
- (e) 上記以外

●2017年1月例会 外部アンケート（裏面）

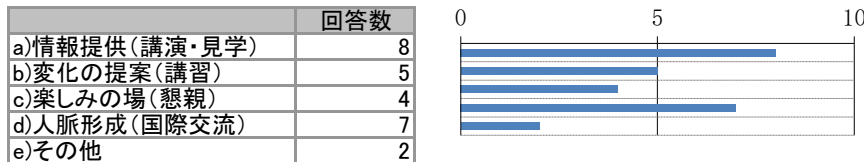
Q6. 青年委員会の例会に参加するのは、今回で何回目ですか。



Q6-1. 2回目以上の方にお伺いします。過去の例会で印象深かったテーマや面白かったテーマは。

- ・英会話、本日のワークショップ、講演会
- ・ディベート(聞くこと、話すことのむずかしさ)
- ・英語でプレゼン力を高める(H27.5実施)
- ・英語コミュニケーション力のイベント

Q7-1. 青年委員会の活動として開催して欲しいイベントについて、ご希望の内容(複数回答可)



具体例

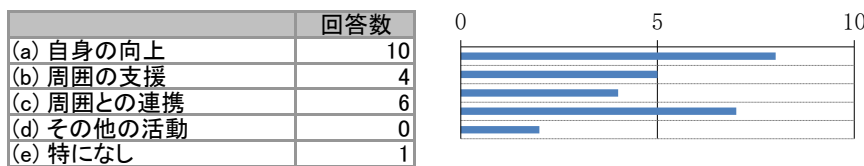
- (a) 今回のような普段なかなか聞けないテーマでの講習会がよい
- (a) 講演会
- (a) 見学会 (2票)
- (b) マーケティング
- (c) 懇親会
- (d) 地方交流会
- (d) 国際交流は青年中心でやってほしい。
- (e) 今回のようなワークショップ。実践的に取り組めるようなもの。

Q7-2. また、内容以外でご希望ございましたらお書きください。

回答なし

●技術士または技術者としての活動について

Q8. 技術士または技術者としての本業に加えて、どのような活動をなさっていますか。(複数回答可)

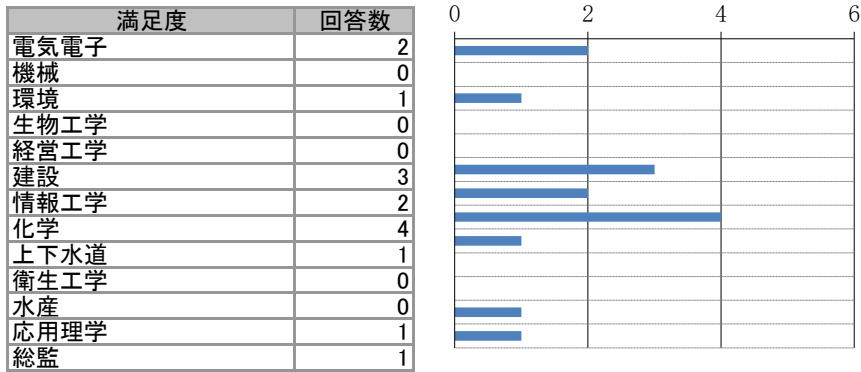


- (a) 資格取得(4票)
- (a) 優良技術者候補
- (b) 環境調査、ボランティア活動など
- (b) 地域活性化の研究
- (b) 国際交流活動
- (c) 理科教室
- (c) 交流会

●2017年1月例会 外部アンケート（裏面）

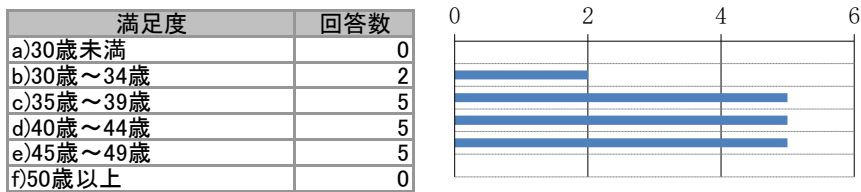
●あなた自身について

Q9-1. 技術部門。（複数回答可）



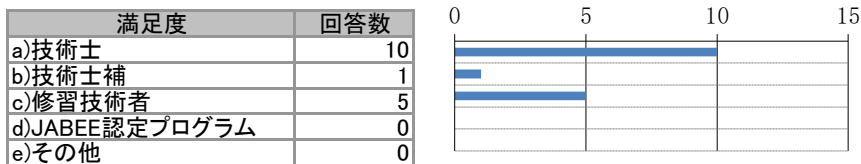
- ・該当なし 1名。
- ・回答なし 2名。

Q9-2. 年齢層をお選び下さい。



- ・回答なし 1名。

Q9-3. 会員層（技術士制度での位置付け）について、該当する項目をお選び下さい。



- ・回答なし 2名。

以上

2017年1月例会内部アンケートまとめ(回答順)

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術士会としては異色な切り口のテーマであったのに、多数の参加者を募ることが出来た。当日参加者数 20 名。 ● 参加者のモチベーションが異様に高く、質疑応答を募るたびに挙手が上がり、熱かった。 ● 青年側スピーカーと参加者の個性がおかしな融合反応を起こし、終始笑いの絶えないイベントになってしまった。 ● 白井さんの人間ポーカーを成仏させる事ができたこと。 ● グループワーク成果産物をスマホ写真に収める光景が各班で見られ、参加者の議論内容に対する興味の高さが伺えた。 ● 寸劇という新しいグループワークアウトプット形態が、一か八かではあったがとりあえず初回としてはワークしてくれた。(内容はともかく、なところはあったが?) 純粹に面白かった。 ● 12 月イベントの成果物を早速使った鈴木さんの青年紹介、若手の明山さんの素晴らしい講評。 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント幹事団が異様に業務が忙しかったということもあり、明らかに準備が不十分で、他のイベント幹事チームに対して申し訳無さ過ぎました。コンセプトと進行スライドがきっちり出来ていると、何となくイベントが恙無く出来てしまうことを知っているベテラン委員の悪知恵を発揮してしまった。幹事団と磯部さんの当日現場力・アドリブ力の異様な高さに助けられたのみです。 ● グループワークの寸劇発表は、今回は初回ということもあり、今後のブラッシュアップを多分に必要とする内容だった。議論内容・アクションプランを反映した寸劇の班もあったが、意味不明な班(ただし、面白い)もあり、事前の何らかのガイドが必要だったかもしれない。 ● 懇親会に申し込んでおいて、串特急に来なかった参加者が 1 名いた。懇親会費の事前徴収 or 時中徴収の議論は本当に難しいと感じた。そんなこともあり、串特急集合から乾杯まで少し時間がかかってしまったこと。 ● 準備不足により、話す内容>>スライドの内容、になってしまい小野寺の講演時間が長くなってしまいました。申し訳ございません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業のような技術士会研鑽活動で取り扱わないビジネス能力開発シリーズをシリーズ化してくれたら、参加者として今後も青年に戻ってくるかも。赤木さんと横田さんが興味を示しているので、楽しみにしています。 ● 寸劇アウトプットも、またどこかで改良して採用してくれたら嬉しいです。
太田望	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 人を超える参加者 ● 青年層のニーズを捉え 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各班の成果物(模造紙に整理したもの)を閲覧で 	<ul style="list-style-type: none"> ● お疲れさまでした！！

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
	<p>たテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 白井さんの改良された人間ポーカー ● 各班の熱い議論 ● 寸劇！ 	<p>きる時間なり、画像データのメール配信などできると良いと思います。</p>	
白井	<ul style="list-style-type: none"> ● 「技術者の営業力を考える」というテーマ設定 青年スタッフパネリストのバックグラウンドが聞けた ● 青年スタッフパネリストの考える営業力について聞けた ● 寸劇アウトプット ● 小野寺さんによって蘇った人間ポーカー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間ポーカーは、何月生まれ？などお題を指定してしまうと参加者はオモシロクナイことがよくわかった。 ● なんでもいいからグループの共通点を探して他グループに存在感をアピールしてください！という今回の形式はアイスブレイクとして使いやすいですね。小道具もいらないし。 ● 相談5分、各グループ発表1分ずつ程度で、実績10分でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小野寺さん、みなさんおつかれさまでした！アイスブレイクからスルッと参加者に入る展開、楽しませていただきました。
田中	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体のスライド資料がひとつにまとまっていたこと。各プレゼンにてプレゼンターの名前が表示されていたのも良かったですと思います。 ● 鈴木さんの青年紹介。青年の楽しそうな写真を使っており、私にはできないとても親しみやすいプレゼンでした。 ● 明山さんの講評。とても講評らしい講評でした。若手が講評するというチャレンジングな試み。45歳以下限定イベントの雰囲気にもマッチしていました。 ● 人間ポーカーが成仏できた。 ● 寸劇サイコー。全体的にチャレンジングで素晴らしかったです。 ● 早くお越しいただいた参加者への声掛けもできていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小野寺さん、磯部さん、高橋さんのベテランの格を見せつけられました。さすがです。とても勉強になりました。
萩尾	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれのプレゼンに 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> ● 明山さんの講評は堂々

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
	<p>個性があり、引き付けられた。特に、磯部さんの鶏の話の下りは思わず笑ってしまいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 寸劇は新しい試みだったと思います。寸劇のインパクトが強すぎて、思わず内容を聞くのを忘れてしまいました。3つも寸劇をやるチームがあるのは驚きでした。 ● 白井さんのアイスブレイクはさすがです。みんなすっかり打ち解けていました 		<p>としていて、素晴らしかった</p>
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術系以外のテーマも興味を持たれていることが分かった。 ● 寸劇に対して予想以上の本気モードで取り組んでもらえた。指定していないにも関わらず、おのずと全員参加になっていた。 ● 明山さんの講評はよかった。これからは役職にこだわらず、みんなでまわしていきましょう。 ● スケジュールがうまく、各所で時間が延びてもうまくおさまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パーティション閉めることを早く気付くべきでした。 ● 交流会では会計を設け、早めに会場へ行き、集金しておくべきでした。小野寺さんに集中してしまいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹事のみなさまおつかれさまでした。新しい試みが全てうまくいきました。 ● 技術系以外のテーマ継続したいです。マーケティングなど。個人的にも勉強したいため。 ● 白井さんのアイスブレイクも継続したいです。
磯部	<ul style="list-style-type: none"> ● 終始盛り上がっていたこと。参加者が退屈している様子は少しも感じられなかった。 ● 全てのスライドが一つにまとめられていたこと。その都度スライドを立ち上げるよりずっとスマート。 ● 人間ポーカー。否が応でもグループ内メンバーが会話するようにできている。 ● 寸劇を課題に取り入れた事。模造紙の発表だけとは比べ物にならない 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントスペースと控室(?)の使い分けが少しルーズだったように思う(自分も含め)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小野寺イベントリーダーの圧倒的な存在感！凄かったです。準備担当スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
	楽しさと充実感		
高橋	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業のニーズが高かったこと。 ● 小野寺さん、磯部さんの飽きさせない公演。 ● パネルディスカッションでの小野寺さんのハンドリング。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間ポーカー、小芝居を見たかったです。
伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業という切り口。私には、まさに「技術者の営業力について考える」きっかけになりました。 ● 青年メンバー3名の講演。 スライドはもちろん、話術も良かったです。私にはこんな「引き出し」はないと思いました。 ● 人間ポーカーの着地。改善の余地はありますが、素晴らしいアイスブレイクだと思います。寸劇というアウトプット手法。 1人劇(落語か?)もありましたねw ● 我々が3月例会担当リーダー明山さんの講評。ちゃんとできるのか、お母さん(私)は後でそわそわしてましたが素晴らしかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 付箋と模造紙の成仏方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ● お昼ごはんはもちろん注意していましたが、受付開始の(←イベント開始の、ではなく)30分以上も早く来られてしまうのでは、別室を用意するなどしないとうしようもないです...
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業という切り口。どうしても技術者は「営業」というと、敬遠してしまいがちなのですが、その重要性、必要性を問うたところ。 ● アイスブレイクを入れること、また、寸劇を取り入れることで、グループ内で必ずコミュニケーション、会話をするように仕組まれていたこと。 ● 明山さんの講評。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小野寺さん、高橋さん、磯部さんのプレゼン力、そして、小野寺さんのハンドリング、さすがでした。 ● 参加された方々が、イベント終了後にグループワークで使用した模造紙を写真撮影していたことが印象深かったです。

回答者名	良かった点	改善したい点	その他
明山	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業がどれだけ大事なのか、グループ討議や寸劇を通して、参加者全員に体感いただけたこと。 ● 寸劇という新しい手法で、参加者同士が楽しく、問題解決とコミュニケーションができる場が提供できていたこと。 ● 小野寺さん、高橋さん、磯部さんのプレゼン力！ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 講評は初めてだったので緊張しました。慣れですね。 ● 最後の片付けで、グループワークで作成した模造紙を破棄するところを参加者に見られないよう工夫が必要かもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寸劇のあと、まだ講演等の予定？があったようですが、時間の都合上、省略して無事に終われたこと。
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ● 青年委員のプレゼン(営業と技術に比重異なった3人だったのが良かった) ● 寸劇が楽しかった ● 青年委員会の説明写真が楽しそうだった ● 明山さんの講評 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受付時間を大幅に早く上回ってくる方の対応(パーティーションを閉めるタイミング) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内での調整もある意味営業だと思うので、とても勉強になりました！ありがとうございました。
中村	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業というテーマが良かった。 (技術屋という視点からの営業は、私の会社でも注目しているので、私的にホットなテーマであった) ● 寸劇という、新しいアウトプットの形態を得た。 ● 人間ポーカーのアイスブレイクから寸劇アウトプットまで、「交流」「コミュニケーション」が活発なイベントだったと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寸劇発表がインパクトありすぎて、模造紙の内容がほとんど覚えていない。(あれは、最終的にどこに行きました?) ● 交流会の予約はコースではなくて、席だけでも良かった？ ドタキャン、ドタサンなど、直前まで人数把握と調整が大変そうだった。 (申特急なので、多少の融通できないでしょうかね) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹事のみなさま、お疲れ様でした。 100%委員会内のリソースで、完成度の高いイベントとなったと思います。 このようなスタイルを、今後も続けていければいいなと思いました。
横田	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術営業という新しい試みが新鮮で参加者も集まり意欲を感じた。 ● 寸劇も最高でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間ポーカーの役がにはオチまでつけてほしいところ。 ● 時間の関係で総括のパネルディスカッションを飛ばしたのが残念です。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流会で当日参加のドタキャンが発生したため、料金を現地で徴収するのは控えたいとおもいます。(徴収する場合は料理がでてくるのが多少遅くなるでしょうけど席だけの確保も検討したいとおもいます。)

行事名	技術部門別展示・説明会
日時	2017年2月4日(土) 10:30-12:00
場所	日本教育会館 9階 喜山倶楽部 平安の間
参加者	田中、鈴木、山本、北元、川崎、白井、中川、中村、瀧川、田角、赤木、太田(道)、諸田、横田、小野寺、伊藤、小塚、明山、高橋、竹入
担当者: (○印:リーダー)	山本、○瀧川(記)
参加者数	300名

1. 背景・目的

技術士第一次試験合格者・JABEE 認定課程修了の修習技術者に向けて、日本技術士会の各部会・委員会活動の紹介を行い、研鑽・交流の場への参加を促す。

その中でも青年技術士交流委員会は以下を目的として実施した。

- ・青年技術士交流実行委員活動内容紹介
- ・青年技術士交流実行委員主催 3月・4月例会の案内
 - ※3月例会(一次試験合格者・JABEE 認定課程修了の修習技術者が対象)
 - ※4月特別例会(一次・二次試験合格者交流会)

2. 内容

2-1. ポスター展示およびビラ配布

ポスターおよび写真を展示し、各委員・委員補佐による青年技術士交流委員会の活動および今後のイベントの紹介を行った。

2-2. 委員長によるプレゼン

青年技術士交流委員会の目的および具体的な活動について、委員長よりプレゼンを実施した。

3. 成果と所感

3-1. ポスター展示およびビラ配布

例年とは異なり、ポスターの他にたくさんの写真を展示することで、より具体的なイメージを参加者に持たせることができた。展示場所も昨年同様立地条件がよく、活動内容を効率的にアピールすることができた。

3-2. 委員長によるプレゼン

たくさんの参加者がブースの前に集まり、委員長のプレゼンに話に耳を傾けていた。その後の委員・委員補佐の委員会紹介活動も活発に行うことができた。

4. 今後の展開

青年技術士交流実行委員活動に興味をもっていただいた方を中心に3月例会・4月特別例会の案内や今後の青年委員例会告知を行い、会員拡大を目指す。

また、次回ポスターや写真の展示、ビラ配布以外にも効率的にアピールできる媒体があれば採用を検討する。

【添付資料：パネルディスカッションの開催状況】



以 上

行事名	「技術士を目指そう、修習ガイダンス 2017」 パネル討論
日時	2017年2月4日(土) 14:30-15:55
場所	日本教育会館 3階大ホール
講師、発表者	コーディネーター: 中川暢子*(金属、総合技術監理) 技術士パネリスト: 諸田敦洋*(情報工学)、北元芳明(電気電子)*、石丸顕二(情報工学) 修習技術者パネリスト: 小塚俊吾*(機械)、露木完吾(電気電子) PC操作: 横田敬久*(情報工学) *は、青年委員/補佐
担当者: (○印:リーダー)	○中川(記)、諸田、北元、小塚、赤木
参加者数	約300名

1. 背景・目的

修習技術者に向けて第二次試験受験および日本技術士会参加への動機づけが修習ガイダンスの目的である。その中でも青年委員会が主催するパネル討論は以下を目的とする。

- ・ パネリストの実体験を共有
- ・ 技術士試験突破への意欲増進
- ・ 技術士としての将来像の認識

2. パネル討論内容

パネル討論は以下の構成で実施した。

No.	時間(分)	内容	説明
1	5	オープニング	・ コーディネータ挨拶 ・ パネリスト紹介 ・ パネル討論の目的と流れ
2	18 (6×3)	技術士パネリスト講演	・ 受験動機 ・ 第二次試験突破の工夫 ・ 技術士とは
3	10	パネル討論 1 技術士までの道のり	・ 受験動機 ・ 試験へのモチベーション維持
4	12 (6×2)	修習技術者パネリスト講演	・ 第二次試験への取り組み ・ 悩み、不安
5	10	パネル討論 2 第二次試験に向けて	・ 第二次試験への取り組み ・ 勉強方法
6	10	パネル討論 3 日本技術士会の活用	・ メリット ・ 具体的な活用方法
7	10	パネル討論 4 技術士として生きる道	・ 技術士の在り方 ・ キャリアプラン
8	10	質疑応答	
9	5	クロージング	・ 修習技術者の決意表明 ・ 技術の激励 締めの挨拶

3. 成果と所感

3-1. 成果

- ・ 昨年までの討論テーマ「技術士になってからの変化」を省略し、全4テーマとした。
- ・ 初の試みとして「パネリスト間討論」を実施した。
- ・ 外部パネリストとして石丸顕二氏(独立技術士)、露木完吾氏(JABEE 課程修了)を迎えた。
- ・ 個性の違うパネリストにより、より多くの勉強方法、キャリアプランなどを示すことができた。
- ・ パネル討論後の祝賀会にてパネリストが引き続き質問を受けられるよう企画したため、参加者の満足度も高かったと推察される。

3-2. 所感

- ・ 概略のシナリオを作成し、パネリストと共有した。質問事項もある程度決めていたため、討論全体をスムーズに進めることができた。
- ・ アドリブを加えたり、冗長と判断した質問を省略し、自然な流れになるよう考慮した。
- ・ 1 回の事前打合せでおおまかな流れの確認のみで当日に臨んだが、各パネリストが完成度の高い回答を各自用意していたことで、充実した内容となった。

4. 今後の展開

- ・ パネリスト間討論(「パネリストが質問→パネリストが回答」または「コーディネータが質問→パネリストが答え、他のパネリストに話を振り会話」の2形態)により、修習技術者⇄技術士間の意見交換がよりリアルとなり、かつ会場を飽きさせない場が作れたと実感している。種類を増やしながらかこの形態は継続していきたい。

以上

【添付資料:パネル討論の開催状況】



写真1 会場全体



写真2 パネリスト+コーディネータ

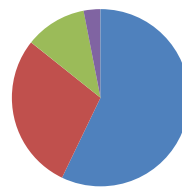


写真3 討論中

●今回の合格祝賀会について

Q1-1. 全体としていかがでしたか。

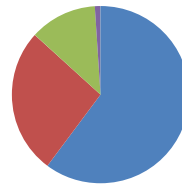
満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	56	57.1
(b) ほぼ満足	28	28.6
(c) 普通	11	11.2
(d) やや不満	3	3.1
(e) 不満	0	0.0
合計	98	100.0



- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q1-2. スタッフの対応(会場の準備、当日の進行など)は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	59	60.2
(b) ほぼ満足	26	26.5
(c) 普通	12	12.2
(d) やや不満	1	1.0
(e) 不満	0	0.0
合計	98	100.0



- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q1-3. スタッフに伝えたいこと

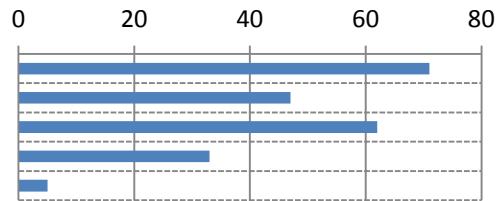
※赤字: ネガティブな意見

- ・祝賀会の雰囲気事前に知りたかった。
- ・皆様が心から温かく接していただき感謝しています。
- ・実際の体験を親身にお話いただき感謝しております。
- ・部門別、地域別でとても有意義な交流ができました。
- ・途中でお茶が出てこなかったのが残念
- ・ご対応ありがとうございました。(6件)
- ・様々な部門の方々と交流でき、とてもよかったです。
- ・またこういった機会があると嬉しい。
- ・有料の受験対策の宣伝はどうかと思う。
- ・このような場を設けていただきありがとうございました。
- ・準備、運営ありがとうございました。
- ・会の開催に感謝します。
- ・修習委員会の農業部門など、とても丁寧に説明をしていただき、ありがとうございました。
- ・二次合格まで頑張ったという励ましがとても感じられ、なかなかユニークなコミュニティだと思いました。倫理綱領があるからでしょうか。いいなと思いました。
- ・楽しかったです。
- ・合格者の会費が高すぎる(2千円以下)
- ・ためになる話が聞けました。
- ・熱意を感じエネルギーをいただきました。
- ・技術士会ホスト同士でしゃべり続けるのはいかがなものか。

●祝賀会参加について

Q2-1. 合格祝賀会に参加した目的は何ですか。

媒体	回答数
(a) 技術士第二次試験の情報収集	71
(b) 一次合格者(修習技術者)との交流	47
(c) 技術士との交流	62
(d) 各部会や各委員会との交流	33
(e) その他	5



- ・「技術士とは」よりイメージしやすくするため。
- ・受験へのモチベーションアップ
- ・技術士とはどういうものかを具体的に知るため。
- ・夕飯

Q2-2. 最後に、何かご意見などございましたら、お書きください。

- ・これからもぜひ続けていただきたくお願いいたします。
- ・とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・非常に有意義なコミュニケーションの場でした。
- ・今回の祝賀会の企画ありがとうございました。
- ・技術士会の会員を前向きに考えるようになりました。
- ・若手が交流できるのがうれしい。
- ・中部で技術士の方がいらっしやらなかったような・・・。
- ・色々アドバイスをいただき、大変助かりました。有意義なものだったと感じます。
- ・ぜひ、来年もやってください。
- ・合格祝賀会の名称を変えてほしい。直近で合格した人のみを対象としている様に感じ、参加しにくい。
- ・今後もこのような会に来たいと思います。
- ・他業種の方と交流をもてよかったです。
- ・とても楽しく、ためになりました。
- ・初めて参加させていただき、専門分野、大学など大変貴重なお話を聞くことができ、ありがとうございました。地方(福井)からのため、当ガイダンスの出席は少しためらったのですが、参加して遠くからでも出席する価値が十分ありました。
- ・有意義な時間となりました。
- ・今後ともよろしく願います。
- ・ありがとうございました。
- ・大原さんにお会いできてよかったです。
- ・H30以降の試験改訂の情報するなど、とても参考になりました。ありがとうございます。
- ・祝賀会とガイダンスの会費を分けてほしい。
- ・技術士の方がもう少し分かりやすければ話しやすそうです。ありがとうございました。
- ・大学生で来ている方が少なく、あまり話を共有できなかった。(2件)

2017年2月修習ガイダンス内部アンケートまとめ（回答順）

①ポスター（1）

回答者	良かった点	改善したい点	その他
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年活動を写真展示したこと、活動の雰囲気によりリアルに伝わったと思います ・ 青年のプレゼン時間に多くの参加者が青年のブースに集まったこと ・ プレゼン時間中に今後のイベントの説明をしたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません 	
川崎	<ul style="list-style-type: none"> ・ -ポスター・写真と注目を集めやすく、参加者を集めやすかったこと。 ・ 5人くらい説明をさせて頂いたが、皆さん興味を持っていただけだった様子だったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 45歳以下の表示で、興味を失われてしまう方もいたこと ・ プレゼンの時に、マイクがあっても良かった気がします。 ・ プレゼンのとき、修習？の方もかぶっていたのか、そちらも人が集まっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山本さん、印刷物多量にお疲れ様でした。
太田（道）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真も貼られ、他ブースと比べてにぎやかでした。 ・ プレゼン時間に、意外に人が集まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二次会の誘い方がわからず（決まっておらず！）、声をかける人が困惑した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田中さんがしゃべると皆聞き入る。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田中さんのプレゼンに参加者が聞き入っていた様子が印象的。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 萩尾さんが4月イベントの案内を準備してくれたが、見ただけでは内容がわからないポスターだった。もう少し作り込んでおきたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川さん、二次会チラシのコピーを対応いただきありがとうございました。 ・ 化学部会といたりきたりでしたが、化学は例年より参加者が多かったです！
伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真がいっぱいだったこと。笑顔が多くて、印象が良かったと思いました。 ・ 山本さんをはじめ、ご準備ありがとうございました。 ・ 昨年は「(修習技術者に対する)青年メンバーからの説明・紹介文句に統一感がなかった」という反省がありましたが、「何を言うか」について、今年は事前におおよそのレベル感を合わせられていたように思いました。 ・ プレゼンタイムがあったこと。 ・ プレゼン時間に合わせて、青年ブースに戻ってこられる参加者がおられました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 去年は部会中心でお手伝いしましたが、今年は青年を中心にしました。 ・ 個人的には、結構な人数の方に声掛けができたと思っています。 ・ 田中さんのプレゼンを参加者に混じって聞いてました。 ・ ポイントを押さえていること。理解しやすさ。が、さすがと思いました。 ・ あれがある程度アドリブで話してたのならすごいなー。（あんまりホメると調子に乗るのでこの程度にしときます。）
中川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく質が高いポスターや写真で好印象だったと思います。 ・ 入口から近づきやすい位置で場所もよかったですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備された皆さま、お疲れさまでした！

①ポスター (2)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごちゃごちゃしておらず、伝えたいことが明確で素晴らしかった。 ・ サービス版サイズでの写真掲示が良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々センスが良くなっています。そのうち動画上映とかになりそうです。
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・ みなさん積極的に声かけができていました。すばらしい！！ ・ 2次会の準備ができていたので告知ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次会の集合場所など告知方法を周知すべきでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスターじゃなくてもいいんですよ、きっと。もっと効果的なものがあれば。
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改めてプレゼン時間があり、注目を集めることができたこと ・ 写真を展示すると、参加された方は雰囲気を感じていただけたのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ このイベントが技術士会イベントの初参加という方がほとんどのようでここでポジティブにとらえていただくことが大切だと思います。 ・ 田中さんのプレゼン、青年の特徴をとらえていてさすがでした。
北元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は掲示板の裏面も有効に利用できていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年はパネリストなので途中で抜けましたが、もっとCAFEOをアピールしたかった。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーの写真を多く掲示したことで、活動の様子がいきいきと伝わったと思う。 ・ 説明のポイント (3月イベント, 4月イベント, 二次会) を事前に共有したこと。説明内容の足並みを揃えることで青年としての訴求力が高められたのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ※全体的に良かったと思いますが、「強いて言えば」のスタンスで申し上げます。 ・ 3月および4月イベントのPRポスターを更に作り込んでおくと思う。 修習ガイダンスでブース設ける目的の1つは勧誘なので、直近のイベントにしっかりと呼び込む戦略が欠かせないと思う。 聞き手側に始めの一步を確実に踏み出していただけるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年よりも説明に聞き入ってくださる方が多かったように感じました。施策の効果が現れているのだと思います。 ・ 私はタブレットで青年ブログを見せながら活動の説明を行ったところ、具体的な活動内容を説明でき、よく話を聞いていただけたように感じました。 (言葉だけで説明しきれないことに、技術士に必要なプレゼン力の足りなさを感じつつ、しかし一方で、文明の利器を駆使しない手は無いかかな…と思っています。) ・ 大好評の田中委員長のプレゼンをお聞きしたかったです。
諸田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年同様、場所が出入り口の前にあったことは良かった。 ・ 写真を貼ることで委員会活動の「見せる化」ができ、参加者にイメージを持たせやすかったこと。 ・ パネル討論の準備の関係上、委員長のプレゼンを見られませんが、委員会活動をアピールできたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの参加者が聞きに来てくださったので、良かったですね。 ・ PCを持込んでプレゼンしたり、写真や動画をスライドショーで流すのも良いかも。情報工学会部会でやるべきかもしれません。(^^;

①ポスター (3)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月イベント等、楽しそうな写真をたくさん貼ったことで、親近感を持っていただけたこと。説明もしやすかったです。 ・ 大型ポスターに鮮明な最新の写真がたくさん貼られていたこと。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ せっかくのポスタープレゼンが周囲のザワつきで聞き取り辛かったこと。マイクなど必要？
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真等を活用し、青年らしさをアピールできた。 (他のグループと差別化できたと思う) ・ 昨年と同じで、展示の場所が良かった(入り口近く) ・ 田中さんのプレゼンが多くの参加者を引き付けた。 (その後の勧誘がしやすかった) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の参加者は名刺を持っていないことが多く、連絡先を聞き出せないことが多かった。 ・ その場での次回イベントへの参加申し込みを促したりして連絡先を入力させるか、連絡先を聞き出せる方法を検討したい。 ・ ビラがちょっと余り過ぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備に参加された皆様、お疲れ様でした。
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真展示は雰囲気伝わり好印象であった。 ・ 田中さんのプレゼン聞けませんでした。参加者に印象深かったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用意されたついでにポスターを貼ると、下部が机に隠れてしまいました。 ・ ポスター側の机はなくしてもよいかと思います。 ・ 小塚さんが使われたタブレットでの説明はとてよいと思うので、共通資料として整備したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター、チラシなどご準備いただきました方々、おつかれさまでした。

②パネル討論(1)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
竹入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立技術士と JABEE 過程の方がいたこと ・ 青年の活動内容を北元さんと小塚さんがほどよくアピールしたこと ・ 諸田さんが部会の副会長をやられていることで青年の活動内容アピールのみに隔たらなかったこと ・ 小塚さんがとてもハキハキしていて元気良く落ち着きがあったこと ・ 中川さんの司会進行、安定感があり、急ぎ足になることなく時間通りに終わったこと ・ 会場内から質問が活発にできたこと ・ パネリスト同士の討論 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者のみなさんに「やるぞ！」と勇気を与えた討論会になっていました。 ・ ありがとうございます！
川崎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会進行・プレゼン・討論 完璧だったと思います！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備段階から大変だったと思います。お疲れ様でした。 ・ 諸田「先生」はしばらく流行りそうですね

②パネル討論(2)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
太田 (道)	<ul style="list-style-type: none"> ・ きちんと作りこまれている感じがしました。安定感がありました。 ・ パネリスト同士で掛け合いをするのは面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイク持つ手の肘を机について話すのは何となくかっこ悪い感じがしました。(パネリストは皆そういうもの?) ・ 安定感との裏腹ですが、もっと自然な(準備なしの)感じが出ると良かったかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石丸さんと露木さんも自然体な感じでよかった。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの進行はとても安定感がある。準備がしっかりしていた。 ・ パネリスト同士の会話もよかった。 ・ 会場からの質問に諸田先生がうまく対応していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘密保持に関する質問は、石丸さんが応えてくださいました。 ・ こういった質問は想定して、事前に認識合わせて対応できるとよりよいのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 檀上のみなさま、おつかれさまでした!
伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんを中心に、落ち着きのある進行だったこと。私のときはどうだったのかと思いつきながら聞いてました。運よく?記録がないので比べようがないですが、今回ほどの落ち着きはなかったような(^_^); ・ パネリストのみなさまも、長期間のご準備から当日までお疲れさまでした。 ・ 諸田先生椅子から落ちそうになりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の心に響いていると良いですね。私が修習技術者の時、そもそも二次を受けるか迷っての参加だったのですが、パネリスト(金属・小柳さん)のプレゼンに背中を押してもらいました。
中川	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリスト間討論は初の試みで時間管理の面でやや不安はありましたが、リアルで率直な討論に近づけたように思います。 ・ 外部パネリストが入ると討論の幅は確実に広がりますし、委員のみでは難しい良い緊張感が出ますね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち居振る舞いをもう少し考えておくべきでした。最後のあいさつの際も全員で立ってお辞儀したらよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸田先生に気を取られて、質問と先生の回答を聞き逃してしまいました。 ・ パネリストの皆さんがひとつひとつの回答に丁寧に答えてくださっていることがよく伝わりました。皆さん、とても良い表情でした! ・ ご協力くださいました皆さん、ありがとうございました。
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの非常に安定した進行。 ・ パネリストのスマートなトーク。特に諸田先生の仰ることは、so convincing. ・ パネリスト同士のトークは、新しい試みとして良い。 ・ パネリストが5人揃った!(1年おきに5人になっている) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリスト同士のトークは、音の出処が何となくわからない感じだった。慣れてないからか? ・ 昔は2時間15分の長さで本当に辛かったが、1時間45分は概ね適正だと思います。
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小塚さんが熱心にメモを取っていたところがとても印象的でした。パネル本番でも学ぼうとする姿勢がすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱ肘をついて話すのは雅ではないですねえ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほんとうにお疲れ様でした。私もとても刺激になりました!

②パネル討論(3)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に落ち着いた感じで進行されていて、準備がよくできていたと感じました。 ・ 外部の方もプレゼンターに入っていたことで、青年だけではなく空気感が入ってよかったですと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備からたいへんお疲れ様でした。受験に迷っている方たちにとっては後押しになっていると思います。
北元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの時間配分がうまかった。そして司会の進行もとてもうまく、パネリストとしてしゃべり易かった。 ・ 討論を楽しめた。 ・ パネリスト同士の討論や独立技術士を入れたことなどで、昨年度のアンケートの要望に応え、内容がさらに充実したのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しばらく” 諸田先生” と呼ばせていただきます！！
小塚	<p>【事前準備編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの準備の進め方が周到であった。 ・ 指示に従って準備を進めたら、知らぬうちに準備が終わっていたことに驚いた。 ・ パネラー同士の討論内容を事前に大まかにすり合わせておけたこと。 <p>【討論当日編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの見事なコーディネートにより、パネル討論を時間通りに終えられたこと。 ・ コーディネータ、パネラーともに喋りが安定しており、安心して討論に臨めたこと。 ・ パネラーであったが故、祝賀会で話しかけた参加者と話が盛り上がった。 	<p>【事前準備編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし。 <p>【討論当日編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すでに机への肘付きに関するご指摘がありましたが、身体の姿勢は見え方を考えるべきでした。パネル討論、祝賀会の写真を拝見しましたが、見えていて恥ずかしい写真も…。(小塚はマイクの握り方が完全にカラオケ持ち…) ・ 自然体の討論にしようと思いい、自分の机に進行表すら持ち込まなかったこと。 ・ いくら自然体でも時間は決まっているので、進行状況を確認できるように、進行表は持っておくべきでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネータ、パネラーともに、素晴らしいメンバーでした。パネル討論に参加させていただいて本当に良かったです。勉強になりました。ありがとうございました。 ・ 「諸田先生」私も諸田先生のように、敬意を払われる技術士になりたいと思いました。
諸田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの司会進行、時間管理が良く、時間内に完了できた。 ・ パネリスト同士で会話することで、畏まった雰囲気や和らいだ。 ・ 参加者がパネル討論を熱心に聞いてくださり、質問も沢山してくださった。 ・ PC 操作のリモコンがあったため、自分のタイミングでパワポ発表を進められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「参加者へ思いを伝えたい」という前のめりな気持ちと「緊張感を抑えたい」という心理状態から、話す姿勢が良くなかった部分がありました。 ・ 普段、立って発表することに慣れているので、座って発表する練習もした方が良かったですね。 ・ PC 操作のリモコンとマイクで両手が塞がってしまったため、プレゼンで身振り手振りがしづらかった。個人的にワイアレスマイクがあると助かったかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お忙しい中、昨年準備していただき、お疲れさまでした。緊張しましたが大変楽しめました。ありがとうございました。 ・ 技術士になって初めて「先生」と呼ばれて驚きましたが、世間からそう見られているんだなあと思いが引き締められました。

②パネル討論(4)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんの落ち着いた司会進行。 ・ どのパネリストの方々も落ち着いてわかりやすく語られていたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲み物がだされていなかったこと(気がつかずすみません。。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリストの皆様、中川さん、お疲れさまでした！
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の打ち合わせが十分であり、安心感があった。 ・ 中川さんのコーディネートが素晴らしかった。(話し方といい、プロのようだった) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の興味をひくために、失敗談や不合格だった時のエピソードがあっても良かったかもしれない。(きれいにまとまりすぎた?) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間の準備お疲れ様でした。 ・ 非常に質の高いパネル討論になったと思います。
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さんのコーディネート、「昨年より断然よい！」とのご意見いただきました。同感です。 ・ パネラーの方々も自然体で受け答えされていて、まさにパネル討論でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある長老からの意見ですが、修習技術者が主役だから、順番が逆ではないかとのことです。先に収集技術者の悩みを聞き、それに対する技術士の解答という形式もアリですね。 ・ スライドと討論内容が重複する部分が多いので、登壇者の受験動機、勉強方法などは「しゃべくり 007」(あるテレビ番組)で使われるパネルを模して紹介してもよいかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川さん、パネリストの方々おつかれさまでした！

③祝賀会 (1)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
太田(道)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白井さんがやりきった。 ・ 言いつけを守って、最後までご飯に手を出さなかったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を巻き込むような仕掛けがあると、もっと盛り上がったと思います。 ・ 演壇横に青年が固まってしまっていた気がします。少し違和感がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年恒例の「何か」を作って、その精度をあげていくほうがいいのかもかもしれません。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場は歓談が活発に行われていたこと。 ・ 青年の活動に興味をもってくれた参加者が多数いたこと。 ・ 参加者に挙手を求めた問いかけは、違和感なくできてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場とのコミュニケーションを図って参加者に入っていたが、避けられがちで、話を引き出す会話になってなかった。もう少しうまくやれたとおもう。 ・ 二次会の予約や準備が前日になり、スタッフで共有する余裕がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちなみに二次会は実績36名。たくさんご参加いただきました。
中川	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリストにもう一度登場してもらったこと。修習技術者に声を出してもらうために良い案ですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メ役を引き受けておきながら、しくじりました…。白井さんがあわてて飛び出して助けてくださらなかったら会場を急速に冷ましてしまうところでした。申し訳ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会が明るくてよかったです。ご準備お疲れさまでした！
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリストの再登壇。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やはり、懇親会中の聴衆を舞台にひきつけるのは至難。高額商品チラつかせても無理かも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中村さん、高橋さん、お疲れ様でした！

③祝賀会 (2)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理を食ったらだめな青年のために小野寺さんが柿ピーを提供してくれました。気遣いが素晴らしい！ ・ 部門に分かれていたおかげで、繊維や航空宇宙などのレア部門の勧誘がしやすかったです。 ・ 中川さんのしめから一本締め隊長へのパス、さいこーでした 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちなみに、一本締めは略式なので公式な場では三本でしめましょう。 ・ 貸し切りでないお店などの周りに部外者がいる場合は関東式一本締めが好ましいです。
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルコールも入り、参加者が各々のペースで歓談しているなかで、幹事の方中心にやりきったこと。大変だったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来上がった方たちを再注目させるのは難しいですね。(どうすればいいかというのは出てこないのですが・・・) ・ 幹事のみなさま、大変おつかれさまでした。
北元	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームではなく、パネリストとの交流企画はよかったと思います。 ・ 2 次会にたくさんの方が来てくれたこと。 ・ 2 次試験の受験予定者から話しかけられたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やはり、あの雰囲気企画を進めることは難しいですね。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネラーへの質疑の時間の白井さんのグイグイ感。参加者に喋らせることで、場を盛り上げられていた。また、会場に質問を投げ掛けて手を挙げてもらうのは敷居が低く、参加者への掴みとして効果的であったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すみません。参加者との会話に没頭してしまい、出てきません…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お開きでの三本締めのくだりは、パネル討論以上に自然体でした。最後の最後で笑いを誘い、結果オーライだったと思います。 ・ 小塚的には中部からの参加者がいらっしやっただので、中部の青年委員会への勧誘を行えたことは良かったです。
諸田	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリストが再登壇したことで、参加者とコミュニケーションが図れたこと。 ・ 歓談時間が多く取れたのは良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大勢が歓談している中、司会の声が会場全体に聞こえると良いですね。(音量を大きくする、会場の後方にスピーカ置く等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大勢が歓談している中で司会進行するのは大変だったと思います。白井さんが会場を歩き周ってコミュニケーションを図るのは良いなと思いました。 ・ 中川さんと白井さんの三本締めの掛け合いは面白かったです。ちなみに、よく言う「一本締め」は「一丁締め」ですね。
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部ごと、地域ごとに分かれたこと。 ・ 事前の田中委員長の計らいで青年委員が食事に手をつななかったこと。 ・ 中川さんと白井さんのやりとりが面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備して下さった皆様、どうもありがとうございました。

③祝賀会 (3)

回答者	良かった点	改善したい点	その他
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に交流が活発に行われたと感じた。 ・ パネリストを再登場させたことと、会場からの質問を受け付けたことで、多少なりとも参加者との距離を縮められたのではないかと感じた。 ・ 締め挨拶での、中川さん、白井さんの共同締めが印象的だった。 (中川さんの違った一面を見せることができた?) ・ その後の2次会への参加者のお誘いがスムーズにできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒が入っている場での企画に、限界を感じた。 ・ パネリストとの質問回答などは、委員の個人プレーで(パネリストを活用する、誘導する)のが良いのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回も白井さんが、体を張って頑張ってくれました。ありがとうございました。
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネリストを登場させたことで、より参加者も質問しやすかった。 ・ 白井さんの司会、プロの領域にはいってきました。 ・ 二次会に多くの方が参加された。 ・ 中川さん、白井さんの夫婦漫才、最高です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的に部会長につかまりすぎた点、反省です。 ・ 二次会の集合場所・時刻を決めておくべきでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹事の方々おつかれさまでした。

行事名	3月例会企画「技術士資格を取り入れた未来の自分を考える」
日時	2017年3月18日(土)13:30~17:00
場所	日本技術士会 葺手第二ビル 5F AB 会議室
司会・進行	明山公也(機械部門/修習技術者)
担当者: (○印:リーダー)	○明山、鈴木、伊藤
参加者数	イベント:17名(申込数:19名、キャンセル3名、滝口さん当日参加による) 懇親会:10名+青年メンバー15名

1. 背景・目的

今年度の第一次試験合格者/JABEE 修了見込者および修習技術者を対象として、技術士資格を取り入れた未来の自分を考える企画とした。ひとくちに修習技術者と言っても、すぐに二次試験受験を予定していたり既に技術士資格活用計画があったりする人もいれば、二次受験までまだ数年ある人や資格取得後の自分の具体的姿が見えない人もいるはずである。よって本企画では、単に今後のキャリアを考えるだけでなく、先輩技術士への直接インタビューや一次試験合格者同士の交流を通して自分以外の人が考えている未来や夢・向上心などに触れることにより、先に考えた未来の自分に自信を得たり、あるいは新しい気付き・学びを得たりする機会とし、技術士資格取得に向けたモチベーションUPを図ることを目的とした。

グループワークでは、先輩技術士として青年委員会メンバーにも数名参加していただいた。自身の技術士取得の意義を整理して人に話すこと、参加者からフィードバックを貰うことで我々にとっても自己研鑽の場となるはずである。最後に青年委員会の魅力をアピールして、4月以降のイベント参加促進も狙った。

2. 例会内容

2. 1. 企画の主旨説明と本日の流れについて説明(13:30~13:40)

2. 2. 参加者が自身のことについて考えを整理(13:40~13:55)

参加者は「シートA」に書かれた下記質問①~⑤について記入

- ①技術士を受けようと思ったきっかけは何ですか？
- ②二次試験を受験「できる/したい」時期はいつですか？
- ③受験までに高めたい能力はなんですか？
- ④高めたい能力のため自分で実行していること、またはやろうとしていることは？
- ⑤どんな技術士になりたいですか？

2. 3. 軽い自己紹介(13:55~14:00)

各グループ内で1人1分(×4~5名)自己紹介(名前・部門・ひとこと等)

2. 4. 先輩技術士へのインタビュー(14:00~16:00)

グループに加わる先輩技術士(青年メンバー)へ、参加者がインタビューを実施[シートBを使用]。ここでは、多様な話を聞いて、参加者が新たな気付きを得たり共感したり、自信をもってもらうことをねらいとした。インタビュー内容は下記①~④の通り。先輩技術士は各グループに1名配置とし、時間を区切って、別グループに回る方法をとった。

- ①技術士を受けようと思ったきっかけは何ですか？
- ②技術士に求められる能力は何ですか？
- ③技術士になるためにどんな努力をしましたか？
- ④技術士になってよかったことはなんですか？
- ⑤その他質問(参加者が聞きたいこと、なんでもOK)、経験談とか、勉強工夫談など

2. 5. 先輩技術士へのインタビューを得て、今度は参加者自身が「未来の自分」を考える(16:00~16:15)

「シートC」を使って参加者が「未来の自分」について考える。

2. 6. グループ内で、「未来の自分」について発表(16:15~16:40)

「シートA」と「シートC」を使って参加者が「未来の自分」について発表。ここでは、自分以外の人が考えている未来や夢・向上心などに触れることで、「あっ、この人はこんなことを考えているんだな、自分もこうしていきたいな！がんばらなきゃ！」と感じてもらうことがねらい。

2. 7. 参加者からの感想(16:40~16:45)

2. 8. 講評(16:45~16:50):田中委員長

2. 9. 青年委員会の紹介(小野寺氏)・4月イベントお知らせ(萩尾氏)・終わりの挨拶(16:50~17:00)

2. 10. 懇親会(17:30~19:30)会議室内ケータリング

3. 成果と所感

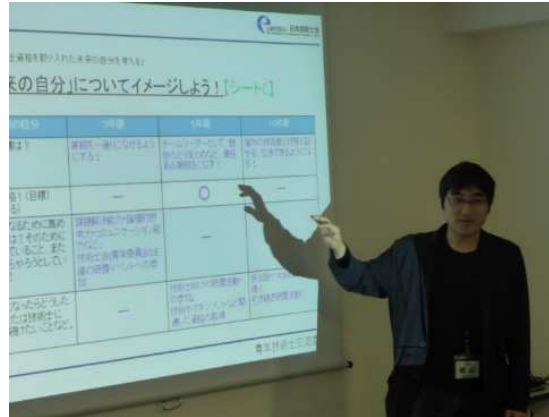
本イベントに向けた準備を計画通りに進め、配布物も早い段階で準備したことにより、当日の会場設営をスムーズに進めることができた。また、去年の同様なイベント反省点を踏まえ、内容をアレンジすると共に、進行に無理のない時間配分を設定した。その結果、当日はシナリオ通りの企画を実行することができ、グループワークでは参加者メンバーと青年メンバーが交流する時間を十分確保することができた。また懇親会も同じ会場を使用し立食形式にしたことにより、一層交流を深められるような場を提供することができた。

当初の目的通り、自分以外の人が考えている未来や夢・向上心などを身近に触れ、新しい気付き・学びを得て技術士資格取得に向けたモチベーション UP を得られるような貴重な場を問題なく提供することができた。

4. 今後の展開

グループワークに参加した青年メンバーには、長時間(25分間×4セット)にわたり参加者からインタビューを受けるという負担をかけてしまった。そのため、次回は青年メンバーが少しでも負担軽減できるような企画内容が望ましい。また今回のグループワークは各グループの中で情報が固まってしまうことから、今後はグループ間で情報共有(例:参加者の入換、グループワークで一つのものを作って前で発表などアウトプット)するなど、参加者同士の交流をより一層深められるような企画を検討してもよいと考える。

5. 企画の様子



6. 当日使用したシート

<シート A>

① 技術士を受けようと思ったきっかけは何ですか？
② 二次試験を受験「できる/したい」期間はいつですか？
③ 受験までに高めた能力はなんですか？
④ 高めた能力のために自分で実行していること、またはやろうとしていることは？
⑤ どんな技術士になりたいですか？

<シート B>

先輩技術士の部門・名前:
① 技術士を受けようと思ったきっかけは何ですか？
② 技術士に求められる能力は何ですか？
③ 技術士になるためにどんな努力をしましたか？
④ 技術士になってよかったことはなんですか？
⑤ その他質問(参加者が聞きたいこと、なんでもOK)、経験談とか、勉強工夫談など

<シート C>

未来の自分	年後	年後	年後
仕事の目標は？			
技術士合格！(目標) (○を付ける)			
技術士になるために高めた能力は？そのために実際にやっていること、または、これからやろうとしていることは？			
技術士になったらどうしたいか？または技術士になっても続けたいことなど。			

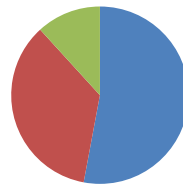
<シート D>

名前	部門	気づいたこと、共感したこと	これから自分が研鑽のためにやってみたいと思ったこと

● 今回のイベントについて

Q1-1. 司会の話し方や進め方はいかがでしたか。

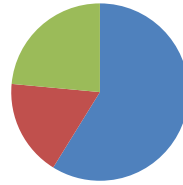
選択肢	回答数	割合 (%)
(a) 満足	9	52.9
(b) ほぼ満足	6	35.3
(c) 普通	2	11.8
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	17	100.0



- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q1-2. 用意した資料の内容はいかがでしたか。

選択肢	回答数	割合 (%)
(a) 満足	10	58.8
(b) ほぼ満足	3	17.6
(c) 普通	4	23.5
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	17	100.0



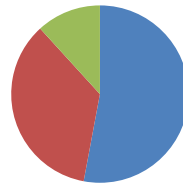
- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q1-3. 司会に伝えたいことがありましたら、お書きください。

- ・素晴らしかったです
- ・説明が分かり易かったです
- ・楽しく参加させてくださり、ありがとうございました

Q2-1. スタッフの対応はいかがでしたか。

選択肢	回答数	割合 (%)
(a) 満足	9	56.3
(b) ほぼ満足	6	37.5
(c) 普通	1	6.3
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	16	100.0



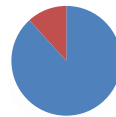
- (a) 満足
- (b) ほぼ満足
- (c) 普通
- (d) やや不満
- (e) 不満

Q2-2. スタッフに伝えたいことがありましたら、お書きください。

- ・希望の持てる話題が聞けて楽しかったです
- ・楽しく参加させてくださり、ありがとうございました

Q3-1. 先輩技術士や参加者同士の対話を通して新しい気付き等はありましたか。(イベントの目的)

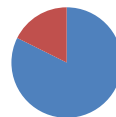
選択肢	回答数	割合 (%)
(a) たくさんあった	15	88.2
(b) 少しあった	2	11.8
(c) なかった	0	0.0
合計	17	100.0



- (a) たくさんあった
- (b) 少しあった
- (c) なかった

Q3-2. 技術士第二次試験のチャレンジ意欲はわいてきましたか。(イベントの目的)

選択肢	回答数	割合 (%)
(a) わいてきた	14	82.4
(b) かわらない	3	17.6
(c) なくなった	0	0.0
(d) わからない	0	0.0
合計	17	100.0



- (a) わいてきた
- (b) かわらない
- (c) なくなった

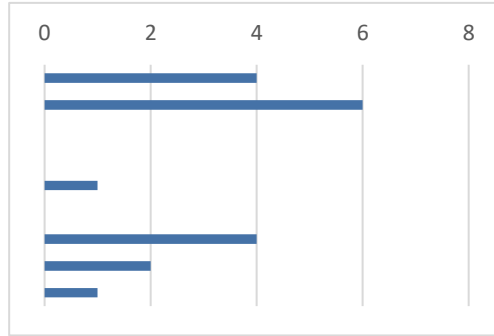
2017年3月例会外部アンケート

● 今回のイベントに参加するまでの経緯について

Q4-1. イベントを、どのように知りましたか。(複数回答可)

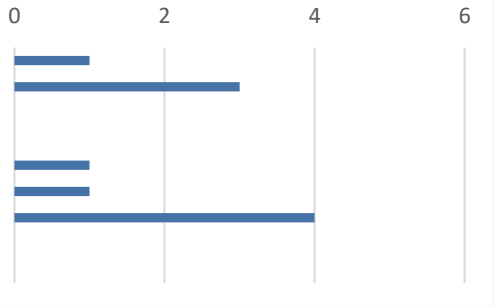
選択肢	回答数
(a) 日本技術士会の同報メール	4
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	6
(b2) その他のHP	0
(c) 青年委員会のブログ	0
(d) 月刊PEの行事予定	1
(e) 以前に参加した青年委員会の例会	0
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	4
(f2) その他の人からの紹介	2
(g) その他	1

gには具体的な回答無し



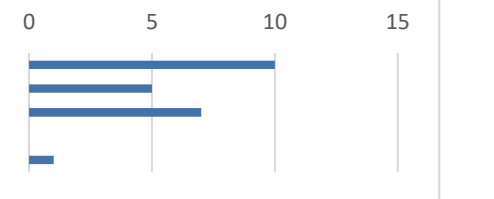
Q4-2. Q4-1の中で、特に参加のきっかけとなったのはどれですか。

選択肢	回答数
(a) 日本技術士会の同報メール	1
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	3
(b2) その他のHP	0
(c) 青年委員会のブログ	0
(d) 月刊PEの行事予定	1
(e) 以前に参加した青年委員会の例会	1
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	4
(f2) その他の人からの紹介	0
(g) その他	0



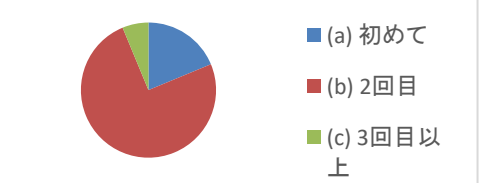
Q5. 今回のイベントに参加した目的は何ですか。(複数回答可)

選択肢	回答数
(a) テーマや内容に興味等	10
(b) 参加者への興味(人脈の拡大)	5
(c) 青年委員会への興味	7
(d) CPDのポイント取得	0
(e) 上記以外	1



Q6-1. 青年委員会のイベントに参加するのは今回で何回目ですか。

選択肢	人数	割合 (%)
(a) 初めて	3	18.8
(b) 2回目	12	75.0
(c) 3回目以上	1	6.3
(d) はっきりしない	0	0.0
合計	16	100.0



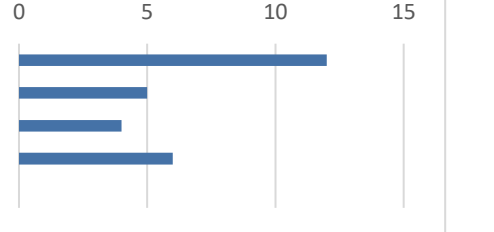
Q6-2. 過去に印象深かったテーマ、面白かったテーマがあれば、お書きください。(参加2回目以上の人)

・国際交流 ・ディベート ・英会話 ・合格祝賀会

● 青年委員会の活動について

Q7-1. 開催してほしいイベントについて。(複数回答可)

選択肢	回答数
(a) 情報の提供	12
(b) 変化の提案	5
(c) 楽しみの場の提供	4
(d) 人脈形成の場の提供	6
(e) 上記以外	0



※具体例

- ・国際交流 ・技術士としての活動の成功/失敗_具体体験 ・テクノツアー
- ・ボランティア体験 ・英会話 ・キャリアプランセミナーをゆるい感じで。
- ・トレンド分析 ・話題のテーマ

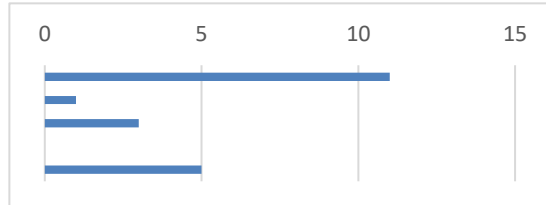
Q7-2.内容以外について、ご希望があればお書きください。

- ・休日

●技術士または技術者としての活動について

Q8.あなたご自身はどのような活動をされていますか(複数回答可)

選択肢	回答数
(a) 自身の向上	11
(b) 周囲の支援	1
(c) 周囲との連携	3
(d) その他の活動	0
(e) 特になし	5



※具体例

- ・TOEIC ・語学資格 ・資格取得 ・作業環境測定士 ・理科教室

●あなたご自身について

Q9-1.技術部門

選択肢	回答数
情報工学	4
化学	2
環境	2
経営工学	2
農業	2
生物工学	2
応用理学	1
建設	1
機械	1
合計	17

Q9-2.年齢層

選択肢	回答数
(a) 30歳未満	8
(b) 30歳～34歳	3
(c) 35歳～39歳	0
(d) 40歳～44歳	1
(e) 45歳～49歳	2
(f) 50歳～	3
合計	17

Q9-3.会員層

選択肢	回答数
(a)技術士補	3
(b) 修習技術者	11
(c) JABEE課程	2
(d)その他	0
合計	16

1名回答無し

2017年3月例会内部アンケート

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
太田(望)	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さんの司会進行、時間配分が上手でした。 ・グループごとに先輩技術士を配置したことで、参加者は質問しやすかったと思います。 ・立食形式は多くの人とお話ができるので良いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生さんから現役引退近い人生の大先輩まで、いろんな方とお話できて楽しかったです！
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さんの司会が安定していた。 ・学生が3人参加していた。内1人は委員補佐になる予定。 ・懇親会が最後まで盛り上がっていた。 ・修習ガイダンスからの参加者がいたこと。 ・4名の先輩技術士と身近に話ができ、参加者の満足度が高かった。 ・小野寺さんのプレゼン、さすがです。 ・懇親会での伊藤さんのまとめ、イベントの意義が再認識できました。 ・鈴木さんの懇親会段取り、量が読めなくて難しかったと思いますが、ちょうど良かったのではないのでしょうか。 <p>今後のために参加者数、調達数、残数のデータを残したいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立食は良いのですが、料理と飲み物はどこかにまとめておいた方がよいでしょうか。 <p>テーブルのまわりで話すので、固定の料理のみ食べることになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月担当の方々、4名の先輩技術士の方々、おつかれさまでした。
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さんの落ち着いた進行。序盤、若干シュールな感じになっていましたが、明山さんが想定内と言っていて、非常に頼もしく感じました。 ・お願いした4名の先輩技術士の親身な対応。2時間以上の長丁場、盛り上がりはこの4名の先輩技術士のおかげです。本当にありがとうございました。 ・小野寺さんの青年紹介における目の付け所とプレゼン。 ・これから技術士を目指そうとしている方にとって、近くで技術士と話ができたことは刺激になったのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の懇親会では昨年のデリバリーの記録を参考に見積もりしましたが、いままでの記録を整理してまとめておいた方がよいかと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田中山ビルが20時前に閉まってしまっていたこと。 ・20時まで開いていると踏んで懇親会をケータリング方式にしたのですが、その確認を怠っていました。 ・参加者へのメールをevent03で出そうとしたのですが、アカウントに入れず、急遽、太田(み)さんに対応していただき、参加者とのやり取りが可能になりました。ありがとうございました。 ・今回、初めての企画からの参加で何かと後手後手になってしまいましたが、明山さんの企画と伊藤さんの確かな指摘が大変勉強になりました。ありがとうございました。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代の参加があったこと。 ・明山さんの落ち着いた進行は安心感があったこと。 ・四人の先輩技術士が申し合わせたように課題解決能力の重要性を語ったこと。 ・小野寺さんの荘子の言葉を引いた。 <p>青年委員会の紹介にインパクトがあったこと。君子の交わりは淡き水の如し</p> <p>➡とはいうけれど！ チャレンジングな枠組みながら、響くものがありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報工学のアドバイスをするには私力が不足でした。 <p>結構な頻度で話題になるので、専門科目と高度試験の関連を確認しておこうとおもいました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の伊藤さんが真っ直ぐな感想を懇親会でしていただけたことがイベントの成功を示していたと思います。 ・参加者の浅井さんには委員補佐に手を挙げていただきました。 <p>明山さん、鈴木さん、伊藤さん、お疲れ様でした。</p>

2017年3月例会内部アンケート

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
明山	<ul style="list-style-type: none"> ・去年参加した同様なイベントで個人的に参加者側として思ったことを、今度は運営側として企画に反映できたこと。(内容をアレンジ・時間配分の再調整など) ・事前に配布物は1ヶ月前の運営委員会のときにコピーしておいたので、当日はスムーズに準備ができたこと。 ・グループワークでは、参加者メンバーと青年メンバーが交流する時間を十分確保できたこと。 ・山本さん、白井さん、みほしさん、萩尾さんのおかげで、グループワークが問題なく進んだこと。本当にありがとうございます！ ・初の企画主担当でドキドキしましたが、当日は後ろで青年メンバーが見守ってくださったので、安心してイベントの進行ができたこと。 ・事前にスライドの設定サイズを確認しておいて正解だったこと。 ・ほぼ時間通りにイベントを進行し終了できたこと。 ・小野寺さんの青年委員会紹介プレゼン(スライドには活動写真等がなく文字しかなかったのに、話術でそこまでおもしろくプレゼンできるのか！と驚きました。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークに参加いただいた青年メンバーには少し負担をかけてしまいました。25分間×4セットはちょっときついかなと思ったので、もう少し事前に説明しておくべきでした。 ・鍵の返却時間等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークにご協力くださった山本さん、白井さん、みほしさん、萩尾さんと、受付担当(兼お金管理)の瀧川さん、カメラ担当の高橋さん、本当にありがとうございました！ ・その他の青年メンバーも当日ご協力くださり、大変感謝しています！ ・伊藤さんと鈴木さんのご指摘・アドバイスのおかげで、スムーズに企画運営を進めることができました。ありがとうございました！
萩尾	<ul style="list-style-type: none"> 各班から発表者を選ぶ際の、明山さんの絶妙な間がよかったこと。 司会進行がスムーズだったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 班を移動するたびに、疲れてきて回答が淡泊になってしまったこと。(すみません。。。)今後はペース配分を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に参加者の方と話ができて、とても楽しかった。好き放題にしゃべらせていただけたので、すっきりした。山本さん、白井さん、みほしさんが何を話したのか勉強のために聞いてみたかったです。
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・小野寺さんの青年紹介。君子の交流は淡交であるということから、青年の活動に参加しないことが悪ではないという常連参加者をフォローできる内容になっていたこと。 ・参加者からコメントのセクションで、明山さんが学生さんを指名したこと。やはり指名するなら若い人がいいですね。「じゃあ」じゃなくて名前で指名できればなお良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の絞めの前に明山さんから一言ほしかった。 ・インタビューがローテーションするのではなく、インタビューがローテーションする(つまりチームを変える)のも面白いのではないかと思います。 他のチームのインタビューがどのような質問をするのか知ることができそうですし、キャラクター的になんか偏ってそうなチームもありましたし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり各インタビューが何を聞かれ、どのように答えたのか気になります。 次回、似たような企画を行うことを想定すると、それを少しでも誰かが把握しておくことは有意義かと思えますし、各インタビューにとっては他のインタビューがどのように答えたかを知ることがとても勉強になるかと思えます。 印象的な質問だけでも、その答えを含めまとめておきませんか？ ・3月メンバーのメールのやりとりを拝見していましたが、とてもうまくコミュニケーションが取れていたように見えました。 ひとつひとつのメールがよくまとまっている(長すぎず、短すぎず)、頻度もちょうどいい。とにかくメールが追いやすかったです。まめなコミュニケーション、大変だったと思います。すばらしい企画をありがとうございました。

2017年3月例会内部アンケート

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さんの落ち着いた進行が素晴らしいかった。 ・小野寺さんの青年紹介の話術が勉強になりました。 ・懇親会の食事や飲み物がバランスもよく充実してたこと。 ・懇親会のスペースが、交流するのにちょうどよい広さだった。 ・懇親会のときの参加者の様子を見て、イベントが充実したものであったと実感できたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さん、伊藤さん、鈴木さん、ご担当くださった皆様、本当にお疲れさまでした！
小野寺	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さんの余裕のある振る舞いで進行。 ・安定したイベントコンテンツ(修習向けキャリアプラン系も3年目ですね)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の明山さんが回っての感想出しコーナーでは、インターグループで小共鳴のようなものを感じた。後半で、グループ間で何かメッセージ的なものを交換するギミックがもう少しあっても良かったかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これで明山さんに借りを返したので、貸借ゼロということで。
熊原	<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分など余裕があり、明山さんの司会進行よかったです。 ・少人数でよくまとめているなど感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い出しで小野寺さんのプレゼンが聞けず残念です。 ・また4名の先輩技術士のみなさんがどんな回答をしていたのかも気になりました。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・明山さんのダイヤ管理…もとい、スケジュール管理。無理のない時間配分で参加者はワークショップに取り組みやすかったのではと思います。 ・先輩技術士の粘り強い対応。質問攻めの中、最後まで力尽きないところに凄みを覚えました。 ・ワークショップの最後に明山さんがテーブル毎に所感を求める姿。参加者は奇襲攻撃にハラハラしつつも、程よい緊張感と和みが生まれて、その雰囲気のまま懇親会に入れたと思います。 ・懇親会をケータリングにするのは、やはり良いなと思いました。気になる会話をしているグループにポンッと参加したり、色々な人と話ができるので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い当たる改善点はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩技術士に参加者が直接質問できるワークショップであり、昨年よりもアウトプット型寄りのワークショップになったことが良かったと思います。
伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・選りすぐり4人の先輩技術士の活躍。この方々の活躍がなければ、昨日はありませんでした。山本さん、みほしさん、白井さん、萩尾さん。どうもありがとうございました！ ・青年メンバーの協力。昨日初めて運営委員会から参加した方々も、こちらからお願いしなくても、自ら進んでお手伝いを頂きました。 ・懇親会に出ない熊原さんも買い出しのお手伝い…ありがとうございました。 ・懇親会が盛り上がったこと。何かアトラクションが必要かと思いましたが、まったく不要でした。やはり、こじんまりの立食はいいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い出し量の調整。量の調整が難しいことを再認識でした。パーティ上手になりたい。数をこなすしかないですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム3月で活動できたことはすごくよかった。明山さん、鈴木さん、ありがとうございました。

行事名	4月特別例会：技術士第一次・二次試験合格者交流会
日時	2017年4月22日(土)
場所	株式会社 損保会館 404&405会議室
参加者	田中、鈴木、萩尾、山本、北元、白井、瀧川、太田(望)、田角、赤木、太田(道)、諸田、横田、下野、丸山、小塚、明山、栗野、滝口
担当者： (○印：リーダー)	○萩尾、白井、赤木、山本、太田(道)、瀧川、栗野
参加者数	第一部 62名(委員除く) 第二部 56名(委員除く)

1. 背景・目的

- ・今年度の第一次試験合格/JABEE 修了者である新たな修習技術者、および第二次試験合格者を対象として、参加者間の交流を促すことで、技術士仲間をつくる。
- ・例年の企画趣旨を引き継ぐことで、継続的に新合格者を受け入れる交流の場を提供する。
- ・技術士および修習技術者の今後の活動の指針となるようにする。

2. 例会内容

2. 1. 第一部の司会挨拶とスケジュール説明(13:30~13:40)：栗野委員補佐、萩尾委員

会場案内、配布資料確認、注意事項、本日のスケジュール説明

2. 2. アイスブレイク(13:40~13:50)：白井委員

2. 3. 先輩技術士の活動紹介①(13:50~14:00)：北元委員

自己紹介、技術士の在り方、国際活動に対する想い、CAFFEO 紹介および次回 CAFFEO のご案内。

2. 4. 先輩技術士の活動紹介②(14:00~14:10)：山本委員

自己紹介、技術士の在り方、理科教室に対する想い、理科教室の活動紹介。

2. 5. 先輩技術士の活動紹介③(14:10~14:20)：守田氏

自己紹介、技術士の在り方、今後の活動に対する豊富、青年技術士交流委員会の活動紹介。

2. 6. インタビュータイムの説明(14:20~14:25)：萩尾委員

短時間で他分野の相手技術者と交流するために、どのような話題で質問するか、逆に相手に自分を理解してもらうためにどうやってアピールするか、進め方を説明。

2. 7. シート記入および休憩(14:25~14:40)

2. 8. インタビュータイムのデモンストレーション(14:40~14:45)：萩尾委員、栗野委員補佐

インタビュータイムの詳細説明の実施。
実際に参加者が実施する前に、スタッフの実演で会場を盛り上げた。

2. 9. インタビュータイム(14:45~15:15)：栗野委員補佐

1 テーブル 8 人のグループ内で、総当たりで交互インタビューを実施
1 回のインタビュー時間 2 分、1 組あたり時間 4 分、計 7 組で 28 分

2. 10. 席替えの案内(15:15~15:20)：萩尾委員、栗野委員補佐

グループワークの前に席替え実施。新しいグループは最初のグループのアルファベット A~H の人ごと
に集まることで、会場全員分の情報が集まることを説明。

2. 11. グループワークの説明(15:20~15:25)：萩尾委員

グループワークの課題は、技術士有志の会を結成したとして、活動内容を決めて A4 用紙一枚の広告
を作成することとした。評価方法は参加者による投票とし、一緒に運営側として活動したいものに投票
して頂いた。各先輩技術士の活動を参考し、参加者自身の技術士としての活動目標を改めて考え直
して頂くと共に、インタビュータイムでつかった会場のニーズをうまく活用することで優勝に近づくこと
を説明した。

2. 12. グループワーク(15:25~16:45)：鈴木委員、守田委員、中村委員、太田(望)委員、諸田委員、 小塚委員、横田委員、下野委員

1. 席替え後グループでの自己紹介
 2. 議事進行、模造紙作成、発表者、時間配分の決定
 3. 活動内容の議論
- 各グループにオブザーバーとしてスタッフを配置。

2. 13. 各グループの発表(16:45~17:25):栗野委員補佐(4分を8グループ)

アルファベット順に作成した A4 用紙 1 枚をスキャナでスクリーンに映し出して発表。各グループの発表後に栗野委員補佐から一言コメントを頂いた。

2. 14. 委員長講評とグループワーク結果発表(17:25~17:35):田中委員長、萩尾委員

田中委員長に全体の講評を頂くと同時に採点結果の発表を行った。

参加者から最も票を得たグループを優勝とした。(H チームが優勝。)

各チームの発表内容と得票数は以下の表の通り。

A: 最強の家を作ろう	8
B: 大人フェス♥神田川を泳ごう!!	11
C: 技術の街 秋葉原!	9
D: 2017 年ダーツの旅	3
E: ドラえもんの秘密道具を作ってみませんか? 未来ゼミ設立	8
F: ドクターK 技術の総合病院	4
G: 技食会 技術士によるテクニカルクッキングセミナー	10
H: H がいっぱい 身近なモノを技術士が語るシリーズ	12

2. 15. 次回予告/5月例会のご案内およびアンケートの記入(17:35~17:40):栗野委員補佐

5/20(土)開催予定の5月例会の告知を行い、継続的な参加を促した。

2. 16. 第一部終わりの挨拶および全員での写真撮影(17:40~18:00):萩尾委員

第一部参加のお礼、写真撮影、第二部の案内、会場の移動、および参加者の誘導

2. 17. 第二部 乾杯の挨拶(18:00~18:00):諸田委員、太田(望)委員

第二部の合間に、国際、理科教室、サッカー等の活動に興味のある方を募り、説明を実施。

2. 18. 第二部締め挨拶(19:50~19:55):萩尾委員

参加への感謝に加え、青年委員会イベントへの継続参加を呼び掛けた。

3. 成果と所感

- ・多数の参加者から楽しかったと言って頂けたことがなよりの成果であった。
国際、理科教室等に興味を持って頂けた参加者が多く、今後も継続的に青年イベントに参加していただけると考える。
- ・当日準備がスムーズに終わり、タイムスケジュール通りに進行できた。各担当の方々が趣旨を理解した上で臨機応変に対応して下さった結果だと思えます。
- ・外部会場の選定にあたり、昨年の経験を活かすことが出来た。葦手からの荷物の搬送、会場費、アクセス、収容人数に対する広さを考慮し選定した。
- ・当初は受付を会議室の外に設ける予定であったが、予想以上にスペースが狭かった。臨機応変に受付場所の変更が出来た。これにより、参加者を待たせることなく受付をすることが出来た。
- ・参加者に対するメール担当を決め、定期的な情報展開、キャンセル時の連絡の徹底を促すことで、参加者の当日キャンセルを減らすことが出来た。ブログの週一回の更新も効果があった。地方からの参加者も多かったため、同報メールは関東だけではなく全国に発信した方がよかった。
- ・序盤、マイクの設定が悪く会議室の後ろまで声が届いていなかったため、予め音響の調整しておくべきであった。
- ・インタビュータイム前のデモンストレーションによりイメージをつかんでもらうことが出来たため、インタビュータイム中の進行をスムーズに出来た。
- ・グループワークの投票のルール設定をしっかりと行うべきであった。グループによっては自グループ以外に投票しにくい雰囲気もあった。
- ・1 次合格者の方の中には技術士の受験目的が自己研鑽である方も多いが、グループワークを通して社会貢献まで考えるようになったとの意見を頂けたことも成功であった。
- ・第二部はケータリングを活用したことにより、場所の移動がなく遅滞なく移行できた。太田(望)委員の機転により第二部の間に青年の活動を紹介することが出来た。

4. 今後の展開

- ・今後も継続的に技術士会、青年技術士交流委員会をアピールすることが重要。飽システム以外にも検討していきたい。
- ・参加者が何も話さずに帰ることのないよう、雰囲気作り・仕組み作りに継続して取り組んでいく。

5. イベントの様子

第一部の受付



第一部の司会挨拶とスケジュール説明



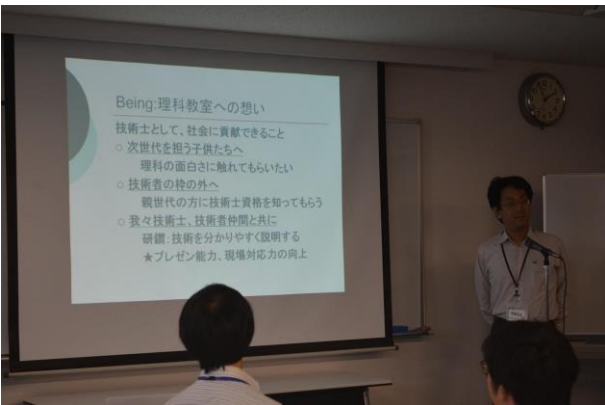
アイスブレイク



先輩技術士の活動紹介①



先輩技術士の活動紹介②



先輩技術士の活動紹介③



インタビュータイムのデモンストレーション



インタビュータイムの様子①



インタビュータイムの様子②



インタビュータイムの様子③



グループワークの説明



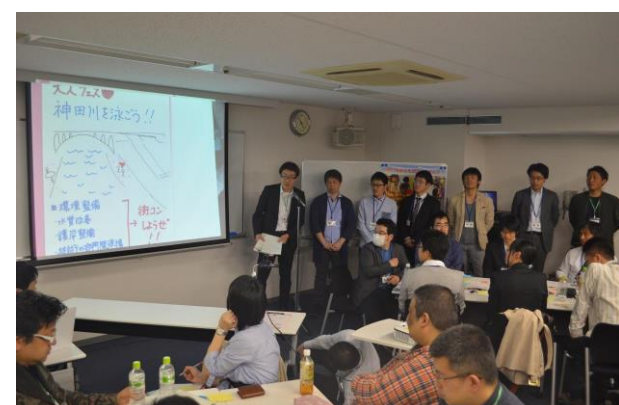
グループワークの様子



グループワーク発表:Aチーム



グループワーク発表:Bチーム



グループワーク発表:Cチーム



グループワーク発表:Dチーム



グループワーク発表:Eチーム



グループワーク発表:Fチーム



グループワーク発表:Gチーム



グループワーク発表:Hチーム



委員長講評



集合写真



交流会の様子①



交流会の様子②



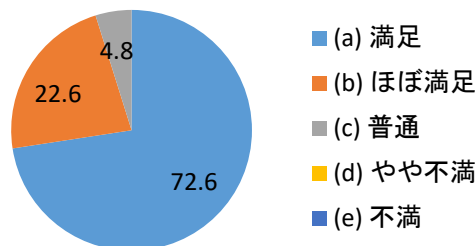
以上

●平成29年度 4月「技術士一次・二次合格者交流会」外部アンケート結果

●今回のイベントについて

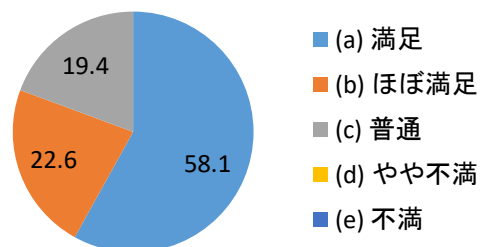
Q1. 今回のイベントは、全体としていかがでしたか？

回答	回答数	割合(%)
(a) 満足	45	72.6
(b) ほぼ満足	14	22.6
(c) 普通	3	4.8
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	62	100.0



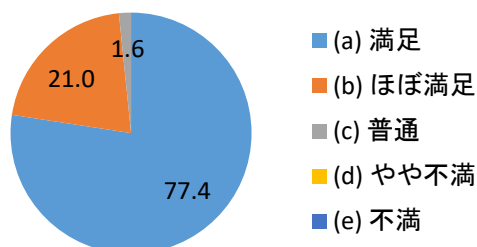
Q2. 青年委員会の用意した資料の内容はいかがでしたか？

回答	回答数	割合(%)
(a) 満足	36	58.1
(b) ほぼ満足	14	22.6
(c) 普通	12	19.4
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	62	100.0



Q3. スタッフの対応はいかがでしたか？

回答	回答数	割合(%)
(a) 満足	48	77.4
(b) ほぼ満足	13	21.0
(c) 普通	1	1.6
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	62	100.0



Q4. スタッフに伝えたいことがありましたら、お書きください。

【ご要望】

- ・地図に隣のビルや店などのランドマークを入れて欲しい。
- ・グループワークの投票は、自分のグループを入れない方がよい。
- ・グループ討議でQ&Aを設けてほしい。

【その他】

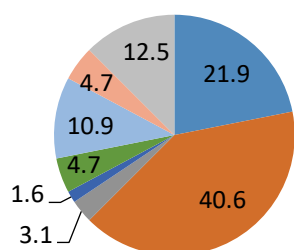
- ・キャンセル待ちなど、丁寧な対応をありがとうございました。
 - ・色々とお教えていただきありがとうございます。イベントの企画、お疲れさまでした。
 - ・大変貴重で良い経験となりました。
 - ・準備等大変だったと思います。ありがとうございました。
 - ・非常に楽しかったです。
 - ・是非次回も参加させていただきたいイベントでした。
 - ・素晴らしいイベントですので、継続していただければと思います。
 - ・通常の業務でご多忙の折、ありがとうございました。
 - ・定期的に企画してもらいたい！！
 - ・初めての参加でしたが、とても楽しかったです。
 - ・通常の業務でご多忙の折、ありがとうございました。
 - ・楽しかったです。不満などありません。
- ※お礼や労い言葉を多数いただきました。重複しているため、一部の掲載としています。

●今回のイベントに参加するまでの経緯について

Q5. 今回のイベントをどのように知り、何で参加を決めましたか(複数回答あり)?

【認知】

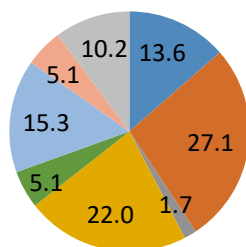
回答	回答数	割合(%)
(a) 日本技術士会の同報メール	14	21.9
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	26	40.6
(b2) その他のHP	2	3.1
(c) 青年委員会のブログ	0	0.0
(d) 月刊PEの行事予定	1	1.6
(e) 以前に参加した青年委員会のイベント	3	4.7
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	7	10.9
(f2) その他の人からの紹介	3	4.7
(g)その他	8	12.5
合計	64	100.0



- (a) 日本技術士会の同報メール
- (b1) 技術士会/青年委員会のHP
- (b2) その他のHP
- (c) 青年委員会のブログ
- (d) 月刊PEの行事予定
- (e) 以前に参加した青年委員会のイベント
- (f1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- (f2) その他の人からの紹介
- (g)その他

【判断】

回答	回答数	割合(%)
(a) 日本技術士会の同報メール	8	13.6
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	16	27.1
(b2) その他のHP	1	1.7
(c) 青年委員会のブログ	13	22.0
(d) 月刊PEの行事予定	0	0.0
(e) 以前に参加した青年委員会のイベント	3	5.1
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	9	15.3
(f2) その他の人からの紹介	3	5.1
(g)その他	6	10.2
合計	59	100.0

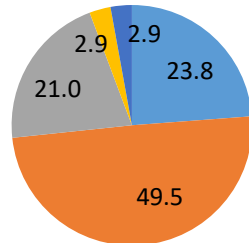


- (a) 日本技術士会の同報メール
- (b1) 技術士会/青年委員会のHP
- (b2) その他のHP
- (c) 青年委員会のブログ
- (d) 月刊PEの行事予定
- (e) 以前に参加した青年委員会のイベント
- (f1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- (f2) その他の人からの紹介
- (g)その他

- ・ 合格者祝賀会
- ・ 合格時に郵送されてきたチラシ
- ・ 青年委員会
- ・ 委員長の勧め
- ・ 先輩からの勧め
- ・ ガイダンス会場の掲示版

Q6. 今回のイベントに参加した目的は何ですか(複数回答あり)?

回答	回答数	割合(%)
(a) テーマや内容に興味等	25	23.8
(b) 参加者への興味(人脈の拡大)	52	49.5
(c) 青年委員会への興味	22	21.0
(d) CPDのポイント取得	3	2.9
(e) 上記以外	3	2.9
合計	105	100.0

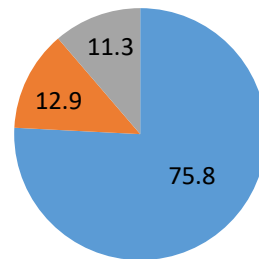


- (a) テーマや内容に興味等
- (b) 参加者への興味(人脈の拡大)
- (c) 青年委員会への興味
- (d) CPDのポイント取得
- (e) 上記以外

- ・若いエネルギーに触れたかった。
- ・面白そうだった。
- ・技術士会の入会是非の検討のため。

Q7. 青年委員会のイベントに参加するのは今回で何回目ですか?

回答	回答数	割合(%)
(a) 初めて	47	75.8
(b) 2回目	8	12.9
(c) 3回目以上	7	11.3
(d) はっきりしない	0	0.0
合計	62	100.0



- (a) 初めて
- (b) 2回目
- (c) 3回目以上
- (d) はっきりしない

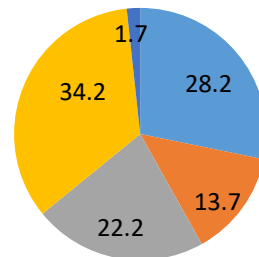
Q8. 過去に参加したイベントで、印象深かったテーマや面白かったテーマは何ですか?

- ・ 国際交流、理科教室
- ・ ディスカッション
- ・ 交流イベント
- ・ イングリッシュセミナー/プレゼン(ディベート会)
- ・ 4月イベント
- ・ 講演会
- ・ 国際交流

●青年委員会の活動について

Q9. 青年委員会の活動として開催してほしいイベントは何ですか(複数回答あり)?

回答	回答数	割合(%)
(a) 情報の提供	33	28.2
(b) 変化の提案	16	13.7
(c) 楽しみの場の提供	26	22.2
(d) 人脈形成の場の提供	40	34.2
(e) 上記以外	2	1.7
合計	117	100.0



- (a) 情報の提供
- (b) 変化の提案
- (c) 楽しみの場の提供
- (d) 人脈形成の場の提供
- (e) 上記以外

- ・ 本部イベントと連携してほしい(より人脈を広げるため)。
- ・ 懇親会
- ・ 国際交流@日本
- ・ グループワーク
- ・ 技術者以外との交流
- ・ 見学会
- ・ 講演会
- ・ 新技術(IT, AI)
- ・ 勉強会
- ・ クラウドファンディング
- ・ テクノツーリズム
- ・ 工場見学

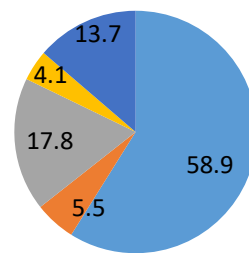
Q10. イベントの内容以外について、ご希望がありましたらお書きください。

- ・ 農業部門の人(同業種)への宣伝してほしい。
- ・ 土日開催してほしい。
- ・ 20:00～のイベントを作ってほしい。
- ・ 本部の合格者交流会と開催日時を分けていただきたいかった。
- ・ 子供同伴可のイベントを開催してほしい。
- ・ HQとランチをNetで接続する形でできないでしょうか？
- ・ 静岡(沼津)でも開催してほしい。
- ・ 年度前半、土曜に開催してほしい。
- ・ 年代を絞って、交流会など。

●技術士または技術者としての活動について

Q11. 技術士または技術者としての本業に加えて、どのような活動をなさっていますか(複数回答あり)？

回答	回答数	割合(%)
(a) 自身の向上	43	58.9
(b) 周囲の支援	4	5.5
(c) 周囲との連携	13	17.8
(d) その他の活動	3	4.1
(e) 特になし	10	13.7
合計	73	100.0



- (a) 自身の向上
- (b) 周囲の支援
- (c) 周囲との連携
- (d) その他の活動
- (e) 特になし

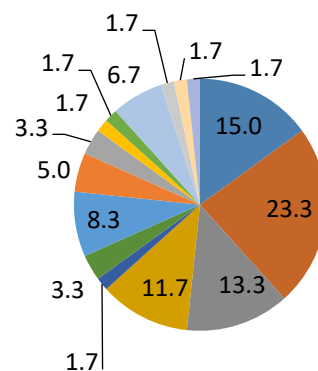
- ・ TOEIC
- ・ 他分野の本を読む
- ・ 資格取得
- ・ 青年委員会
- ・ ハッカソンイベント参加
- ・ 英語力向上/交流会
- ・ TOEIC/環境部会の幹事
- ・ セミナー参加
- ・ 技術士・QC取得

- ・ SNS
- ・ PM学会/スポーツ選手活動
- ・ 自由研究部(社内)の運営。
- ・ E-learning
- ・ 電検1種

●あなたご自身について

Q12. 技術部門は何ですか？

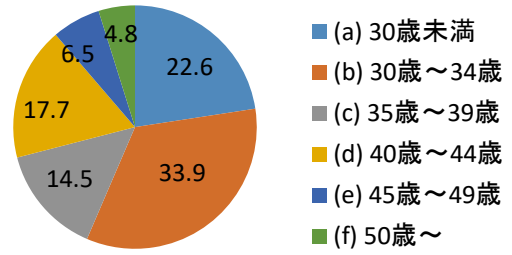
回答	回答数	割合(%)
機械	9	15.0
電気電子	14	23.3
情報工学	8	13.3
建設	7	11.7
金属	1	1.7
環境	2	3.3
経営工学	5	8.3
上下水道	3	5.0
衛生工学	2	3.3
生物工学	1	1.7
応用理学	0	0.0
化学	1	1.7
農業	4	6.7
資源工学	0	0.0
繊維	1	1.7
原子力・放射線	1	1.7
総合技術監理	1	1.7
合計	60	100.0



- 機械
- 電気電子
- 情報工学
- 建設
- 金属
- 環境
- 経営工学
- 上下水道
- 衛生工学
- 生物工学
- 応用理学
- 化学
- 農業
- 資源工学
- 繊維
- 原子力・放射線
- 総合技術監理

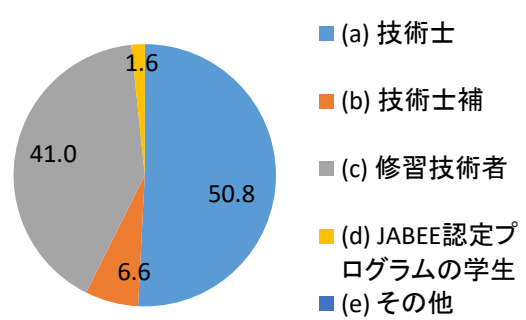
Q13. 年齢層について、該当する項目を選択してください。

回答	回答数	割合(%)
(a) 30歳未満	14	22.6
(b) 30歳～34歳	21	33.9
(c) 35歳～39歳	9	14.5
(d) 40歳～44歳	11	17.7
(e) 45歳～49歳	4	6.5
(f) 50歳～	3	4.8
合計	62	100.0



Q14. 会員層について、該当する項目を選択してください。

回答	回答数	割合(%)
(a) 技術士	31	50.8
(b) 技術士補	4	6.6
(c) 修習技術者	25	41.0
(d) JABEE認定プログラムの学生	1	1.6
(e) その他	0	0.0
合計	61.0	100.0



1. 良かった点

<p>滝口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受付に女性が多く、明るい雰囲気、良かったですと思います。田角さん、瀧川さん、丸山さんに教えてもらいつつ、また川下さん、田中ひとみさんに助けてもえ、人数も丁度良かったと思います。 ・会全体の進行や出席について、完璧なご対応だったのだと思います。他の方と同意見ですので、割愛させていただきます。萩尾さんの進行・栗野さんのコメントは適確で、個人的にもご指導賜りたいです。 ・(白井さんの) トランプ氏の親しみやすい挨拶が、田中委員長の講評で一体感が出て、更に深い意味を成し、参加者に響いたため、第 2 部でも活発な交流ができたのではないかと感じました。 ・北元さん、萩尾さん、鈴木さん、小塚さん、明山さん、守田さん、交流会の中で、国際・サッカー・理科教室など興味がある人に詳細なご説明を下され、参加者の意欲が高まったと思います。 ・下野さんがオブザーバーとして、適度な助言と、方向修正を下されたお陰で、H グループは終始楽しく、充実した議論ができました。オブザーバーがついて下さると、安心して、円滑に GW が進み、とても頼もしく感じました。
<p>田角</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受付前のスペースが広く、参加者側、スタッフ側ともに十分動き回れるよう動線がとれたこと。 ・今回初めて受付を担当される、滝口さん、川下さん、田中仁さんがそれぞれ気の利いた、とても初めてとは思えないような対応で、非常にスムーズに受付が行えたこと。ありがとうございます。 ・栗野さんの司会が絶妙で素晴らしかった。相手のことをよくとりいれた切り返しというだけでなく、味があるというかトークに実感ももっていて親しみやすい語り口だった。本当にうまい！ ・赤木さんが細やかなメール対応で参加者をもれなくフォローして下さっていたこと。 ・今回グループワークのテーマを以前のように細かく設定していなかったのも（王国、Back to...など）最初大丈夫かな？と思ったが、かえって各グループの創造力に自由度が出て、非常に面白い結果発表となった。各グループとも近年まれにみる面白さで高レベルであった。
<p>横田</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が多かったこと。ドタキャンも少なかったような気がします。 ・損保会館の会場が思っていたよりもきれいかつ広くて機能性がよくて良かったとおもいます。（8年くらい前に 2 F 会場しかみたところなかったので）。立地も交通的に便利だと思います。
<p>山本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤木さんのきめ細かいメール対応により、ドタキャンが少なかったこと。 ・飴方式が上手くいったこと。受付も事前準備のおかげでスムーズでした。 ・萩尾さんの説明は、とても誠実かつ丁寧で好印象でした。 ・CPD イベントと重なったことについて、田中委員長のフォローのコメントがあったこと。参加者の平均年齢を調べていたことにはビックリでした。 ・1 次会から 2 次会への切り替えがスムーズであったこと。1 次会の盛り上がりの雰囲気、2 次会に移行できたと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・2次会で、みほしさんから CAFEO や理科教室への参加を呼びかけて頂いたこと。興味を持って下さったかたを、きっちりと確保できたと思います。
清水	<ul style="list-style-type: none"> ・立食パーティ&居酒屋二次会 <p>色々な人と軽く、特定の人とじっくりと両方の形式で情報交換会ができてよかったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータリング <p>温かいオードブルが食べられた、片付けまでしてくれた、割り物のお酒を作ってくれる、文句無し！最高でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩尾さんと栗野さんの司会 <p>分かりやすく ユーモアもあり、聞き安くて何より緊張がほぐれました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画内容 <p>本当に時間内に終わらせる事ができるのか？というスリル、追い込まれているからこそ出てくるアイデア、駆け込みで何とかポスターを作り終えた安堵感、丁度良い緊張感の持てる時間配分でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ氏 <p>イベントの空気感がわかって、とてもよかったです。</p>
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー前にグループ員全員の名前をシートに記入すると決めたことで、初対面のグループ員同士に挨拶をしてもらう口実ができ、早期に緊張をほぐすのに一役買っていたのかな…と感じました。(遅れて来場した方が少し気まづくなってしまったかなとも感じましたが、やむを得ないですかね…。) ・進行がオンスケで円滑であったこと。よく準備がなされていたと感じました。 ・飴システムが理解されたときに、どよめきが起きたこと。説明がわかりやすかったのだと思います。 ・栗野さんの各グループの発表へのへのコメントが的確で面白かったこと。 ・成果物を A4 サイズ 1 枚にまとめ、スマホの書画カメラで映すのは、良いアイデアだったと思います。 ・ケータリング業者の方が最初から終わりまでいっしょやり、片付けも手伝っていただけましたこと。 ・机のセッティングをビル管理者の方が元に戻してくださったこと。(元に戻そうとしたら「やっておくのでそのまま良いですよ」と言ってくれました。) おかげで退出がスムーズでした。
諸田	<ul style="list-style-type: none"> ・萩尾さんの進行がとても安定していたため、参加者もスタッフもお互いに安心し、楽しむことができた。 ・栗野さんが適宜良いコメントをしていたので、イベントが円滑に進行できた。 ・白井さんがトランプをやりきった！気持ちの強さが凄い！ ・参加者の満足度が高く、楽しんでいただけた。 ・参加者の多くが懇親会、更には2次会にも参加して下さった。 ・青年委員会活動に興味を持っていただいた参加者が多かった。 ・田中委員長の講評は素晴らしいですね。来年、良い講評ができるよう頑張ります。
井口	<ul style="list-style-type: none"> ・青年委員の皆さんのチームワークがとにかく良く、皆さんが自主的に色々考えながら行動されていたのが印象的でした。また、企画自体も盛り上がっていたので、大成功ではないかと思います。本当にお疲れ様でした。
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・例会の完成度が高かったこと。各々の担当で、きめ細やかなサービスとプラスアルファの

	<p>価値を参加者に与えることができた。(受付の位置、飴の配分、トランプパフォーマンスと案内のギャップ、参加者目線での司会進行、GWでのうまい誘導、発表後のアドリブコメント、懇親会へのスムーズな移行、懇親会中のマイクパフォーマンス、他 挙げだしたらきりが無い) これはスタッフ全員が例会の目的と内容を各自の中できちんと租借し、(運営側として)アウトプットできた結果だと思います。</p> <p>・その結果、2次会の参加者が多かった。そこでスタッフと参加者が さらに親密となれた。青年に興味を持ってくれた方もいた。</p>
北元	<ul style="list-style-type: none"> ・萩尾さんの進行が安定していた。 ・栗野さんのコメントが場の雰囲気にとってもあっていた。 ・参加者申し込み者の出席率がとても高かった。 ・白井さんのトランプが素晴らしかった。最初は新規合格者が青年のイベントに慣れてなく、かつ印象が強すぎて場が凍りつきそうでしたが、それでも動じない白井さんの心にはすごいと思いました。そこから場が和んで、演説は成功でしたね! ・懇親会ではみほしさんが、活動分野ごとの呼びかけを行っていたのがよかった。おかげで、CAFEOをしっかりと宣伝することができました。
守田	<p>・グループワークをオブザーバーとして見ていると、金銭面等をはじめとするリソースに制限をかけないというのは、アイデアだしには有効だな〜と再認識しました。実情を認識しているメンバーでやったデモの時には出ないような発表が目白押しでした。実現には数年以上かかりそうですが…。もうひとつは、グループワークの時に使われていた付箋紙を片付けの際に回収できたことです。まだ精査できていませんが、何かイベントに使えるようなアイデアがあればと期待しております。</p>
明山	<ul style="list-style-type: none"> ・飴システムを採用した大掛かりなイベントであり、当日まで入念に準備していたこと。 ・事前にグループワークを青年メンバー同士で試験的に行い、当日に向けて準備していたこと。 ・初めての会場でしたが、駅から近く、部屋の広さもちょうどよかったところ。間に柱がある部屋でなくてよかったですね。あと会場費も高くなかったと聞いています。 ・栗野さんと萩尾さんの落ち着いた司会コンビでの進行。ところどころに自分の意見や突っ込みをいれていたことで、終始場が和やかになっていたところ。 ・白井さんのトランプ氏。わざわざ赤いネクタイを買ってくるなんてさすがです。 ・青年メンバーとオブザーバーの協力体制(準備・当日ともに積極的に協力していたところ)。 ・ケータリングを採用したことで、その場で引き続き交流が継続できたこと。 ・交流会での歓談中のときに、みほしさんが「(青年委員会・CAFEO参加等)〜に興味がある人はこちらへお集まりください。」とマイクで声をかけて勧誘していたところ。 ・最後まで残って片付けをしてくれるケータリング会社だったため、スムーズに会場から出ることができたこと。
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の白井さん、中川さんの夫婦漫才バージョンとは異なる味を持つよい司会コンビ 萩尾さんの落ち着いた進行。栗野さんのグループワーク後のコメントなど、場をなごます司会。お二人がそのままインタビューのデモを行うのも良かったと思います。 ・白井さんのトランプ。かぶったままでのトークは大変だったようですが、やりきるところはさすがです。途中で拍手をするなど青年のフォローがあってもよかったかもしれません。 ・事前のデモンストレーションにより、インタビューシートの工夫、最後までインタビュー

	<p>するコツなど細かい注意事項が抽出できたこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予想に反してキャンセル待ちがでるほど集まった。 <p>満席だろうと諦めていたが、二度目の同報メールで「まだ少し席に余裕」とあったので、申し込んだと言われる方がいた。以前参加した先輩から勧められた方もいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠方からの参加者も多くいたこと。 ・数年ぶりの方も含め常連の方々も安定して参加してくれた。
横島	<ul style="list-style-type: none"> ・会場について <p>秋葉原という名所から、グループワークの内容に影響させていたグループもいるほど、印象的な場所で、大人数参加でもアクセスもし易い場所でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークのテーマについて <p>一見、自由度の高すぎるテーマのように思えますが、参加者が、技術士と修習技術者という事を考慮にいれて、目標設定をすると、面白い程議論が進んでいく様に感嘆しました。テーマ設定の奥深さを感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備段階について <p>事前にデモンストレーションをやって見本となる資料を見せていたことが、青年委員側に内容の展望が示せて、オブザーバーのスタッフも安心できた点ではなかったのではないのでしょうか。受付の場所と案内の仕方を、土壇場の判断で変えられていた事には、素晴らしいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画の構成について <p>飴システムってなんなんだと思っていましたが、今回飴システムの完成型を見た気がしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータリングについて <p>前回の簡易的な仕様と比較してしまうと、冷えたビールの常時提供は、飲兵衛にとっては有りがたいことこの上なかったです。参加人数が多い事は素晴らしいことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者連絡について <p>青年委員参加初回到赤木さんの優しさに触れられて私は幸せ者です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ政権について、 <p>企画の内容の良さと相まって、アバンギャルドな出だしが良い余韻となって、終盤皆さんの心に沁み渡ったかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中さんの講評について <p>田中さんはいつもインターナショナルな構成の講評をされていて、リーガルハイのサウジアラビアの件を想起させ、感動しています。</p>
丸山	<ul style="list-style-type: none"> ・駅から近く、飲食も可の会場。周辺に飲食店も多く、お昼のお店も簡単に見つけられました。 ・アメシステム、ドタキャン対策も含めて、全体の流れがとてもスムーズだったこと ・最初にオブザーバーの方が各テーブルで参加者を待っていたので、受け入れムードが出来ていたと思います。 ・成果品をA4にしたこと。(模造紙より作業がしやすかったのではないかと思います。) ・成果品をiphoneで写し、発表したこと。(こんなことができるんだという発見がありました。)
田中仁	<p>[全体を通して]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の立地、広さ、机配置等、参加人数に対して非常に適切であったと思います。

- ・受付、進行も委員の連携が取れており、スムーズに対応できました。
- ・インタビュー、グループワークもやり方の説明が分かりやすかったです、グループワークのテーマは専門性の違いに関係なく誰でも考えやすいテーマであったため、議論が盛り上がったと思います。
- ・交流会ではお店の方がすべて用意してくださったので、参加者間で気遣う必要がなく会話を楽しめたと感じます。
- ・要所所で青年委員の宣伝も出来ました。

[事前準備（スケジュール確認）] 9:00~12:00

- ・誰が、いつ、どのような作業をするのかを明確に説明いただいて分かりやすかったです。
- ・抜け漏れがないか、都度確認が出来ていました。
- ・凄い！と感じたこと
- 萩尾さん：イメージがつきやすいように ppt を使って丁寧にご説明いただきました
- 田中さん：適宜時計を見るしぐさをとる事で、周りも時間を気にしてパーフェクトなタイムマネジメントができました。

皆さんに「理解できてますか？」と各要所で確認してくださることで、質問がしやすかったです。

懇親会の料理はすべて一箇所に配置する等、迷ったものは即時に判断していただきました。

- 守田さん：第一部での着席について、「自分の理解確認として・・・」と、オブザーバーの動きを具体的に総括していただき、理解度が深まりました。
- 白井さん：「誘導は1人だと寂しいから・・・」等の言動で場を和ませていただきました。

会議はピリピリした空気になりがち

なので、和みはとても大切だと思っています。

[第一部] 13:30~18:00

●各担当配置

・飴システムはワクワク感があり、参加者の会話のネタにもなり、とても良いシステムでした。

- ・受付が部屋の中だったおかげで、参加者の誘導がスムーズにできたと思います。

●インタビュータイム

・萩尾さんと栗野さんにデモンストレーションをしていただくことで、インタビューのやり方のイメージがつきやすかったです。

・参加者としては7人とインタビューし合うのは中々体力がいりました。7人、2分ずつが限界・・・という印象です。

●グループワーク

・専門性が異なっても全員で考えられるテーマでした。発表が A4 紙であったことも資料作成に労力がいらず良かったです。

・オブザーバーと一緒に座っていただいたことで、疑問点等すぐに確認できて円滑にグループワークをすることが出来ました。

●素敵だったこと

・萩尾さん：説明がとても分かりやすく、萩尾さんのパッションで参加者のテンションがどんどん上がりました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・栗野さん：萩尾さんとは正反対のクールな司会で、萩尾さんとのコンビネーションが抜群でした。グループワーク発表へのコメント力がハンパなかったです。 ・明山さん：写真撮影がものすごく絶妙なタイミングで、しかも目立たないように、皆さんの自然な姿を撮られていました。 ・白井さん：トランプが本当に面白かったです。白井さんのトランプを見ただけで、今日来てよかったと思えました。 ・田中さん：総評に青年委員の宣伝もしつつ、もっとお話が聞きたい！と思わせるような、まさに「魅せる・聞かせるコメント」でした。 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年の活動紹介を最初と最後に2回行うことで、活動について強く印象に残りました。 <p>[第二部] 18:00~20:00</p> <p>●ケータリングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店の方がすべて用意してくださったので、ビールをつぎ合う等をしなくてよく、ストレスフリーでした。 <p>●各青年活動に興味がある方への声掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会中に「青年活動のXXに興味がある方はこちらへ〜！」とアナウンスしてくださることで、青年委員の詳細を聞きやすかったです（人が多くて自分から探して聞きに行くのは難しかったので、呼んでいただけて助かりました）。
田中雅	<ul style="list-style-type: none"> ・赤木さんのメール神対応。奇跡の定員64名からのスタート！ ・受付の場所を土壇場で変更したこと。部屋の外だとやはり狭すぎてダメだったと思います。 ・受付はスムーズにできましたね。女性陣の連携に感嘆です。 ・田中ひとみさんが餡システムを完ぺきに継承しこなしてくれました。なかなか出ていけない餡は他の餡と同数程度に見えるよう数個をいったんはけさせる、すべて出払った餡の札は外すなど、私の想定する以上の改善も加えてくれました。次回以降、餡システムを使う場合はひとみさんからよく説明を受けてください。 ・白井さんのトランプチャレンジ。すごくウケている人もいましたが、ものすごく白い目で見てる人もたくさんいました(汗)本当に、いま思い出してもゾクゾクッとしますが、万人受けは目指さない、共感してくれる人にだけには最高のエンターテイメントを提供する、今回のようなチャレンジは大好きです。面白い恰好をしているのに面白いことを一つも言わないところもシュールで良かったです(ほめてます！) ・萩尾さんの説明の内容は完ぺきな上、伝え方や話し方の抑揚など私にはマネのできないレベルの高さでした。事前にデモンストレーションをやっていたのも良かったのだと思います。3年ぶりに参加者から感嘆の声が漏れるのを聞けました。 ・栗野さんの味を生かした司会が素晴らしかったです。栗野さんらしさが開花しており、栗野さんの成長を垣間見ることができ感動しました。 ・萩尾さんと栗野さんのインタビュータイムのデモも良かったです。これまでの小野寺さんのデモと比較すると見劣りしてしまうのではないかと心配していたのですが、おふたりの味がよく出ていてとても良かったです。 ・ビラでの発表スタイルは良かったですね。やはり、横で作るのではなくて、縦で作っておいた方が、スライドさせて最後にオチが出させるので面白いかと思います。また、メンバー

	<p>募集のビラでなくてよかったと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にいつものようなせわしなさが無かったですね。ワーキングの内容が参加者にとってちょうどいい負荷になっていたのだと思います。スパルタの私にはできない塩梅です。 ・ブログの更新頻度も良かったです。ブログを読んでいたという参加者もたくさんいました。 ・CPD 委員会の合格者祝賀会と同日になったことは参加者の平均年齢を下げることになり、結果的にはよかったと思います。 ・全体的に来期残るメンバーの活躍が目覚ましかったかと思います。来期は安泰ですね。
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の青年の紹介から一貫したテーマで行ったことで、ブレが少なかったと思います。 ・アウトプットを一般向けの広告としたところ。結果的にただ技術士としてやりたいことだけではなく 自然に一般の方のニーズも考えることができたのではないかと思います。そして、内容を A4 という限られた領域で表現しなければいけなかったので、スマートに感じました。 ・会議室をパーティションで分けて、一部のイベントが行われている最中にケータリングの準備をしていたため、2部の懇親会までのつながりが間延びせず、スムーズに行われていたことはよかったと思います。 ・栗野さんの司会、特に各 G の発表後のコメントの言葉がすばらしかったです。 ・萩尾さんの熱のこもった説明は、参加者のテンションを上げたと思います。
萩尾	<ul style="list-style-type: none"> ・当日ドタキャンが少なかったこと！赤木さんありがとうございました！メール担当は必ず専任にした方がよいと思います。直前は特に負荷が高くなります。 ・GW のデモンストレーションをやったお陰で、完成度が高まったこと。みほしさん、助言ありがとうございました！ ・予想以上にエレベーターホールが狭かったが、臨機応変に受付場所を変更して頂いたこと。
下野	<ul style="list-style-type: none"> ・ドタキャンが少なかった。 ・グループワークが盛り上がった。 ・51歳の参加者もすごく楽しかったと言っていた。
太田望	<ul style="list-style-type: none"> ・栗野さんの司会は、進行もよし、各グループの発表後のコメントも良しで、素晴らしいです。 ・盛り沢山の内容であるものの、適度に休憩時間も設けられて、良い配分のタイムスケジュールでした。 ・各グループの成果物が魅力的でした。事前に青年メンバーでグループワークをやって、イメージや改善点を明確にできたことが良かったです。 ・会場の立地が駅から近く、飲食可であることが良かったです。
太田道	<ul style="list-style-type: none"> ・栗野さんの司会進行が、キレがあってよかった。 ・萩尾さんの説明が、元参加者目線で語られていて、納得感が高かったように思う。 ・赤木さんの神対応のおかげで、ドタキャンが極小だった。
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・損保会館について <p>会場の立地、広さ、備品、貸与時間とケータリング受け入れ可、そして予算文句なしに良い会場でした。萩尾さんと多くの会場を下見したかいがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークのテーマについて

	<p>初参加者が多い合格者交流会で、熟練参加者が多い全国大会のようにイベント企画を要求するハードルの高いグループワークのテーマでしたが、参加者のみなさんがよく取り組んでくれました。萩尾さんのテーマ設定がよかったんだと思います。個々の議論は見られませんでした。テーブルについてオブザーバーのスタッフが頑張ってくれたんだと思います！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備段階について <p>昨年より、とてもスマートに準備が進んだ印象があります。みちひろさんがプロマネ的にタスクを明示していたことや、山本さんが不十分な点をよく指摘してくれたことが大きかったと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画の構成について <p>あらためて田中さんの飴システムは本イベントに最適なものだと思います。毎年恒例の伝統形式ということで、よろしくお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータリングについて <p>予算のわりに、かなり豪華なケータリングを呼ぶことができました。5人のスタッフが張り付いてくれて、テーブルクロス、乾杯用グラス、陶器のお皿で温かいお料理。ゴミの片付けや撤収の作業までしていただきました。船を保有していて、東京湾クルージングプラン各種も取り扱いがあるとのことなので、今後、内部イベント案として検討したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者連絡について <p>赤木さんの細やかな事前連絡のおかげで当日ドタキャンを減らせたのだらうと思います。大量のやりとりで調整された名簿と名札を前日まで作り込んでいただきまして感謝です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中さんの講評 <p>fast alone, far together. いい言葉ですね。「技術士仲間をつくろう！」というイベントテーマとあいまって、参加者に響いてくれていることを期待します。</p>
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・萩尾さんが常に冷静に全体を把握していたこと。 ・栗野さんの品のある司会が素敵でした。要所要所で引き締めてくださったおかげで、楽しく過ごす中にも程よい緊張感があつたかと思います。 ・滝口さん、田中ひとみさん、川下さんが受付&飴担当に入ってくださいましたおかげで、スムーズに案内ができたこと。 ・ケータリング会社のサービスがよかったです。白井さん、格安な会社を見つけましてありがとうございます。 ・あの空気感の中、トランプをやり遂げた白井さんの精神力は本当に素晴らしいと思いました。何かしらのフォローをメンバーが入れていれば・・・とも思いました。ごめんなさい。 ・赤木さんのメール対応が素晴らしかったおかげで沢山の人がお越しただけなこと。キャンセル待ちの方などへの対応も大変勉強になりました。

2. 改善したい点

滝口	<ul style="list-style-type: none"> ・若干狭そうにしている参加者が見られたので、(GWには声が届きやすく丁度良い机のサイズと感じましたが、) ・グループ間の隙間はもう少し広くても良いかと思いました。 ・次回のイベントの申込方法が解らず困っている人がいたので、申込み方法まで説明、もしくはその場で申込みできると親切かもしれません。
田角	<ul style="list-style-type: none"> ・受付看板(「受付」と印刷した紙など)がほしかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・投票のルール設定をきちんと行うべきであった。自分のグループには投票しないようにするのがよい。 ・会場に自販機がないので、飲み物を探しにうろろする人がいた。事前に確認して案内をしてもよかったかとおもった。
横田	<ul style="list-style-type: none"> ・投票は自分のグループへの投票はなしのルールのほうがよいと思った。
山本	<ul style="list-style-type: none"> ・定員オーバーしてからのキャンセル待ちで、すこしドタバタしたこと。 結果的に全員受け入れ出来て良かったですが、もう少しシミュレーションしておくべきでした。
清水	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート記入時間 <p>折角アンケートをとるなら、もう少し時間があつた方が今後につなげられるかと思いました。(キンキンのビールも早く飲みたかったけれど)</p>
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・強いて挙げれば、会場が少し狭かったと感じました。
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、地方からの参加者が多かった印象がある。事前アナウンスは全国に発信しても良いかもしれない。
守田	<p>ハンドマイクが、有線と無線式の2つ用意されてましたが司会側に無線式、発表側に有線式だったかと記憶していますが、配置は逆の方が自己紹介する際に、便利かなと思った次第です。あとは自分事ですが、司会のトークに集中して、会場の点灯・消灯をよく忘れてました。以後、留意します。</p>
明山	<ul style="list-style-type: none"> ・一か月前までにはイベント内容をほぼ固めるくらいにしておく、準備に余裕を持てたと思います。(とはいっても大掛かりなイベントなので大変だと思いますが。)
赤木	<ul style="list-style-type: none"> ・開始当初スピーカーシステムが片側の部屋だけ有効になっていた。途中で変更したが、事前に確認すべきでした。 ・参加者への問いかけで「第二部を欠席される場合は連絡をください」と数回呼びかけたが、回答はなく、当日第二部不参加の方が多くいた。「出欠の連絡をください」とするべきでした。瀧川さん、白井さん申し訳ありませんでした・・・。
横畠	<ul style="list-style-type: none"> ・会場入ってすぐに見えるスクリーン <p>萩尾さんのエクセルによる最初の移り変わる画面によってのご案内は、本当に素晴らしかったです。ただあれだけ大人数な会場ならそこにBGMがあつても良かったのではないかと感じました。会場入ってすぐのリラックス効果もあり、特段名刺交換の邪魔にはなることはないでしょう。トランプ政権時のアメリカBGMがより自然に、皆さんの耳に入って、受け入れ態勢を作れていたのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクを持って話す人とスタンドで話す人を統一するか、マイクマンを1人置いてもおかしくはない大規模な会場だったと思います。 ・参加してみて、自班は技術士と修習技術者のバランスがとれ、グループ内の調和が保たれたまま、適正な役割が分担されていたので、スムーズかつ闊達な議論を行うことができましたが、独裁的な裁量を行っているような人がいる班が見受けられました。自由度が高いグループワークでは、こういった方への配慮も必要なのではないかと感じられました。難しい事です。
田中仁	<ul style="list-style-type: none"> ・以下情報は今後も共有しておくとうれしいと感じました。 - 会場：間違えやすい入口があること、17時以降は裏口からしか出入りできないこと、同階に同時刻に他の団体の打ち合わせがあること - 参加者：第一部の途中から参加、途中抜け ・12:30頃から参加者が来られたので、今後は何名かの委員の昼食は12:30を目安に済ませ

	<p>た方がよいかもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飴配布は当初 2 名の予定でしたが、実際は配布 1 名、誘導 2～3 名で対応いただき、ちょうど良かったです。人気のある飴を取る傾向にあるので、無い飴は、あたかも人気があるようにいくつか隠しておくのがいいです。
田中雅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冒頭の事例紹介が後ろの方では聞こえにくかった。萩尾さんと栗野さんの声は聞こえていたので、単純に発表者の声が小さかった？それともマイクによって音響に差分があったか？ ・ ドタキャン対応に井口さんを入れ損ねた。すみません。 ・ 同報メールを全国に打っていいかも。いつもは関東にしか打っていませんが、全国から参加者があるので、4月だけは全国に打ってもいいかもしれません。
鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・ GW の投票は、わたしは直接聞いてまわったので、自分の属した G 以外にも投票しやすくするためには、紙に書いてもらって箱に入れてもらうような他人にどこに投票したかわからないように集めたほうがよかったのかもしれません。ちょっと手間ですが。
萩尾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術士会 HP の行事予定に載せる担当名は主担当ではなくメール担当の名前が望ましいと思います。(担当と書いてある人と違う人からメールが来ると混乱するのではないかと思います) ・ 最初、マイクが後ろに聞こえていなかったこと。(しっかりと事前確認をすべきでした)
太田道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打ち合わせ回数など、これまでの準備より省力化だった。しっかり準備できていたものの、一部の担当に負担がかかっていたと思います。 ・ 細かい詰めを運営委員会で行った。同じネタなのに、毎回似たような話をしているので、何とかしたいなと思いました
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランプのカブリモノについて <p>やっている方は面白かったのですが、視界が狭いのと声がこもるので、やりやすい出し物でもないかなと思いました。息が顔にかかって暑いし、しゃべる度にカブリモノが震えていたとか(笑)事前の原稿と少し違うことしゃべりましたが、共有しておけばよかったです。オバマに対してスティーブ・ジョブズが言った「三万人の優秀なエンジニアが必要。天才でなくていいし、博士である必要はない。」という話。川村修習委員長のマネでした。もっと笑えるネタを入れてしゃべる方がよかったですらうと。アイスブレイクとしての役割を果たせていたか、反省しています。</p>
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方から何名かお越しいただきました。今後も増えるといいですね！地域本部との連携等今後フォローしていきましょう～！

3. その他なんでも！

滝口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女比と、他分野との交流に課題を感じている人が多いと感じた。次いで自己研鑽、技術士の認知度向上・・・など。→技術士を取る目的に、自己研鑽や専門性の高さを確認するという目的の方が多いため、自分の知識を蓄えるための活動を目的にしたい人が多い？と感じました。一方で、既に技術士になって経験を積んでいる人は更に、部門横断的な交流による他分野への理解、技術士の認知度、男女比を気にかけている？ように感じました。 ・ 興味のある活動は国際交流、自己研鑽目的の活動、理科教室が多かった。 ・ になりたい技術士像としては、他部門や専門の知識に富んだ技術者、信頼される技術者、良い製品で社会に貢献できる技術者など。 ・ 自己研鑽のための参加と言っていた人も、GW を通して社会貢献を視野に入れた思考ヘシ
----	---

	<p>フトしていくのを感じた。→最初は自己研鑽、自分の知識・専門性向上が課題と捉え、社会貢献まで考慮する方は少なかったが、GWで技術士のあり方について意見交換する内に、社会貢献まで考慮した意見に変わったと感じました。</p> <p>他社、他部門、経験の異なる皆さんと関わることの大切さを実感しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグサイトの展示会出張がてら来てくれている人がいた→遠方からでも出張ついでに来られると（展示会と合わせれば）参加しやすいのかもしれない。 ・個人的には、(初対面の方 22名+以前から交流のある方達) 参加者の約 50%の方と交流できました。当初の技術士仲間をつくる目的も果たせ、GWも楽しめ、今後の活動につながる成果が多く得られました。4月例会のご担当をはじめ、スタッフ皆さまのお陰で、より遠く（高み）を目指すことができる仲間を得られたと思います。スタッフ兼参加者として、参加させて下さり、ありがとうございました。
田角	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に4月担当の皆さま素晴らしいイベントをありがとうございました！特に、入ってすぐこのような大役を全うされたリーダーの萩尾さん本当にお仕事もお忙しい中お疲れ様でした！どうもありがとうございました。
横田	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりも理科教室や国際活動への参加希望者が多かった気がします。青年委員の紹介・活動アピールの効果は十分だったのではないかと思います。
山本	<ul style="list-style-type: none"> ・募集開始してから、最後のキャンセル待ちまでの人数増減を時系列で整理しておく、今後の募集の際の参考になるかと思います。
清水	<ul style="list-style-type: none"> ・凄く楽しいイベントでした！準備、運営、片付けありがとうございました。 ・伝える技術の大切さを見に染みしました。自分に不足している力の洗い出しにもなりました。今後の成長につなげて行きます。
小塚	<ul style="list-style-type: none"> ・私がオブザーバーとして入った班は、投票の際に1人を除き、全員他の班に投票していました。他のグループへは投票しにくい…という雰囲気はありませんでした。 ・私が居たテーブルでは、バインダーに資料を挟んで席に置いておく際に、インタビューシートをわざとはみ出させ、これを見つけやすくしておいたので、名前を書いてもらうことをスムーズに行ってもらえたと思います。 ・(4月特別例会から話が逸れてしまいますが) 懇親会で参加者と会話をしながら、統括青年の活動コンセプトである「技術士仲間を作ろう！」は良いものだなと改めて感じました。中部から来たばかりのときは、あまり技術士っぽくないなと感じていましたが、(私、まだ技術士ではないので、どこの口が言えたものか…ですが(笑)) 色々な人が集まると、新しい刺激が増えますし、それが今まで思い付かなかったことができることにつながったりもしていると思いますので、これからも大事にする方が良いと思います。2月の修習技術者ガイダンスから4月特別例会までの呼び込みの一連の流れがうまくできているなあ…と思いますし、東京という技術士が多い立地を上手く活かしているとも思います。
諸田	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間にも関わらず、完成度および満足度が高いイベントになりましたね。4月幹事の皆さまお疲れさまでした。 ・私は欠員要員として3回目の参加でしたが、何度参加しても楽しいですね。
井口	<ul style="list-style-type: none"> ・来期以降、私も青年委員にお世話になる予定です。青年委員のクオリティを落とさない様、頑張りたいと思います。
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事の皆さん、お疲れ様でした。妥協しない準備が、このような素晴らしい例会の実現につながったのだと思います。 ・特別例会もそろそろ違うスタイルを考えても良いかも。

北元	・4月幹事の皆様、大変お疲れ様でした！！
守田	・萩尾さんはじめ、ご担当の方々お疲れ様でした。イベント企画も刺激になりますが、グループワークにも参加したいなーと思ったオブザーバー体験でした。つい自分も議論に加わりたくなりますね。
明山	・このイベントは参加者が大人数なので、いつもより多めの各協力担当の確保が必要で、準備・当日ともに積極的な対応が必要不可欠であることを改めて感じました。 ・主担当の萩尾さん、企画とりまとめお疲れ様でした！ ・ケータリング会社は低価格クルージング等の面白い事業もしているようなので、内部イベント等で活用できないか検討できそうですね。
赤木	・そろそろ新バージョンの模索時期でしょうか。ハードル高いですが
横畠	・サッカーへの参加が楽しみになりました。
丸山	・4月特別例会の担当の皆様さま、お疲れ様でした。1部で帰ってしまう人たちも、楽しかったですね、参加者同士で話ながらエレベーターから降りてきていました。
田中雅	・田中式交流会は完全に昇華し、成仏できたかと思います。ありがとうございます。まじで感動しました。 ・変態が集まるHグループ(お誕生日席のスクリーンに背を向ける側の人が集まるグループ)はやはり強いですね。まさにHは変態のHです。次回以降もH班の発表を最後にした方がよいかと思います。間違ってもHから発表させないように！ ・「すばらしいイベントを提供してくれてありがとうございます」的なことを言ってくれる参加者がたくさんいました。嬉しいですね。 ・過去に参加した方から勧められて参加したという方もたくさんいました。めちゃめちゃ嬉しいですね。 ・青年委員会に入りたいと言ってくれていた参加者が10人以上います。どうしよう。。嬉しい悲鳴ですが。。(入ってやってもいい的な上から目線な人もいました。。照れ隠しかも！笑) ・伊藤さん、みちひろさん、合格者祝賀会側にご参加くださり有難うございました！ ・4月担当のみなさん、本当にお疲れ様でした！大変だったと思いますがやってよかったでしょう？！今回はやりきった感があるので特にそう思えるかと思います。ありがとうございます。
鈴木	・とてもスムーズに進められていたように感じました。段取り8割とありますが、しっかりと準備が行われていたのだと思います。担当のみなさま、大変お疲れさまでした。
萩尾	・今回が初めての例会で右も左も分からず、手探りでした。情報共有が上手くできず、やきもきさせてしまったこともあったと思いますが、みなさまの温かいご支援によりなんとかやりきることが出来ました。 やった、終わったー！！大変でしたが、本当に楽しかったです！ ・GWの集計結果ですが、大部分の方が自分の班に投票していました。(それはそうですね～) 結果がばらつかなかったのはよく考えれば当たり前でしたね。 ・GWに参加していないので、結局会場のニーズをつかみ損ねてしまいました。 青年に参加される方が何に興味があるのか知れるいい機会だったのですが、残念です。
下野	・飴方式は良いシステムだと思う。 ・準備された方お疲れ様でした。
太田道	・入り口前で案内板持って立っている時に、白井さんの立ち姿がシャキッとしていてカッコ

	<p>よかったです。「白井さん、出番があるんだから早々に上がって下さい」と言ったところ、「ここで青いネクタイを参加者に印象付けて、後からトランプの赤いネクタイ。違いで驚かせようと思って」とのお返事。芸人魂を感じました。みなさんお疲れさまでした。</p>
白井	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ増員について <p>今回、理解教室スタッフへの立候補が複数あったと伺いました。春の仲間作りシーズンの収穫として、大事にしたいですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネクタイの色について <p>二次会を取りに行ったりケータリング受け入れしたり、外に出ることが多くてイベント自体をずっとみられなかったのが、参加者の反応がイマイチわからなかったのです。受付時、外の誘導で青いネクタイだったのに、カブリモノで登場したのは赤いネクタイだったのを気付いてもらえたかどうか？</p>
瀧川	<ul style="list-style-type: none"> ・田中さん、みちひろさん、白井さん、山本さんを中心とした歴代担当の積極的なフォローもあり、今回このシステムの完成版が出来上がったと思えました。皆様、本当にお疲れ様でした。

国際活動報告書

国際グループ活動報告_2016年10月運営委員会（案）

報告日：2016年10月22日

作成：北元 芳明

1. YESとの意見交換会

マレーシア、YES (Young Engineer Section) の Puven が新婚旅行も兼ねて来日したため、YEC との意見交換会を実施した。本会の内容を報告する。

2. 参加者

YES : Puven

青年委員 : 北元

委員補佐 : 明山、栗野

修習技術者 : 川崎 (CAFEO 参加者)

学生 : 江藤 (CAFEO 参加者)

※元青年委員の安カ川さんは急用により欠席

3. 日時

2016年10月7日（金） 19:00～

汐留 ソフトバンク本社 会議室 D03

4. スケジュール

19:30～ Meeting Start

19:35～ Presentation (Self-Introduction, Japanese culture)

20:00～ Break

20:15～ Welcome Party

5. 成果と所感

開催決定から資料の準備まで時間がない中、資料を作成して全員無事発表できたことはよかった。テーマを自由としたので、業務紹介や日本の文化全般、日本酒、相撲、金沢などの資料が揃い、幅広く日本を紹介できた。なにより、Puven 氏が興味深く聞いていたので、満足してもらえたのではないかと思う。

また別日に新旧青年メンバーとの懇親会、お土産交換、観光地アテンドなどを実施することで二国間の関係を強固なものにすることができた。

5. 写真

(写真は後日添付)

6. 川口湖&松島観光

観光名所を巡ることで日本の文化を知って頂き、交流を深めることを目的とする。

7. 参加者

YES : PUVEN、ご両親、ご友人
委員補佐 : 明山(10/9のみ)
青年(オブザーバ) : 萩尾
元青年委員 : 安カ川

8. スケジュール(10/8 河口湖)

【行き】

10 : 47 DEPARTING SHINJYUKU
↓ JREXPRESS NARITA EXPRESS (NUMBER 8)
12 : 43 ARRIVING AT KAWAGUCHI-KO

【帰り】

16 : 29 DEPARTING KAWAGUCHI-KO
↓ FUJI EXPRESS
17 : 29 ARRIVING AT OOTUKI
17 : 40 DEPARTING OOTIKI
↓ JR HOLIDAY RAPID YAMANASI
18 : 55 ARRIVING AT SHINJYUKU

9. スケジュール(10/9 松島)

【行き】

11 : 10 DEPARTING OOMIYA
↓ JR SHINKANSEN HAYABUSA (NUMBER 15)
12 : 16 ARRIVING AT SENDAI
12 : 52 DEPARTING SENDAI
↓ JR SENGOKUSEN
13 : 31 ARRIVING AT MATUSHIMAKAIGAN

【帰り】

16 : 44 DEPARTING MATUSHIMAKAIGAN
↓ JR SENGOKUSEN
17 : 21 ARRIVING IN SENDAI
18 : 57 DEPARTING SENDAI
↓ JR SHINKANSEN HAYABUSA (NUMBER 30)
20 : 06 ARRIVING IN OOMIYA

10. 詳細

- 日本人は2日間は週末パスを使用して移動。
- PUVENさん一行はJAPAN RAIL PASSを使用。
- 10/8のお昼はほうとうを食べた。美味しいと言って頂けた。出発時は雨が降っていたが、河口湖は晴れており、富士山を見ることができた。河口湖を気に入って頂いたようで、予定時間を過ぎてもまだご当地の食事を行いながら観光したいとのことだったため、予約していた特急は見送った。
- 10/8は18時30分から新宿で歓迎会の予定であったが、観光が長引いたため遅れてしまった。
- 10/9の松島は遊覧船に乗車。要望があったかきを食べた。当日は晴れてはいたが、気温が低かったため、予定よりも早く仙台に戻り、食事をした。牛タン、さしみ、ラーメンが食べたいと要望があったため、居酒屋を選択した。

11. 所感

私は英語が初心者レベルであったが、十分に楽しむことが出来た。逆に話しかけて頂くなど、気を使わせてしまった。その土地について説明できるよう、事前に情報を仕入れておくべきだと感じた。観光先の特産品を食べることができ、満足して頂けたと思う。日本の文化を知って頂くことができ、交流を深めることができた。

国際グループ活動報告

報告日：2017年4月22日

国際グループ(北元、田角、萩尾、高橋、明山)

作成：明山

1. 目的

青年技術士会の2国間交流として、ブルネイの技術者 Leong さんが来日した。Leong さんはブルネイ青年委員会の Chairman であり、過去の CAFEO 参加時から青年委員会メンバーと交流がある。今回は、元国際 G リーダーの安カ川氏を通じて、来日する旨ご連絡いただいた。青年メンバーの国際意識向上とブルネイ技術者との関係強化のため、観光案内・懇親会を実施した。

2. 活動概要

(1)参加者

ブルネイ技術者：Leong さん(夫妻で来日)

青年委員：北元、田角、萩尾

委員補佐：高橋、明山

元青年委員：安カ川、松田

オブザーバー：川下

(2)日時

2017年4月1日(土)13:00～22:00

(3)スケジュール

13:00～13:30 新橋駅集合～移動

13:30～15:00 お台場 日本科学未来館

15:00～17:00 移動～芝公園・東京タワー展望台

17:30～22:00 懇親会（銀座と新橋の居酒屋2件）

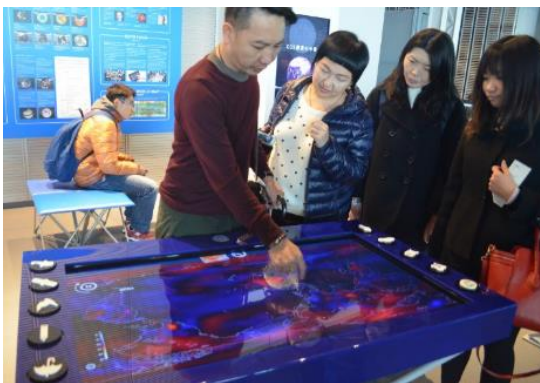
(4)その他

Leong さんへのお土産・・・のれん、東京バナナ

3. 成果と所感

Leong さん夫妻の来日情報は約1か月前から得ていたため、観光案内の工程検討・お土産の選定検討・調達等の役割分担と準備期間を十分確保することができ、当日は Leong さんに観光を十分楽しんでいただくことができた。また交流も十分深めることができ、2国間の技術者同士の関係をより強固なものにすることができた。今後も引き続き、海外技術者との交流の場を大切にしていきたい。

4. 活動写真



以上

サッカー&テクノ 活動報告書

行事名	第12回 日韓親善サッカー大会(第45回 日韓技術士国際会議)
日時	日韓親善サッカー:2016年10月2日(日)15:00~17:00 (日韓技術士国際会議:2016年10月2日(日)~4日(火))
場所	日韓親善サッカー:河内総合運動公園(栃木県・宇都宮) 日韓技術士国際会議:きぬ川ホテル三日月(栃木県・日光)
講師、発表者	テーマ:伝統的技術と最新技術の融合と発展
担当者: (○印:リーダー)	○中村聡、白井一光、高橋義也(記)
参加者数	19名

1. 背景・目的

日韓技術士の親善の一環として開催されている日韓親善サッカー大会でのサポートと本会議へ参加し、韓国若手技術士との交流を深めると共に、技術士としての知識の向上を目的として参加した。

2. 例会内容

2. 1. 日韓技術士親善サッカー大会(15:00~21:30)

- ・親善試合
- ・前夜祭

2. 2. 本会議(9:00~21:00)

- ・開会式
- ・基調講演
- ・分科会
- ・晩餐会

3. 成果と所感

今年は日本での開催であったため親善試合のウォーミングアップ時に大会準備を補助していただいた高校生とプレマッチを行なった。実際、このプレマッチでは高校生のスピードと連携にはついて行けなかった。このような状態で韓国を相手に戦えるのか不安もあった。だが、実際の試合時は、日本が高校生のスピードに慣れていたことと韓国が移動直後ということもあり、前半は日本ペースで試合を運ぶことができた。だが、前半終了近くになると韓国もだいぶ感覚を取り戻し、日本と互角、もしくは日本が若干押され気味であった。

後半は、フレンドリーマッチ後で、韓国のメインの選手もフレンドリーマッチに参加していた。日本は参加者数も多かったのでメインの選手を休息されていることができた。韓国はフレンドリーマッチに参加した疲れも見せずに、後半も精力的に日本を攻め続けてきたが、日本のセンターバック中心に韓国のロングボールをことごとく弾き返した。我慢の時間帯に失点しなかったのが功を奏し、日本のカウンターで得点することができた。それも流れの中での得点ということもあり、日頃の成果が現れたものだと思信した。

試合終了を迎え3得点、しかも無失点と韓国相手に完全勝利することができ、一年間の活動は実を結んだ瞬間であった。やはり、勝利することで今まで活動していた仲間とこの喜びの瞬間をわかりあうことが好きだと感じ、サッカーの交流がこれからも続くことが大切であると思った。

4. 今後の展開

今年は日本の開催ということもあり、日本からは多くの参加者があり、その結果として日本の勝利につながったとおもうが、若手の参加者が少なく高齢化していることは否めない。これは韓国も同様の課題を抱えているようである。若手の参加者を増やすためには、定期的に練習会を開催し、参加の垣根を低くしていくしかないと感じている。

また、前夜祭、晩餐会、晩餐会後の交流と韓国との交流との楽しさを伝えることで、新たな参加者がふえるのではないかと考えている。

今後の活動としては、12月に日韓サッカーお疲れ会、来年は10/26(木)～28(土)に釜山で開催予定である。それに向けての活動はすでに始まっている。

5. 写真



以上

行事名	日韓サッカーお疲れ練習会
日時	■フットサル:2016年12月10日(土) 15:00~17:00 ■交流会:2016年12月10日(土) 19:00~21:00 ■テクノ:2016年12月11日(日) 10:00~12:00
場所	■フットサルポイント 朝霞台店 ■ちばチャン 池袋本店 ■すこやかプラザ 会議室1
講師、発表者	■「釜山の紹介とハングルカナタラ」(発表者:高橋)
担当者: (○印:リーダー)	○中村、白井、鈴木、高橋(記)
参加者数	■フットサル:25名(統括本部15名:、北陸本部:10名) ■交流会:23名(統括本部11名:、北陸本部:12名) ■テクノ:13名(統括本部:4名、北陸本部9名)

1. 背景・目的

日韓技術士国際会議の親善の一環として開催されている日韓親善サッカーでの勝利を目指して立ち上げられた「フットサル愛好会(2007年12月)」では、各地方本部とサッカーを通じた交流の輪を広げ、現在まで継続した活動を行っている。今回は、日光で開催された日韓親善サッカー大会のお疲れ会練習会として、北陸本部とのサッカー合同練習会を企画した。

2. 例会内容

■フットサル

・15:00~17:30 統括本部2チーム、北陸本部2チームで総当たりのリーグ戦を実施

1位 Dチーム(統括本部) 3勝0敗0分 勝点9 得失点差7

2位 Bチーム(統括本部) 1勝1敗1分 勝点4 得失点差4

3位 Aチーム(北陸本部) 0勝1敗2分 勝点2 得失点差-3

4位 Cチーム(北陸本部) 0勝2敗1分 勝点1 得失点差-8

■交流会

・19:00~21:00 日韓サッカー参加者、北陸本部の参加者との交流会を実施

■テクノ

・10:00~12:00 「釜山の紹介とハングルカナタラ」を開催

1部 来年の日韓サッカー開催場所の釜山の観光スポットとグルメの紹介

2部 ハングルの母音・子音・パッチムの基礎と50音の記述方法

3部 ハングルのよく使うフレーズで実践のシチュエーションの解説

3. 成果と所感

今回は北陸本部から10名の参加があり、交流会にも北陸本部の方々が全員参加いただけただので、統括本部と北陸本部との交流も行うことが十分できたと感じた。また、統括本部の参加者の中にも、普段参加できない方も久しぶりお会いできたので、それも有意義な時間となった。

今回のテクノは技術とは異なり釜山の紹介とハングルの基礎等を講演した。特に2部のハングルの基礎の際に、参加者に日本語の50音についてハングルでの書き方を考えていただいたときには、参加した子供が一番真剣に楽しんでいただいていたようであった。全般的に成功したと感じた。

青年委員会では技術だけではなく、英語企画も行っているためハングルの企画もテクノのひとつの方法だと感じた。

4. 今後の展開

今回はフットサルと交流会で20名以上の参加者があり、楽しく盛大な企画を行うことができた。今後もこの活動を続けていく事で、統括本部内および地域本部との交流を図っていきたいと考えている。今後のサッカー活動の予定としては以下の通りである。

・2017年3月11-12日 合同サッカー練習会(新潟)

・2017年6月 統括本部サッカー練習会(予定)

・2017年8月 日韓サッカー強化合宿(予定)

5. 写真

■フットサル



■交流会



以上

行事名	北陸本部サッカー合同練習会
日時	■フットサル:2017年3月11日(土) 10:00~12:00 ■テクノ:2017年3月11日(土) 14:00~17:00 ■交流会:2017年3月11日(土) 18:00~22:00
場所	■スポーツパーク西川 ■朱鷺メッセ(新潟酒の陣 2017) ■張園
講師、発表者	■なし
担当者: (○印:リーダー)	○鈴木、高橋(記)
参加者数	■フットサル:統括本部3名、北陸本部20名位 ■テクノ:統括本部2名、北陸本部3名 ■交流会:統括本部6名、北陸本部10名

1. 背景・目的

日韓技術士国際会議の親善の一環として開催されている日韓親善サッカーでの勝利を目指して立ち上げられた「フットサル愛好会(2007年12月)」では、各地方本部とサッカーを通じた交流の輪を広げ、現在まで継続した活動を行っている。今回は、北陸本部で開催されたサッカー練習会に参加した。

2. 例会内容

- フットサル 10:00~12:00
 - ・ランニング、準備運動、リフティングでウォーミングアップ
 - ・北陸本部と統括本部の混成で3チーム分けて試合形式で練習
- テクノ 14:00~17:00
 - ・新潟酒の陣 2017に参加してマーケティングについて考察
- 交流会 18:00~22:00
 - ・北陸本部との交流会

3. 成果と所感

今回は統括本部も北陸本部も参加者が少なく予定していた講演については中止となってしまった。小規模の開催ではあったが北陸本部の皆さんとサッカー、テクノ、交流会と交流できたことは、今後の日韓サッカー大会に向けての大きな糧になったと感じた。

外部講師を招いて講演するには、やはりある程度の人数が必要であり、その人数を確保することは非常に大変で重要であると思いました。

4. 今後の展開

今回は参加者が少ないながらも趣向を凝らした企画で楽しむことができた。しかし、参加者が多い方がより有意義な活動になるため、今後は早めの周知を心がけていきたいと考えている。今後のサッカー活動の予定としては以下の通りである。

- ・2017年5月27日~28日 統括本部サッカー練習会とテクノ
- ・2017年8月 北陸本部サッカー合同練習会(予定)
- ・2017年8月 日韓サッカー強化合宿(予定)
- ・2017年10月 日韓親善サッカー大会(韓国・釜山)
- ・2017年12月 日韓親善サッカーお疲れ練習会(統括・予定)

5. 写真

なし。

以上

**地域本部
活動報告書**

統括本部活動報告

2017年6月17日

統括本部 青年技術士交流委員会
委員 諸田敦洋

メンバーのご紹介



- 幅広い年齢層（20代～40代までまんべんなく）
- 7名の女性に参画いただいている！（男女共同参画）
- 様々な技術部門（15部門：網羅率は7割超！）

メンバーのご紹介

● は、女性の委員・委員補佐が所属している部門

機械	船舶・海洋	航空・宇宙
電気電子	化学 ●	繊維
金属 ●	資源工学	建設
上下水道 ●	衛生工学	農業
森林	水産 ●	経営工学 ●
情報工学	応用理学	生物工学
環境 ●	原子力・放射線 ●	総合技術監理 ●

- 2 -

活動報告

年月	イベント
2016年12月	「ブラタナカ」 →都内を巡る内部向けイベント
2017年1月	「技術者の営業力について考える」 →技術営業力強化イベント
2017年2月	「技術士を目指そう、修習ガイダンス2017」 →技術士第一次試験合格者, JABEE修了者向けイベント
2017年3月	「技術士資格を取り入れた未来の自分を考える」 →修習技術者向けイベント
2017年4月	「一次・二次試験合格者交流会」 →技術士第一次・二次試験合格者交流会
2017年5月	「English Workshop」 →イギリス人講師による英会話ワークショップ
★2017年6月	拡大委員会&テクノ ← NOW!
2017年7月	学生向けイベント
2017年8月	小学生向け夏休み理科教室・工作実験
2017年9月	年間計画合宿

- 3 -

活動報告



2016年12月

2017年1月

2017年2月

2017年3月

2017年4月

2017年5月

次期の統括本部体制

2017年7月～は、以下の体制で推進していきます。

役割	氏名 (敬称略)	役割	氏名 (敬称略)
委員長	諸田 敦洋	委員	中川 暢子
副委員長	白井 一光	委員	下野 五月
副委員長	横田 敬久	委員	道家 健太郎
副委員長	鈴木 利治	委員	熊原 亮
副委員長	萩尾 友治	委員	守田 哲
会計	太田 望斗	委員	竹内 将人
委員	田角 由香	委員	小塚 隆
委員	瀧川 裕美	委員	井口 慧士
委員	赤木 宏匡	委員	田中 仁美
委員	山本 恵一	+頼りになる委員補佐の皆さん!	

ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。

統括本部 青年技術士交流委員会
委員 諸田敦洋



「第14期」2年目、集大成 = 「できる限りを全てやる！」

大小含め、
年間16イベントを計画・実行！

限界への挑戦 / やらずに後悔するなら、やって後悔する！
約40名の幹事でのWG体制の試行 / 分業・担当専化

全イベントの報告

- ①本部主催の合格祝賀会(2次試験)⇒青年2次会(4/6)
- ②新合格者&U-35限定 ワークショップ(4/16)
- 中部本部30周年記念例会・イベントへの参加(5/20-21)
- ③新:「技術士を知ろう」@北海道科学大学(6/2)
- 北海道本部第51回年次大会(創立50周年)参加(6/8)
- ミニ全国大会@東北への参加(6/10-12)
- ④「技術士を知ろう」@旭川高専(6/16)
- ⑤新:「技術士を知ろう」@北海学園大学1年生(6/23)
- ⑥テクニカルツアー@JR苗穂工場ほか(7/8)
- ⑦講演会「札幌まちづくり」(外部講師)(7/20)
- ⑧新:幹事+家族交流「夏合宿(キャンプ)」(7/23-24)
- ⑨-1「技術士を知ろう」@函館高専(8/4)
- ⑨-2 テクニカルツアー@新幹線施工現場(8/5)
- ⑩テクニカルツアー@石狩LNG発電所(9/30)
- 第46回日韓技術士国際会議(栃木県・日光)(10/2-4)
- ⑪環境科学展(寒地土研×技術士会)(10/22-23)
- ⑫「技術士を知ろう」@北海学園大学3年生(11/4)
- 全国大会(青年イベント)@横浜への参加(11/12-13)
- ⑬新:「技術士を知ろう」@札幌工業高校(11/16)
- ⑭幹事交流イベント「技術交流・冬合宿」(11/27-28)
- ⑮公開型講演会「北の技術を語り継ぐ〜雪」(12/4)
- ⑯本部主催の合格祝賀会(1次試験)⇒青年2次会(1/27)



▲新合格者&U-35限定ワークショップ

▲テクニカルツアー
JR苗穂工場

▲講演会「まちづくり」

▲テクニカルツアー
新幹線施工現場

▲夏合宿(キャンプ)

その実現へ向けた
事前打合せ・調整
= 幹事会&WG
計26回実施

▲「技術士を知ろう」
(上から)道科大打合せ、
旭川高専、学園大1年、
函館高専



平成元年設立から数えて「第15期」新体制始動！



委員長 : 仁田 智(継続)
副委員長: 平岡 城栄(継続)、中前 千佳(新任)、
三吉 憲一(新任)、高橋 歩夢(新任)、
西村 力哉(新任)
幹事長 : 須田 徹央(新任) 幹事=45名体制で始動！

全イベントの計画: H29=9イベントを予定

- ①本部主催の合格祝賀会(2次試験)⇒青年2次会(4/6)
- ②新合格者&U-35限定 ワークショップ(4/22)
- 「技術士を知ろう」@北海道科学大学(5/18)
- 「技術士を知ろう」@北海学園大学1年生(6/1)
- 拡大委員会@東京への参加(6/17-18)
- ③豊平峡ダムほかテクニカルツアー(6/30)
- ④電気通信テクニカルツアー(6/未定)
- 北海道本部第52回年次大会(7/5)
- ⑤幹事+家族交流「夏合宿(キャンプ)」(7/下)
- 「技術士を知ろう」@函館高専(8/上)
- 新:「技術士を知ろう」@苫小牧高専(9/上)
- 第47回日韓技術士国際会議(韓国)(未定)
- 全国大会(青年イベント)@山口への参加(10/20-22)
- ⑥環境科学展(寒地土研×技術士会)(10/下)
- 「技術士を知ろう」@北海学園大学3年生(11/上)
- 「技術士を知ろう」@札幌工業高校(11/中)
- 「技術士を知ろう」@旭川高専(11/中)
- ⑦公開型講演会「(未定)」(11/11)
- ⑧幹事交流イベント「技術交流・冬合宿」(11/下)
- ⑨本部主催の合格祝賀会(1次試験)⇒青年2次会(1/下)

研修会・ワークショップの開催

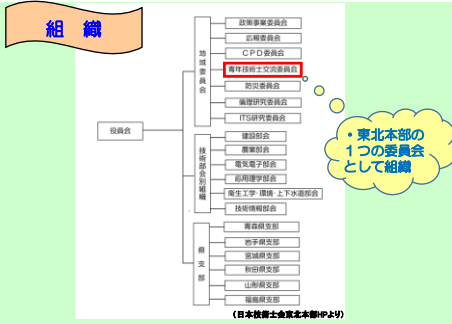
U-35&新合格者ワークショップ(H29/4/22(土))



「技術士を知ろう」⇒運営等を行う新組織を本部内に立ち上げ！

公益社団法人日本技術士会
北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会

代表 : 小澤 正志
幹事長: 木本 光剛
幹事 : 千葉裕ほか、計16名



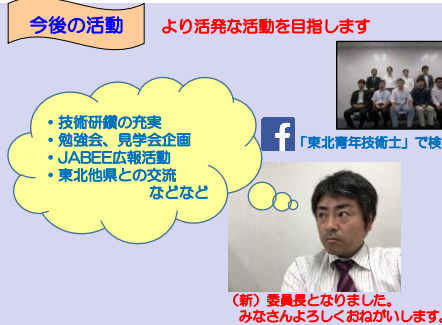
定例幹事会

毎月1回 水曜日18:00～開催

開催日	日時	内容	出席者
第1回	16.12.7 6時	1. 平成28年度の体制、2. 平成28年度の活動計画、3. 委員会報告、4. 認定委員会報告、5. 全国大会について、6. 経理報告、7. その他	6名
第2回	16.12.14 7時	1. 委員会活動予定、2. 名刺作成について、3. 経理報告、4. その他	7名
第3回	16.12.28 6時	1. 全国大会について、2. 技術士会系別制について、3. 次期幹事会委員の選任について、4. 経理報告、5. その他	6名
第4回	16.10.26 11時	1. 幹事会、2. 横浜全国大会での定例幹事会、3. 福島県支部について、4. 経理報告、5. その他	16名
イベント	16.6.11	【ミニ全国大会 in おながわ】	

・議題討議
・距離提供

・会場の提供は各社持ち回りで



■ (1) H28年度活動報告

見学会『地域の活力・底力
～新しい日本酒文化の発信～』(H28.10.21) 24名



「ふなぐち一番搾り」の菊水酒造(株)を見学



地域のストロングポイントを再認識

研
鑽

講演会『新しいお米ブランド-新之助-』
(H29.2.11) 29名



新ブランド米「新之助」について学ぶ・炊く・食す



「新之助」試食

「新潟県建設関連産業若手マンパワーアップ小委員会」設立

建設関連産業の活性化へ向けてのロードマップ
～中堅技術者が建設関連産業の魅力と将来を語る～
(H29.1.13) 58名



中堅技術者からの
体験談発表



土木の未来を考える。～若手が創る新しい業界の
カタチ～Concept to Implementation (H29.3.4) 82名

これからの技術者の新しい
「カタチ」はどうあるべきか



未
来



小委員会委員長
新潟大学 大竹准教授

第11回拡大青年技術士委員会議(福井)
(H28.6.18～6.19) 9名



技術発表会(発表4編)



フクイティタン

福井駅西口再開発、敦賀市まちづくり見学

色々な技術に触れる、知る
意見交換会も忘れずに

交
流

技術士(補)有資格者懇談会
青年ウェルカムパーティー(H29.4.16) 22名



この中に新たな委員候補が...



■ (2) H29年度活動計画

日時	イベント
4月	正式に「北陸本部青年技術士交流委員会」に名称変更
4/16	技術士(補)有資格者懇談会・青年ウェルカムパーティー
6/24、6/25	第12回拡大青年技術士委員会議(新潟) (技術発表会、テクノリズム、ディナーセッション)
8～9月	新潟県建設関連産業若手マンパワーアップ小委員会 パネルディスカッション
10月(予定)	見学会
2月(予定)	講演会
未定	(仮)地中熱利用についての講演会(オープンカレッジ)
未定	新潟県建設関連産業若手マンパワーアップ小委員会 研修会

■ (3) 新体制

委員長	(新)小沼 欽弥
	多田 照代
副委員長	(新)中村 彰文
	(新)森 将恒



委員構成

- ・新潟10名
- ・富山2名
- ・石川1名
- ・福井2名
- ・合計15名



TADA



NAKAMURA



MORI

- ・新委員2名
- ・卒業2名

中部本部 活動報告

2015 テーマにこだわらず会員の自由活動を応援
家族・一般と楽しく技術 →定着



2016 テーマに沿った深い知識を学ぶ
(原点回帰)

IoT/Industry4.0のお勉強

↓

ダントツ工場

↓

電子部品実装 → **CIM/3Dセンシング**

↓

MESH **自動車サービス**

電子製品/自動車業界 建築業界

会員の携わっているIoT事例の共有

コラボ!

▼中部本部内 (青技交 & 県支部)



▼地域間 (中部青年 & 近畿青年)



2017 中部青年内で新たなバリエーション、若手から動く
→若手(非CPD例会) vs ベテラン(CPD例会) 企画を
やりたい (委員長素案)



中部本部 組織変更

2017年度			
委員長	石川智康 (情報工学)	H29-30任期	再任
幹事長 (新設)	嘉田善仁 (機械)	H29-30任期	再任
副委員長 [地域連携]	高瀬春之 (経営工学)	H29-30任期	再任
委員	中迎 誠 (応用理学)	H28-29任期	
	本多 仁 (建設)	H28-29任期	
	三島孝朗 (機械_修)	H29-30任期	再任
	青山尚弘 (機械_修)	H28-29任期	
	田村浩史 (金属_修)	H28-29任期	
	成田尚宣 (生物)	H29-30任期	新任
	初谷昇太郎 (機械_修)	H29-30任期	新任
委員補佐 (新設)	小島茂樹 (建設)	H29-30任期	新任
	奥村 康 (機械)	H29-30任期	新任
	藤田政利 (機械)	H29-30任期	新任
※例会企画のサポート	秋山幸之朗 (機械:補)	H29-30任期	新任
運営委員 (再編)	中島丈晴 (上下水道)	H28-29任期	
	中川勝統 (上下水道_修)	H28-29任期	

※運営委員 (再編)
新たなメンバー、新たな役割、OB活用を
行い、少ない運営メンバーを駆使して、
企画遂行をしていきます

幹事長【新設】

例会、技術同好会 (WG) の具体的な
企画運営を行う
役割として新設

委員 (新加入)

例会企画・
遂行メンバー
として、
新たに2名の
メンバを追加

委員補佐【新設】

上限50歳に変更し、運営参加
(青年と県支部の間の役割)

近畿本部活動報告

2016年度活動報告

2015年度に委員会設立

…日本技術士会近畿本部青年技術士交流委員会 発足！



「青技交」と「青技懇」が、地域の青年技術士組織の両輪として、お互い補完しあい、地域を盛り上げていくようにしたい。

近畿青年技術士交流委員会	名称	近畿青年技術士懇談会
日本技術士会近畿本部傘下の委員会	位置づけ	任意団体
「(アウトプット)発信」と「対外交流」	目的	「自己研鑽」と「会員相互の親睦」
プロジェクト運営型	運営スタイル	月一回の例会(講演会)と懇親会メイン

2016年度から、いよいよ「青技交」のほうも本格活動開始！

近畿本部活動報告

2017年度委員

宮西 健次(委員長)

小宮 洋行

田中 慎

坂東 大輔

藤内 洋

藤本 喜敏

八木 基紀

吉田 晋侑

中部&近畿 青年委員会合同見学会

2017.3.4 島津製作所創業記念資料館
および 月桂冠大倉記念館を見学



関下 啓介(オブザーバー)

千田 琢(オブザーバー)

今年度中の増員を予定



サキトク×青年技術士 これからついに始動予定！

社会に出てから役に立つ知識・スキルを、先んじて身につけたい学生さんに「管理工学・管理技術」を伝授する。
大学設置フライヤー用にサキトク学生×青年技術士が「IoT」について対談をする予定。

近畿青年技術士懇談会は、充実感たっぷり活動中！

3月には失敗学会関西支部さんご協力のもと、失敗事例についてワークショップを開催！



(活動方針)

例会勉強会を柱とする **技術者間交流**
および **技術を通じた社会貢献**により
会員の **成長の機会**を提供します

◇ 年間の主な活動内容 ◇

1. 例会・勉強会
2. 小・中学生向けの理科教室
3. 国際交流フェスティバルへの参加
4. 産学交流企画
5. 全国の青年技術士との交流



(H28年度 例会勉強会の内容)

開催月	内容
4月	意見交換会「青技交に期待することについて」
5月	非破壊検査について
6月	カウンセリングとモチベーション
7月	社会貢献活動リハーサル
8月	社会貢献活動リハーサル
9月	海外建設工事 ～イスラム教国編～
10月	ワークショップ「青年技術士による地域貢献のあるべき姿」
11月	施肥技術の視点から昨今の農業改革を考える
12月	ディベート「長時間労働是正のために、残業上限時間を一律設定すべし 是か非か」
1月	討議「山口全国大会キックオフ」
2月	足が遅くても一定時間内に長距離走行可能な私の手法
3月	論理的に考えよう～フレームワークを使っちゃおう～

例会勉強会



科学の授業「感じる科学！」



四国本部との交流(見学会)



ものづくり教室(井口公民館)



西日本業績発表大会(青年分科会)



パネルディスカッション(祝賀会)



中国本部 新体制!

7月から

今年度より執行部新体制となります!

新委員長の 三角委員長をはじめ
副委員長6名+委員10名と大幅に
増員を図り さらに勢力拡大中です



委員長 三角 春樹

平成29年度 主な活動計画	時期
1. 例会・勉強会	毎月第3水曜日
2. 社会貢献活動(理科教室の開催)	年1、2回/8月
3. 国際交流フェスティバルへの参加	10月29日
4. 他団体との交流行事	毎年2~3回程度
5. 山口全国大会	10月20~22日

山口全国大会に向けて全力準備中!
皆様のお越しをお待ちしております!!



副委員長
赤木 真也



副委員長
新洲 大輔



副委員長
田中 健



副委員長
大橋 昌



副委員長
寺尾 猛志



副委員長
立山 隆志

★活動目的

四国地域における若手技術士を中心とする技術者ネットワークを構築し、会員相互の能力向上を果たすとともに、技術士としての職能を地域社会に幅広く浸透させ、技術士の地位向上を果たすことを目的とした活動を行う。

★活動方針

- 【方針1】 青年技術士として幅広い能力向上を図る
- 【方針2】 四国地域の青年技術士相互の交流を図る
- 【方針3】 青年技術士として地域との交流を通じ社会貢献を図る

★2016年度活動報告

【活動方針1】青年技術士として幅広い能力向上を図る
四国四県の特徴を活かしたセミナー・見学会を
持ち回りで開催

科学分野だけでなく地域の文化に触れる内容も実施

- ブランド「伯方の塩」生い立ち
- 伯方の塩工場・塩田見学



愛媛



香川



高知



徳島

- 農業×防災で地域をつなぐ「新活プロジェクト」

- 幕末期 徳島藩と洋学
- 徳島城博物館および城郭

【活動方針2】四国地域の青年技術士相互の交流を図る
昼の活動に引き続き、夜は必ず懇親会
ここからが真の青年技術士交流会の始まり？



【活動方針3】青年技術士として地域との交流を通じ
社会貢献を図る

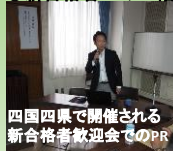
香川大学・徳島大学で開催されている子供向けの科学体験



- 「消波ブロックを作ろう！」 ミニチュア消波ブロックの作成

★2017年度活動予定

- ◎新合格者へのPR活動
- ◎四国四県でのセミナー・見学会



四国四県で開催される
新合格者歓迎会でのPR



◎フィールドワーク(お楽しみ会)



仁淀川バーベキュー(高知)

◎四国以外の地域本部との連携強化



中国本部青年委員長
昨年は瀬戸内海の大三島開催の交流会に中国地方からも協力。今年は11月の西日本大会に開催予定

◎科学体験フェスティバル(8月徳島&11月香川)



科学体験フェスティバルに徳島大学(8月)と香川大学(11月)に参加
石膏を使って消波ブロックのミニチュアを製作

◎学生・若手技術者の支援活動



四国本部の学生・若手技術者支援活動に
青年技術士交流会も協力

★2017委員名簿

徳島県3名
香川県6名
愛媛県4名
高知県4名
移動は大変だけど四国四県が協
して活動してます

役職	氏名	所属県	役職	氏名	所属県
委員長	池谷 聖	香川県	委員補佐	奥永 哲也	香川県
副委員長	佐藤 悦史	徳島県	委員	池田 一郎	愛媛県
副委員長	白鳥 美	香川県	委員	曾我部 潤	愛媛県
副委員長	中根 久幸	高知県	委員補佐	面地 球也	愛媛県
委員	田中 良典	徳島県	委員補佐	藤浦 理也	愛媛県
委員(予定)	松田 秀和	徳島県	委員	岡林 弘憲	高知県
委員	大西 真人	香川県	委員	片岡 寛志	高知県
委員	河端 悟司	香川県(愛媛県から移籍)	委員	芝田 和仁	高知県(徳島から復帰)
委員	太田 晶秀	香川県			

◎情報発信の強化

☆MLサイトを利用した会員相互の
情報共有
☆Facebookを開設し、青年技術士
交流会の活動を広くアピール!





日本技術士会 九州本部 青年技術士交流委員会 って何をしてるの？

九州本部 青年技術士交流委員会とは

①みんなで議論、企画、新しい発見

概ね奇数月の第二水曜日 運営委員会を開催



②たのしく研鑽

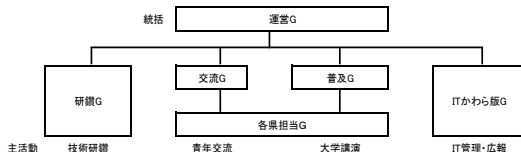
公開講演会、見学会など自分たちで企画して実施



③社会への発信

小学生・中学生 夏休み自由研究教室、大学のJABEEコースへの講演など

青年技術士交流委員会 組織図案



平成29年度 名簿を一新して活動開始！！

九州本部 青年技術士交流委員会 活動の3本柱

平成29年度 名簿も一新して活動開始！！

① 研鑽活動：合格者祝賀会・見学会・公開講演会・運営委員会及び研鑽会（随時）・夏休み自由研究教室（8月）

～夏休み自由研究教室（8月）～
大学や企業等と協同し科学技術に触れ合う機会を子供たちへ！



平成27年In福岡空港



平成28年In安川電機

STOP運料離れ！ 子供たちの科学や技術に対する興味関心を育てることを目的に毎年開催しています。身近な技術から先端技術まで子供の興味を引くテーマを熟考して企画しますが、基本的に**大人が楽しく**なります。

～見学会（6月）～
九州各地の技術遺産や施設、文化や風土など興味深い場所へ見学に行きます。



平成27年見学会In都城
鹿島船渠工事見学会



福田技術士による林業の現状と課題講演（現地）



福田技術士による林業の現状と課題講演（座学）

～公開講演会（12月）～
話題性のある技術をテーマに、専門家と一般受講者との距離の近い講演。

2016年12月18日講演（福岡工業大学）
「巨大な非在来型天然ガス産出について～北部九州におけるCBM（コール・バドゥ）の現状報告～」
「地震による宅地の被害形態とその要因について～H28年熊本地震の復旧・復興に向けて～」



② 普及活動：JABEE支援活動（大学・高専での講演）



JABEE制度の活用促進や将来の技術士取得に向け、業務の現状や大変さ、責務、面白みなどをグループディスカッションを交えて講演しています。

（九州産業大学・鹿児島大学・大分高専・福岡大学・・・）

→各県支部の若手と合同開催を取り組み中！！

③ もちろん！交流活動 あらゆる機会を捉えては、呑む、話す



九州本部 青年技術士交流委員会 活動の発信

・Facebookで活動配信中！



・技術士紹介動画「技術士ってなに？」YouTubeで配信中！

- ▶ 2012年 大阪「技術士ってなんだろう」
- ▶ 2013年 札幌「技術士を広めるには？」
- ▶ 2014年 福岡

「技術士を紹介するもの（動画）をつくろう」



活動年鑑 12
青年技術士交流委員会